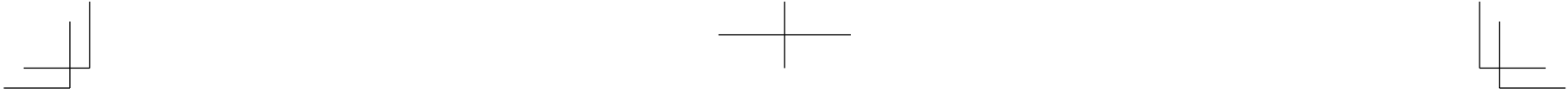


日本大学大学院
新聞学研究科 シラバス
令和3(2021)年度

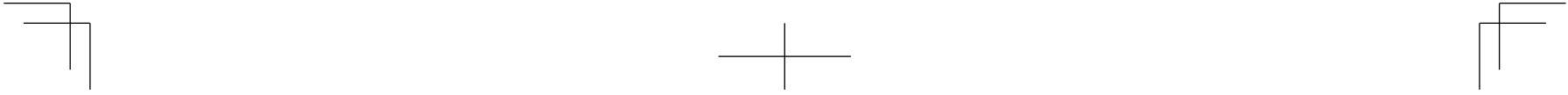


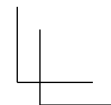
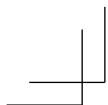


科目名索引

この大学院シラバスは、専攻の順に、今年度開講されている授業科目が掲載されている。

ウ		メディア理論特殊研究	7
ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	83	メディア倫理特殊講義	47
エ		ヨ	
映像ジャーナリズム論特殊講義	87	世論・政治意識とメディア（日本）特殊講義	39
ケ		リ	
研究指導	201	リスクコミュニケーション論特殊講義	63
コ			
国際コミュニケーション論特殊講義	71		
シ			
ジャーナリズム史（外国）特殊講義	59		
ジャーナリズム史（日本）特殊講義	55		
ジャーナリズム史特殊演習（思想）	197		
ジャーナリズム史特殊演習（比較）	193		
ジャーナリズム史特殊研究	23		
ジャーナリズム史特殊研究（思想）	189		
ジャーナリズム史特殊研究（比較）	185		
ジャーナリズム制度（外国）特殊研究	17		
ジャーナリズム制度（日本）特殊研究	11		
ジャーナリズム制度特殊演習（システム）	181		
ジャーナリズム制度特殊研究（システム）	177		
ジャーナリズム制度特殊研究（比較）	173		
ジャーナリズム調査演習Ⅰ	131		
ジャーナリズム調査演習Ⅱ	133		
ジャーナリズム調査演習Ⅲ	135		
ジャーナリズム理論演習Ⅰ	127		
ジャーナリズム理論演習Ⅱ	129		
ジャーナリズム理論特殊演習（規範）	169		
ジャーナリズム理論特殊演習（実証）	165		
ジャーナリズム理論特殊研究	3		
ジャーナリズム理論特殊研究（規範）	161		
ジャーナリズム理論特殊研究（実証）	157		
セ			
政治コミュニケーション論特殊講義	35		
政治ジャーナリズム論特殊講義	31		
専門演習（研究指導）	143		
チ			
中国メディア論特殊講義	79		
ヒ			
比較コミュニケーション政策論特殊講義	75		
比較ジャーナリズム論特殊講義	67		
フ			
文献研究（英）	91		
文献研究（中）	123		
文献研究（日）	99		
メ			
メディア史特殊研究	27		
メディア社会論特殊講義	43		
メディア制度（外国）特殊研究	19		
メディア制度（日本）特殊研究	13		
メディア調査演習Ⅰ	137		
メディア調査演習Ⅱ	139		
メディア調査演習Ⅲ	141		
メディア法制特殊講義	51		

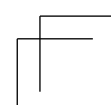
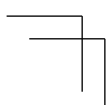
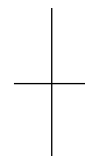




新聞学専攻

新聞学研究科

新聞学専攻



科目名	ジャーナリズム理論特殊研究	担当者	小林 義寛	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムは近代社会におけるインフラストラクチャーの構築に貢献する組織である。そこで、まず西欧近代社会の存立基盤である近代思想とその組成および制度的枠組みについて理解をすることから始める。その後、戦後日本社会の様態と歩みを概観しつつ、日本を事例にジャーナリズムの意義を考察する。					
授業目的・到達目標	近代社会とはなにか。また、戦後から現在まで、日本社会はどのように展開したのか。その概観とともに、日本におけるジャーナリズムへの理論的接近のための基礎として社会学的思考を身につける。 関連するDP・CP 新聞学研究科 1, 2					
履修条件	社会学の知識を習得していることが望ましい。日本近現代史の基本知識を蓄積していることは必須要件である。					
授業方法	教科書を使用し、指定された担当部分を報告した上で課題を提起する方法をとる。毎回レジュメを配布すること。ただし、使用文献に関しては、状況により受講生の相談に応じる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		基本的に授業内での文献解題と報告、課題レポートの結果を勘案する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業時に相談しながら指定する。				
参考書	授業時に指示する					
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。（2時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究テーマとの関係を確認する。（2時間）
2	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	西欧近代社会とはなにか
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
3	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	トクヴィルとフランス社会
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
4	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	デュルケームと社会学
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）

5	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	ベルグソンと持続
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
6	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会①：理想の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
7	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会②：虚構の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
8	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会③：オタクの謎
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
9	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会④：リスク社会再論
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
10	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会⑤：不可能性の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
11	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	戦後日本社会⑥：政治的思想空間の現在
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
12	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	ポスト・トルースにおけるジャーナリズム①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
13	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	ポスト・トルースにおけるジャーナリズム②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
14	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	ポスト・トルースにおけるジャーナリズム③
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
15	事前学習	これまでの内容を整理し、質問や議論を確認しておく。（2時間）
	授業内容	まとめ
	事後学習	全体としてのレポート作成。（2時間）

科目名	ジャーナリズム理論特殊研究	担当者	佐幸 信介	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、大きく2つの内容から構成する。ひとつは、ジャーナリズム研究のためのメディア史の基礎知識に関するもの。第二に、具体的な報道分析を扱っているテキストを読みながら、現代の報道と表象についての検討を行うことである。					
授業目的・到達目標	メディア史の概略を習得すること。報道分析の論文を読む力をつけ、かつ他の具体的な事例と結び付けて議論ができるようになることが到達目標である。関連するDP・CP1,2					
履修条件	特に設けない。					
授業方法	教科書の担当章のレジュメ作成と発表、ディスカッションをひとつのユニットとする。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常のレジュメ作成と発表、授業の参加度で評価する	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1995年	新曜社		歴史のなかのコミュニケーション—メディア革命の社会文化史		D・クローリー/P・ヘイヤー編
	2003年	世界思想社		メディアテキストの冒険		小林直毅
	備考					
参考書	適宜提示する					
オフィスアワー	水曜日・昼休み 研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと（2時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回のためのテキストの精読をしておくこと（2時間）
2	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	初期文明のメディア（テキスト8頁～56頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
3	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	西欧のリテラシーの伝統（テキスト58頁～105頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
4	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	印刷革命（テキスト106頁～157頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）

5	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	電気による有線世界の創出（テキスト158頁～205頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
6	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	イメージ技術と大衆社会の出現（テキスト206頁～241頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
7	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	ラジオの日々（テキスト242頁～273頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
8	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	テレビの時代（テキスト274頁～307頁）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
9	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	報道と表象
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
10	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	メディアとオーディエンス（『メディアテキストの冒険』第1章）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
11	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	言説とメディア（『メディアテキストの冒険』第2章）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
12	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	報道の言説と表象（『メディアテキストの冒険』第3章）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
13	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	戦後メディアとメディア環境（『メディアテキストの冒険』第4章）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
14	事前学習	テキストの精読をしておくこと（2時間）
	授業内容	ドキュメンタリーと表象（『メディアテキストの冒険』第5章）
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
15	事前学習	第1回～14回の講義をふりかえること（2時間）
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	全体をあらためて復習すること（2時間）

科目名	メディア理論特殊研究	担当者	小林 義寛	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	現代の文化現象および社会現象をメディア環境（情報環境）との関係のなかで理解するための基本的な視座を学習し、具体的な現象へのアプローチを模索する。					
授業目的・到達目標	現代日本社会におけるメディア現象に対して、社会学や文化理論に基づいて、理論的にアプローチする方法を身につける。 関連するDP・CP 新聞学研究科 1, 2					
履修条件	メディア現象に対して広く興味をもって接していること。ただし、単なる興味以上に、社会学や文化理論などの理論的な関心をあわせもつ必要がある。					
授業方法	教科書を使用し、指定された担当部分を報告した上で課題を提起する方法をとる。毎回レジュメを配布すること。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常の授業における文献解題、報告、課題レポートの成果による。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業時に相談する。				
参考書	授業時に適宜指示する。					
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。（2時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究テーマとの関係を確認する。（2時間）
2	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	カルチュラル・スタディーズの始まりと関連する思想①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
3	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	カルチュラル・スタディーズの始まりと関連する思想②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
4	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	対象とする現象と思考様式①メディア研究
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）

5	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	対象とする現象と思考様式②サブカルチャー研究
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
6	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	対象とする現象と思考様式③フェミニズムとジェンダー
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
7	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	対象とする現象と思考様式④ポストコロニアリズム
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
8	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	対象とする現象と思考様式⑤その他
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
9	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
10	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
11	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする③
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
12	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする④
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
13	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする⑤
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
14	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする⑥
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
15	事前学習	これまでの全体の内容を整理し、質問や議論を確認する。（2時間）
	授業内容	まとめ
	事後学習	全体を通じてのレポート作成。（2時間）

科目名	メディア理論特殊研究	担当者	佐幸 信介	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究をグローバル化や資本主義のモードとの関連に位置づけ、テキスト・クリティークを通して現在のメディア状況の分析を行う			
授業目的・到達目標	学術的に書かれた論文を読み、メディア環境を理解すること。さらに論文の構成（目的・方法・分析等）そのものを理解すること。関連するDP・CP 1, 2			
履修条件	特に定めいないが、難しめの論文を読むため、メディア研究に関する基本的な知識を持っていることが望ましい			
授業方法	講義と教科書（テキスト）のレジュメ作成・発表・ディスカッションをひとつのユニットで構成して進める。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	平常のレジュメ作成や授業の参加度に応じて評価する
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	東京大学出版会	コミュニケーション資本主義と〈コモン〉の探求	伊藤守編著
	備考			
参考書	適宜、提示する			
オフィスアワー	水曜日・昼休み 研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認と教科書の内容を概観してくること（2時間）
	授業内容	ガイダンス（講義のスケジュール、発表担当の決定など）
	事後学習	ガイダンスをふまえ、あらためて教科書を読む（2時間）
2	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア環境の生態系と言説空間の変容（第1章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
3	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア環境の生態系と言説空間の変容（第1章）のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
4	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容（第2章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）

5	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容（第2章）のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
6	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	ソーシャルメディアはポピュリズムの夢を見るか？—コミュニケーション資本主義の条件（第3章）の読解
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
7	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	ソーシャルメディアはポピュリズムの夢を見るか？—コミュニケーション資本主義の条件（第3章）のディスカッション
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
8	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	ネットワークメディア時代における政治的公共圏の変容（第4章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
9	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	生かさない“生 - 政治”の誕生の再考（第5章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
10	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	スマートシティと生政治—パブリック - プライベートの産業からコミユナルな統治へむけて（第6章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
11	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	生資本主義時代の生と芸術（第7章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
12	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア時代のジェンダー力学—韓国のインターネット空間における「女性」（第8章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
13	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	資本主義リアリズムからアシッド共産主義へ（第9章）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
14	事前学習	該当章を精読すること（2時間）
	授業内容	デジタルメディア環境とコモンの可能性（テキスト全体をふりかえて）
	事後学習	講義の内容・ディスカッションの内容を復習すること（2時間）
15	事前学習	第14回までの講義内容をふりかえること（2時間）
	授業内容	講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体をふりかえり、自分なりの見解をまとめること（2時間）

科目名	ジャーナリズム制度(日本)特殊研究	担当者	塚本 晴二郎	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	日本のジャーナリズム制度論の代表的な研究者の先行研究を学ぶ。制度論的な研究方法論について学習する。当該年度の学会発表で、適当なものがあった場合は、積極的に取り入れていく。			
授業目的・到達目標	広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する諸問題に対して、批判的思考力に基づき分析し、解決する能力の修得を目的とする。 広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策を批判的に捉え、分析し、解決することができる方法論を体得することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1, 2			
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。その上で、ジャーナリズムの制度論的研究の方法論を体得したいと思う者のみが受講すべきと考える。			
授業方法	各回のテーマについて、必要に応じて資料津を配布し、講義を進める。ただし、各回のテーマに沿った先行研究を図書館等で、受講生自らできるだけ多く入手し、読み込んでくこと自体が、本講義の主眼である。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義に取り組む姿勢や授業内での対話などから、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021	日本評論社	ジャーナリズムの規範理論	塚本晴二郎
	備考			
参考書	受講者の問題意識に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	メールにて連絡すること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容		
1	事前学習	シラバスを確認するとともに、「メディア法」「情報法」等の学部での制度論的な科目の内容を把握しておく。(2時間)	
	授業内容	講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、講義の進め方を説明し、受講生が講義の準備を具体的に行えるようにする。	
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)	
2	事前学習	「表現の自由論」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)	
	授業内容	「表現の自由論」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。	
	事後学習	講義ノートを確認して、「表現の自由論」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)	
3	事前学習	「知る権利」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)	
	授業内容	「知る権利」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。	
	事後学習	講義ノートを確認して、「知る権利」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)	
4	事前学習	「取材・報道の自由」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)	
	授業内容	「取材・報道の自由」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。	
	事後学習	講義ノートを確認して、「取材・報道の自由」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)	

5	事前学習	「名誉毀損」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「名誉毀損」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「名誉毀損」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
6	事前学習	「プライバシー侵害」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「プライバシーの侵害」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「プライバシー侵害」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
7	事前学習	「少年犯罪報道」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「少年犯罪報道」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「少年犯罪報道」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
8	事前学習	「ヘイト・スピーチ」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「ヘイト・スピーチ」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「ヘイト・スピーチ」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
9	事前学習	「性表現の自由」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「性表現の自由」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「性表現の自由」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
10	事前学習	「著作権」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「著作権」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「著作権」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
11	事前学習	「情報公開」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「情報公開」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「情報公開」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
12	事前学習	「広告関連法規」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「広告関連法規」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「広告関連法規」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
13	事前学習	「SNS関連法規」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「SNS」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「SNS関連法規」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
14	事前学習	自分が体得したいと思った方法論に関する発表のレジュメの作成等、自身の課題発表の準備を行う。(2時間)
	授業内容	自分が体得したいと思った方法論に関する発表を行い、受講生同士の討論と、教員の講評を行う。
	事後学習	講義ノートを確認して、自身が体得したいと思った方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
15	事前学習	初回からの講義ノートを見直し、前回の発表を踏まえて、制度論的な研究方法論を体系的に考察する。(2時間)
	授業内容	総括講義
	事後学習	初回からの講義ノートを見直し、制度論的な研究方法論の研究ノートが作成できるようにまとめておく。(2時間)

科目名	メディア制度(日本)特殊研究	担当者	柴田 秀一	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	日本のメディア制度について、放送法など法整備の現状とメディア企業や組織のでき方、問題点や将来展望を考える。					
授業目的・到達目標	現代日本の放送制度、メディア制度の歴史と現代の状況を理解し、問題点や今後に向けた主要な論点について説明できるようになること。 関連するDP・CP1、2					
履修条件	放送事業について興味があり研究する意思がある事。					
授業方法	文献等資料を読み進め、受講生に報告を求め、問題点を中心に受講生とディスカッションする。 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内での報告の内容、ディスカッション等による授業への貢献度により評価する	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参考書	松田 浩 メディア支配 新日本出版社、鈴木秀美/山田健太『よくわかるメディア法（第2版）』（ミネルヴァ書房） 政治介入されるテレビ 青弓社、放送の自由～その公共性を問う岩波書店					
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを検討する（2時間）
	授業内容	イントロダクション 講座の内容や受講方法
	事後学習	イントロダクションでの説明を振り返り参考書などの内容を検討する（2時間）
2	事前学習	イントロダクションで指定された第2回内容を読んでおく（2時間）
	授業内容	日本のメディアの現状 放送・新聞・出版・広告・Web
	事後学習	配布資料等を読んで復習する（2時間）
3	事前学習	第2回で指定された第3回内容を読んで検討しておく（2時間）
	授業内容	日本の放送メディア
	事後学習	配布資料の検討と復習（2時間）
4	事前学習	第3回で指定された資料を読み込む（2時間）
	授業内容	日本の放送メディアとニュース
	事後学習	講義内容を資料で復習（2時間）

5	事前学習	第4回で指定された内容を読み込む（2時間）
	授業内容	放送法について 概要
	事後学習	放送法のポイントについて復習（2時間）
6	事前学習	第5回指定の資料を読み込む（2時間）
	授業内容	放送の公共性について
	事後学習	放送の公共性について復習（2時間）
7	事前学習	第6回指定の資料を読み込む（2時間）
	授業内容	戦後の放送の成り立ち～放送局と制作プロダクション
	事後学習	放送の成り立ちと制作プロダクションの成立について復習（2時間）
8	事前学習	第7回指定の資料を読み込む（2時間）
	授業内容	放送のネットワークと系列化
	事後学習	日本の放送の系列化について復習（2時間）
9	事前学習	第8回指定の資料を読み込む（2時間）
	授業内容	放送法 法規制と行政指導Ⅰ
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
10	事前学習	第9回で指定した資料を読み込む（2時間）
	授業内容	放送法 法規制と行政指導Ⅱ
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
11	事前学習	第10回で指定した資料を読み込む（2時間）
	授業内容	放送番組審議会の設立、機能及び役割
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
12	事前学習	第11回で指定した資料を読み込む（2時間）
	授業内容	BP0放送倫理・番組向上機構とは、委員会決定を読む①
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
13	事前学習	第12回で指定した資料を読み込む（2時間）
	授業内容	BP0 委員会決定事例を読む②
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
14	事前学習	第13回で指定した資料を読み込む（2時間）
	授業内容	BP0委員会決定事例を読む③
	事後学習	資料等で講座の内容の確認と復習（2時間）
15	事前学習	これまでの講座の内容で理解できなかったところを洗い出す（2時間）
	授業内容	講座の総括
	事後学習	資料等で総括の内容の確認と復習（2時間）

科目名	メディア制度(日本)特殊研究	担当者	米倉 律	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	日本のメディア制度について、主として放送法・制度の現状を明らかにしつつ、問題点や将来展望を考える。			
授業目的・到達目標	現代日本の放送制度、メディア制度の歴史的背景、現代的意義を理解し、問題点や今後に向けた主要な論点について説明できるようになること。関連するD P・C P 1, 3			
履修条件	特になし			
授業方法	基本文献を読み進め、報告者の報告をもとにしてディスカッションする。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内での報告の内容、ディスカッション等による授業への貢献度により評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	青弓社	政治介入されるテレビ	村上勝彦
	2019	岩波書店	放送の自由～その公共性を問う	川端和治
	備考			
参考書	鈴木秀美、山田健太『よくわかるメディア法（第2版）』（ミネルヴァ書房）			
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと（2時間）
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションでの説明内容を踏まえて、教科書、参考書の内容を概観しておく（2時間）
2	事前学習	教科書第1章を読んでおくこと（2時間）
	授業内容	日本におけるジャーナリズムの現状
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
3	事前学習	教科書第1章を読んでおくこと（2時間）
	授業内容	日本における放送メディア、放送ジャーナリズムの現状
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
4	事前学習	教科書第2章を読んでおくこと（2時間）
	授業内容	放送法の法理
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）

5	事前学習	教科書第2章を読んでおくこと（2時間）
	授業内容	放送法と放送の公共性
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
6	事前学習	教科書第3章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	放送法に基づく法規制と行政指導①
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
7	事前学習	教科書第3章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	放送法に基づく法規制と行政指導②
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
8	事前学習	教科書第4章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	放送番組審議会の機能と役割①
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
9	事前学習	教科書第4章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	放送番組審議会の機能と役割②
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
10	事前学習	教科書第4章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	自主規制の歴史と背景
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
11	事前学習	教科書第5章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	BP0の委員会決定の事例から①
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
12	事前学習	教科書第5章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	BP0の委員会決定の事例から②
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
13	事前学習	教科書第6章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	BP0の委員会決定の事例から③
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
14	事前学習	教科書第6章を読んでおくこと、報告担当者は報告を準備すること（2時間）
	授業内容	BP0の委員会決定の事例から④
	事後学習	ノートと配布資料を使って授業内容を復習する（2時間）
15	事前学習	講義全体のノートを読み直して自分なりに総括をしておく（2時間）
	授業内容	総括
	事後学習	総括内容を踏まえてノートをまとめる（2時間）

科目名	ジャーナリズム制度(外国)特殊研究	担当者	塚本 晴二郎	期間	後期	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	主に欧米の制度論の代表的な研究者の先行研究を学ぶ。制度論的な研究方法論について学習する。当該年度の学会発表で、適当なものがあった場合は、積極的に取り入れていく。			
授業目的・到達目標	広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する諸問題に対して、批判的思考力に基づき分析し、解決する能力の修得を目的とする。 広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策を批判的に捉え、分析し、解決することができる方法論を体得することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1，3			
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。その上で、ジャーナリズムの制度論的研究の方法論を体得したいと思う者のみが受講すべきと考える。			
授業方法	各回のテーマについて、必要に応じて資料津を配布し、講義を進める。ただし、各回のテーマに沿った先行研究を図書館等で、受講生自らできるだけ多く入手し、読み込んでくること自体が、本講義の主眼である。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義に取り組む姿勢や授業内での対話などから、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021	日本評論社	ジャーナリズムの規範理論	塚本晴二郎
	備考			
参考書	受講者の問題意識に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	メールにて連絡すること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認するとともに、「メディア法」「情報法」等の学部での制度論的な科目の内容を把握しておく。(2時間)
	授業内容	講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、講義の進め方を説明し、受講生が講義の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)
2	事前学習	「表現の自由論」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「表現の自由論」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「表現の自由論」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
3	事前学習	「知る権利」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「知る権利」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「知る権利」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
4	事前学習	「取材・報道の自由」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「取材・報道の自由」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「取材・報道の自由」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)

5	事前学習	「名誉毀損」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「名誉毀損」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「名誉毀損」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
6	事前学習	「プライバシー侵害」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「プライバシーの侵害」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「プライバシー侵害」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
7	事前学習	「少年犯罪報道」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「少年犯罪報道」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「少年犯罪報道」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
8	事前学習	「ヘイト・スピーチ」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「ヘイト・スピーチ」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「ヘイト・スピーチ」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
9	事前学習	「性表現の自由」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「性表現の自由」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「性表現の自由」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
10	事前学習	「著作権」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「著作権」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「著作権」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
11	事前学習	「情報公開」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「情報公開」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「情報公開」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
12	事前学習	「広告関連法規」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「広告関連法規」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「広告関連法規」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
13	事前学習	「SNS関連法規」の先行研究をできるだけ多く入手し、読み込み、疑問点等を積極的に質問できるようにしておく。(2時間)
	授業内容	「SNS」の先行研究を解説し、その方法論を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、「SNS関連法規」研究の方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
14	事前学習	自分が体得したいと思った方法論に関する発表のレジュメの作成等、自身の課題発表の準備を行う。(2時間)
	授業内容	自分が体得したいと思った方法論に関する発表を行い、受講生同士の討論と、教員の講評を行う。
	事後学習	講義ノートを確認して、自身が体得したいと思った方法論に関して説明ができるようにまとめておく。(2時間)
15	事前学習	初回からの講義ノートを見直し、前回の発表を踏まえて、制度論的な研究方法論を体系的に考察する。(2時間)
	授業内容	総括講義
	事後学習	初回からの講義ノートを見直し、制度論的な研究方法論の研究ノートが作成できるようにまとめておく。(2時間)

科目名	メディア制度(外国)特殊研究	担当者	柴田 秀一	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	世界各国はその国々の政治・社会・文化・歴史に応じて様々なメディア制度が存在して、様々、ジャーナリズム、広告、事業活動が行われている。本講座では、世界各国のメディア制度と日本のメディア制度を比較しながら放送を中心にその特徴や課題等について考える。				
授業目的・到達目標	各国と日本のメディア制度の特徴や傾向、社会との関係について基礎的知識を養成することを目的とする。 各国と二問のメディアについて現状及び課題を理解し説明できることを到達目標とする。 関連するDP・CP 新聞学研究科 1、2				
履修条件	テレビを中心としたメディアに興味を持っている事。				
授業方法	資料や、参考文献を読みながら、受講生の報告も交え、問題点等はディスカッションをする。 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	レポートを課す（50％）、授業参加度（50％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	「データブック 世界の放送」2020 NHK放送文化研究所				
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	イントロダクション メディア制度とは
	事後学習	イントロダクションでの講座解説
2	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	各国の主なメディア制度Ⅰ
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
3	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	各国の主なメディア制度Ⅱ
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
4	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アメリカのメディア制度の現状・特徴・課題①
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）

5	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アメリカのメディア制度の現状・特徴・課題②
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
6	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アメリカのメディア制度の現状・特徴・課題③
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
7	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度の現状・特徴・課題①
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
8	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度の現状・特徴・課題②
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
9	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度の現状・特徴・課題③
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
10	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アジアのメディア制度の現状・特徴・課題①
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
11	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アジアのメディア制度の現状・特徴・課題②
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
12	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	アジアのメディア制度の現状・特徴・課題③
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
13	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	世界の動画配信サービス
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
14	事前学習	前回終わりに示した資料を読み予習をする（2時間）
	授業内容	世界の放送・映像アーカイブ
	事後学習	配布資料、講義録等で復習をする（2時間）
15	事前学習	これまでに渡した資料を読み疑問点が残っていれば挙げておく。（2時間）
	授業内容	講座の総括
	事後学習	総括を資料、講義録で復習する。

科目名	メディア制度(外国)特殊研究	担当者	米倉 律	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	世界各国の政治・社会・文化・歴史等のコンテクストに応じて多様なメディア制度が存在し、そのうえで様々なメディア・ジャーナリズム活動・事業が展開されている。本授業では、日本のメディア制度と各国のメディア制度を新聞、通信、放送など各分野ごとに比較しながら、その特徴や傾向、課題等について講義する。				
授業目的・到達目標	日本のメディア制度と各国のメディア制度の特徴、傾向に関する基礎理論を養成することを目的とする。 日本および各国のメディア制度の現状および課題について理解し、説明できるようにすることを到達目標とする。 関連するD P・C P 1, 2				
履修条件	特になし。				
授業方法	各国のメディア事情、メディア制度に関する論文、書籍等を輪読しながら進める。 レポートの結果は授業内で講評する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験				
	平常評価		100%		50%：レポート（期末に上記テーマのレポートを提出） 50%：常に問題意識をもって授業に参加すること。授業での発言などが平常評価の対象となる。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	NHK放送文化研究所『データブック 世界の放送』（NHK出版、2018） その他、適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	入手した参考文献に目を通しておく。（2時間）
	授業内容	ガイダンス（「メディアとは、メディア制度とは」）
	事後学習	配布した資料、ノートなどを用いて振り返り。（2時間）
2	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	各国の主要なメディア制度の概況①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）
3	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	各国の主要なメディア制度の概況②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。（2時間）
4	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）

5	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。（2時間）
6	事前学習	参考文献に目を通しておく。（2時間）
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題③
	事後学習	参考文献の該当パートを読んで復習しておく。（2時間）
7	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）
8	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。（2時間）
9	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策③
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）
10	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	アジアのメディア事情とメディア制度①
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。（2時間）
11	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	アジアのメディア制度とメディア政策②
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）
12	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	アジアのメディア制度とメディア政策③
	事後学習	参考文献の該当パートを読んで復習しておく。（2時間）
13	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。（2時間）
	授業内容	国際報道の比較①
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。（2時間）
14	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。（2時間）
	授業内容	国際報道の比較②
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。（2時間）
15	事前学習	第1回～14回の内容をまとめて整理しておく。（2時間）
	授業内容	総括
	事後学習	参考文献や資料を整理しまとめる。（2時間）

科目名	ジャーナリズム史特殊研究	担当者	石川 徳幸	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディアを批判的に読み解くためには、その歴史を具体的に知ることが重要である。本講義では、メディア／ジャーナリズムの歴史を通して、それらの社会的意義について考察する。テキスト講読とディスカッションを通して、こうした視座を涵養する。			
授業目的・到達目標	＜授業目的＞ ・「党派性」をめぐるジャーナリズムの発展過程を題材として、ジャーナリズム及びメディアの役割について考察する。 ＜到達目標＞ ・近代メディアの発達とジャーナリズムの歴史的展開について説明することができるようになる。 【関連するDP・CP：1,2】			
履修条件	特になし。			
授業方法	課題図書の輪読とディスカッションを主たる学修方略とし、数回の校外学習（「授業目的・到達目標」に記載した内容に関係する研究会や学会の参観及び議論への参加や、資料館などへのフィールドワーク）を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回のレジュメと発表（60％）、レポート（40％） 講義総数の3分の1以上の欠席がある者は評価対象にならないため注意すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	Rowman & Littlefield	Partisan Journalism：A History of Media Bias in the United States	Jim A. Kuypers
	備考	※テキストは受講者の専攻や研究テーマによって、変更ないしは追加する場合もある。詳細は初回の講義で指示するので、初回参加時はテキストの用意は不要。		
参考書	Michael C. Emery, Edwin Emery, Nancy L. Roberts “The Press and America: An Interpretive History of the Mass Media”, Allyn and Bacon, 1996			
オフィスアワー	【2021年度大学院オフィスアワー】授業実施期間中の土曜日12:15～12:45 ※アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお薦めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでから参加すること。（1時間）
	授業内容	ガイダンス メディア史およびジャーナリズム史の射程
	事後学習	シラバスとガイダンスの内容をよく理解し、指導教授と相談の上、履修登録を行うこと。（2時間以上）
2	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p15-19 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
3	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p19-21 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
4	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p21-24 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）

5	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	ジャーナリズム史研究のフロンティア① 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
6	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p24-27 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
7	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p27-34 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
8	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p35-38 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
9	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p38-42 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
10	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	ジャーナリズム史研究のフロンティア② 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
11	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p43-47 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
12	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p47-53 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
13	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	ジャーナリズム史研究のフロンティア③ 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
14	事前学習	テキストの指定箇所を下読み レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト講読p55-61 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
15	事前学習	課題レポートの作成（2時間以上）
	授業内容	レポート提出 総括
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）

科目名	ジャーナリズム史特殊研究	担当者	小林 聡明	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ・メディアは、どのように李承晩政権期の韓国について報じていたのだろうか。本授業では、その報道ぶりを追いつながら、アメリカ・ジャーナリズムの権威主義体制への向きあい方を把握し、ジャーナリズムの機能と実態について批判的に捉えようとする。なお、本授業では、英語文献を教科書として使用する。			
授業目的・到達目標	本授業は、韓国という観点を導入することで、アメリカ・ジャーナリズム史を立体的に理解し、解釈の幅を広げようとする。同時に、それは、韓国など東アジアのジャーナリズム史が有する奥行きを照らし出し、そこにたたみ込まれた意味の析出を通じて、当該地域のジャーナリズム史にあらたな理解を誘うものとなる。ここに本授業の目標がある。本授業は、①アメリカ・ジャーナリズム史の理解、②韓国ジャーナリズム史の理解、③韓国現代史の理解、④米韓関係を中心とした東アジア冷戦史の理解、⑤アーカイブを用いた実証的歴史研究の手法獲得を目的とする。 関連するD P・C P 1, 2			
履修条件	アメリカと東アジアの国際関係と歴史に関心を持つ学生の履修を強く希望する。			
授業方法	受講者は、毎週、教科書の割り当てられた部分の英文和訳を行って、授業にのぞむことが求められる。授業内では、自らが行った英文和訳について口頭で発表し、皆で議論する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	発表と討論の内容に基づく
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Palgrave Macmillan	The American Press and the Cold War: The Rise of Authoritarianism in South Korea, 1945-1954,	Oliver Elliott
	備考			
参考書	授業内で紹介する			
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時まで、研究室にて。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと（2時間）
	授業内容	授業の進め方の説明、各自の担当箇所の決定
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
2	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
3	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
4	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）

科目名	メディア史特殊研究	担当者	石川 徳幸	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディアを批判的に読み解くためには、その歴史を具体的に知ることが重要である。本講義では、日本のメディア／ジャーナリズムの歴史の中から、その社会的意義について考察する。テキスト講読とディスカッションを通して、こうした視座を涵養する。			
授業目的・到達目標	<授業目的> ・戦前期及び戦中期日本の歴史的事象を題材として、ジャーナリズムないしメディアの役割について考察する。 <到達目標> ・日本をケーススタディとして、近代メディアの発達とジャーナリズムの歴史的展開について説明することができるようになる。 【関連するDP・CP：1,2】			
履修条件	特になし。			
授業方法	課題図書の輪読とディスカッションを主たる学修方略とし、数回の校外学習（「授業目的・到達目標」に記載した内容に 関係する研究会や学会の参観及び議論への参加や、資料館などへのフィールドワーク）を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回のレジュメと発表（60％）、レポート（40％） 講義総数の3分の1以上の欠席がある者は評価対象にならないため注意すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2020年	草思社	1932年の大日本帝国：あるフランス人記者の記録	アンドレ・ヴィオリス
	備考	※テキストは受講者の専攻や研究テーマによって、変更ないしは追加する場合もある。詳細は初回の講義で指示するので、初回参加時はテキストの用意は不要。		
参考書	黒川貢三郎・石川徳幸『日本のジャーナリズム』櫻門書房 黒川貢三郎・瀧川修吾『近代日本政治史Ⅰ・Ⅱ』南窓社			
オフィスアワー	【2021年度大学院オフィスアワー】授業実施期間中の土曜日12:15～12:45 ※アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでから参加すること。（1時間）
	授業内容	ガイダンス メディア史およびジャーナリズム史の射程
	事後学習	シラバスとガイダンスの内容をよく理解し、指導教授と相談の上、履修登録を行うこと。（2時間以上）
2	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	メディア史研究のフロンティア① 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
3	事前学習	テキスト第1章～第2章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第1章～第2章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
4	事前学習	テキスト第3章～第4章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第3章～第4章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）

5	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	メディア史研究のフロンティア② 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
6	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	メディア史研究のフロンティア③ 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
7	事前学習	テキスト第5章～第6章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第5章～第6章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
8	事前学習	テキスト第7章～第8章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第7章～第8章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
9	事前学習	テキスト第9章～第10章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第9章～第10章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
10	事前学習	テキスト第11章～第12章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第11章～第12章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
11	事前学習	事前配布資料の確認 専門用語の下調べ（1時間）
	授業内容	メディア史研究のフロンティア④ 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
12	事前学習	テキスト第13章～第14章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第13章～第14章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
13	事前学習	テキスト第15章～第16章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第15章～第16章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
14	事前学習	テキスト第17章～第18章 レジュメ作成（2時間以上）
	授業内容	テキスト第17章～第18章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）
15	事前学習	半期分のノートの振り返り 課題レポートの作成（2時間以上）
	授業内容	レポート提出 総括
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。（2時間以上）

科目名	メディア史特殊研究	担当者	小林 聡明	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、知と冷戦の関係について、考える。具体的には、アメリカにおける社会科学、とりわけメディア・コミュニケーション研究が、どのように冷戦と結びつきながら、展開していったのかを学ぶことで、知の権力性を問うものとなる。なお、本授業では英語文献を教科書として使用する。			
授業目的・到達目標	本授業は、次の3つの目的を有している。 ① アメリカのヘゲモニーに対する知の側面からの理解 ② 社会科学、メディア・コミュニケーション研究の知に対する批判的な視点の獲得 ③ 「メディア」に対する拡張的な理解 関連するDP・CP1, 2			
履修条件	アメリカと東アジアの国際関係と歴史に関心を持つ学生の履修を強く希望する。			
授業方法	受講者は、毎週、教科書の割り当てられた部分の英文和訳を行って、授業にのぞむことが求められる。授業内では、自らが行った英文和訳について口頭で発表し、皆で議論する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	発表と討論の内容に基づく	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	Palgrave Macmillan	Cold War Social Science	Mark Solovey etc.
	1996	Oxford University Press	Science of Coercion	C. Simpson
	備考			
参考書	授業内で紹介する			
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時まで、研究室にて。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと（2時間）
	授業内容	授業の進め方の説明、各自の担当箇所の決定
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
2	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
3	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
4	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）

科目名	政治ジャーナリズム論特殊講義	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、現代日本における政治とメディアの相互関係について、その実態について実証的に研究していく。日本政治とメディアの関連性について概観した上で、近年、問題になっているテレビと政治との関係について、番組の「送り手」を中心に、重点的に分析、研究を行っていく。詳細な授業内容については、履修者と相談の上で、決めていきたい。					
授業目的・到達目標	・メディアと政治に関する実態を理解し説明できるようになる ・政治とテレビに関する分析視角についての問題意識の醸成 関連するDP・CP1, 3					
履修条件	履修にあたっては、単なるメディアやジャーナリズムへの関心だけでなく、現代日本政治への関心を持ち、日本政治の現状について、一定の知識と理解をしていることが前提となる。					
授業方法	関連文献の輪読及び履修者による研究発表を基本とする。必要に応じて、学外での検修を行う場合がある。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への参加状況、輪読や研究発表の内容などの状況を評価の対象とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	中央公論社		日本政治とメディア		逢坂巖
	2017年	東京大学出版会		政治を動かすメディア		
	備考					
参考書	星浩・逢坂巖『テレビ政治』2006年、朝日新聞社					
オフィスアワー	月曜及び金曜昼休み、研究室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	授業概要についての説明と履修者の関心領域の確認
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（2時間）
2	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	メディアと政治についての現状について概観的な講義を行う。
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（2時間）
3	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
4	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）

5	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
6	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
7	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
8	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
9	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
10	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
11	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
12	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。（2時間）
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
13	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（2時間）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
14	事前学習	これまでの輪読に現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	日本政治におけるメディアについて、討議を行う。
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（2時間）
15	事前学習	これまでの輪読に現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（2時間）
	授業内容	前期まとめの議論
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（2時間）
16	事前学習	現代のテレビの政治報道について関心を高めておくこと。（2時間）
	授業内容	テレビと政治に関する現代的課題についての概観
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）

17	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（2時間）
18	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 2
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（2時間）
19	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 3
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（2時間）
20	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（2時間）
21	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）
22	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）
23	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）
24	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）
25	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（2時間）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（2時間）
26	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（2時間）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 1
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（2時間）
27	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（2時間）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 2
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（2時間）
28	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（2時間）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 3
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（2時間）

29	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（2時間）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ4
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（2時間）
30	事前学習	これまでの授業を振り返り、自らの問題意識を醸成すること。（2時間）
	授業内容	政治とメディアに関するまとめの議論
	事後学習	政治とメディアに関する今後の研究について考えること。（2時間）

科目名	政治コミュニケーション論特殊講義	担当者	三谷 文栄	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	現代民主主義において、一般の人々はメディアを介して政治を経験することから、政治におけるメディアの役割は極めて重要である。近年は、インターネットやSNSなど、多様なコミュニケーションがみられるようになり、政治コミュニケーション研究は、より一層その重要性を増している。この講義を通じて政治とメディアを分析するための、基本的な枠組みを学ぶ。					
授業目的・到達目標	政治コミュニケーション論がいかに発展してきたのかを理解し、その上で政治コミュニケーション論で注目されている文献を取り上げ、議論する。それを通じて、政治コミュニケーション論の観点から、様々な出来事を分析できるようになることが目標である。関連するD P ・ C P 1 , 3					
履修条件	特にないが、英語の文献を取り上げるので、英日辞書やアプリ等を準備してほしい。					
授業方法	基本的には英語文献の輪読を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内の議論を通じて、各自の理解度を確認する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参考書	字数制限により、ここで提示しきれないため、第一回目にて説明する。					
オフィスアワー	火曜日の昼休み研究室にて。可能な限り、メールで事前に連絡すること。mitani.fumie@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読む（2時間）
	授業内容	ガイダンス：講義のスケジュールや、分担の確認。
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
2	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
3	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
4	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）

5	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
6	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献のと討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
7	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
8	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
9	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
10	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
11	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
12	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
13	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
14	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
15	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読む。（2時間）
16	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読み、自身の問題関心にどう関連するのかを確認する。（2時間）

29	事前学習	配布された文献で、わからないところを確認する。（2時間）
	授業内容	政治コミュニケーション論の文献の輪読と討論
	事後学習	配布された文献を読み、自身の問題関心にどう関連するのかを確認する。（2時間）
30	事前学習	一年を通じて学んだ分析枠組みがどのように自身の研究に活用できるのかを考える。（2時間）
	授業内容	まとめ
	事後学習	学んだ分析枠組みを用いて、分析をする。（2時間）

科目名	世論・政治意識とメディア(日本) 特殊講義	担当者	井田 正道	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	この講座では日本におけるメディア世論調査の実態と世論・政治意識の分析を行う。まず、世論や政治意識といった概念に関する解説から始め、社会調査の手法に関する説明を行う。その後、日本人の世論や政治意識などについて調査結果や分析結果に基づき考察を加えていく。また、最新の世論調査結果なども参照し、世論の動向について考える。			
授業目的・到達目標	本授業では、世論、政治意識といった概念の整理から始まり、世論・政治意識をどのようにして把握するか、という点について考察を深めるとともに、世論調査や意識調査に関する問題点も明らかにする。また、最新の世論調査結果から読み取れる日本人の世論および日本政治の展開についても考え、説明できるようになることを目標とする。関連するD P ・ C P 1 , 3			
履修条件	特に前提となる知識水準を求めるものではないが、授業に対して熱意ある取り組みをすることを求める。			
授業方法	講義方式と発表方式を混在させて行う。はじめの数回は講義方式によって行う。その後は、テキストの各部分を受講者に割り当て、整理して報告してもらう。その上で、講師による講義および質疑・応答を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	授業中の態度、発表およびレポート。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	明治大学出版会	世論調査を読む―Q&Aからみる日本人の<意識>―	井田正道
	2018	北樹出版	日本政治の展開	井田正道
	備考			
参 考 書	『政治・社会意識の現在』井田正道 著 北樹出版			
オフィスアワー	電子メールによる (ac00050@meiji.ac.jp)。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおく。(2時間)
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	復習(2時間)
2	事前学習	社会調査とは何か、について調べる。(2時間)
	授業内容	社会調査の歴史と方法 社会調査とは何か、社会調査の方法について説明する
	事後学習	復習(2時間)
3	事前学習	世論、政治意識の概念について調べておく。(2時間)
	授業内容	世論調査の展開と現状 メディア世論調査の展開、定例調査と選挙調査
	事後学習	復習(2時間)
4	事前学習	テキストの該当部分を読む。(2時間)
	授業内容	調査結果と実態 世論調査結果と実態とのズレについて考える
	事後学習	復習(2時間)

5	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	世論調査の現況 世論調査の主体
	事後学習	復習（2時間）
6	事前学習	標本調査の誤差について調べる。（2時間）
	授業内容	世論調査における統計的・非統計的誤差
	事後学習	復習（2時間）
7	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	世論調査批判 世論調査に対する批判や懐疑について考える
	事後学習	復習（2時間）
8	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	世論調査の分析 クロス分析と統計的検定を中心に論じる
	事後学習	復習（2時間）
9	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	世論調査批判（1）
	事後学習	復習（2時間）
10	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	世論調査批判（2）
	事後学習	復習（2時間）
11	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の世論（1） 階層意識の分析
	事後学習	復習（2時間）
12	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の世論（2） 生活意識の分析
	事後学習	復習（2時間）
13	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の世論（3） 社会意識の分析
	事後学習	復習（2時間）
14	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の世論（4） 司法に関する意識の分析
	事後学習	復習（2時間）
15	事前学習	この半期の知識を整理する。（2時間）
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	復習（2時間）
16	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	政治的態度の概念
	事後学習	復習（2時間）

17	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	政治と文化
	事後学習	復習（2時間）
18	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（1） 内閣支持率の変遷
	事後学習	復習（2時間）
19	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（2） 政権評価の分析
	事後学習	復習（2時間）
20	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（3） 政党支持の分析
	事後学習	復習（2時間）
21	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（4） 無党派層の分析
	事後学習	復習（2時間）
22	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（5） 政治的関心の分析
	事後学習	復習（2時間）
23	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	日本人の政治意識（6） 経済政策に対する有権者評価の分析
	事後学習	復習（2時間）
24	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	国政選挙の分析（1） 近年の国政選挙の計量分析
	事後学習	復習（2時間）
25	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	国政選挙の分析（2） 近年の国政選挙の計量分析
	事後学習	復習（2時間）
26	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	若者の政治参加 大学生の投票参加に関する分析
	事後学習	復習（2時間）
27	事前学習	テキストの該当部分を読む。（2時間）
	授業内容	地方選挙の計量分析
	事後学習	復習（2時間）
28	事前学習	発表準備（2時間）
	授業内容	受講者の問題意識に基づく発表（1）
	事後学習	復習（2時間）

29	事前学習	発表準備（2時間）
	授業内容	受講者の問題意識に基づく発表（2）
	事後学習	復習（2時間）
30	事前学習	後期の講座を整理する。（2時間）
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	復習（2時間）

科目名	メディア社会論特殊講義	担当者	平井 智尚	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	インターネット、SNS、モバイル等のデジタルメディア、ならびにそれらをめぐる社会現象を、社会科学の観点からアプローチしていく。テーマとして、コミュニケーション、文化、政治経済の問題を主として学修する。				
授業目的・到達目標	デジタルメディアと社会の関係を理解し、受講者自身でテーマを設定し、社会科学の観点から論じることができるようになることを到達目標とする。 関連するDP・CP：新聞学研究科1、3				
履修条件	インターネット、SNS、モバイル等のデジタルメディア、コミュニケーションへの関心を持ち、これらの問題に社会科学の観点からアプローチする意欲を持っている。なお、授業への出席は必須である。				
授業方法	教科書を使用する。担当者はレジュメを作成し報告する。受講者による問題提起とディスカッションを行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内における報告やディスカッション等をふまえて、到達目標にかかわる知識や積極的な学修態度が身についているかを評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	作品社		モビリティーズ——移動の社会学	ジョン・アーリ
	2021	七月社		「くだらない」文化を考える——ネットカルチャーの社会学	平井智尚
	2021	晶文社		コンヴァージェンス・カルチャー——ファンとメディアがつくる参加型文化	ヘンリー・ジェンキンス
	備考	使用する教科書は受講者の関心に合わせて変更する。			
参考書	パトリシア・ウォレス（2018）『新版 インターネットの心理学』NTT出版 など 参考書は適宜紹介する。				
オフィスアワー	金曜日10:00-11:00／研究室（9号館6階9601研究室）メールアドレスは初回の授業の際に伝える。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス等を確認し授業に備える（2時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	受講者自身の研究テーマとの関係を確認（2時間）
2	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回報告の準備（2時間）
3	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
4	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）

5	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
6	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
7	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
8	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
9	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
10	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
11	事前学習	報告の準備（2時間）
	授業内容	まとめ：受講者各人の関心に基づく報告
	事後学習	これまでの学習内容の整理（2時間）
12	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
13	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
14	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
15	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）
16	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（2時間）

17	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
18	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
19	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
20	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
21	事前学習	報告の準備（２時間）
	授業内容	まとめ：受講者各人の関心に基づく報告
	事後学習	これまでの学習内容の整理（２時間）
22	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
23	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
24	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
25	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
26	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
27	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）
28	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（２時間）
	授業内容	デジタルメディアと社会に関連する文献の講読・報告・ディスカッション
	事後学習	授業内容の復習と次回授業の準備（２時間）

29	事前学習	報告の準備（2時間）
	授業内容	まとめ：受講者各人の関心に基づく報告
	事後学習	これまでの学習内容の整理（2時間）
30	事前学習	教科書・参考書を通じた予習、質問・議論の整理（2時間）
	授業内容	講義全体のまとめ
	事後学習	これまでの学習内容の整理、ノート作成等（2時間）

科目名	メディア倫理特殊講義	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は情報発信者のための倫理学を学ぶ講義である。日本ではメディア関係の倫理学の場合に、法で規制しきれない部分を補うためのもののように倫理学を扱う。それがどれだけ間違っただけであるか明確にするのが本講義の主な内容である。つまり自身の行為に関する法を守ることと、倫理的な行為を行う事の相違について講義する。			
授業目的・到達目標	本講義は、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する諸問題に対する、ジャーナリスト等の情報発信者として必要な高度な倫理観を育むことを目的とする。 それゆえ、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策を批判的に捉える、ジャーナリスト等の情報発信者として必要な高度な倫理観を育むことを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1, 3			
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。			
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて、レポート提出を求める。レポートの書き方は、予め指導する。提出されたレポートに関する講評は、講義内で行うとともに、希望者には、個人指導の時間を設ける。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	準備学習の程度50%、授業時に行う議論の内容等50%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021	日本評論社	ジャーナリズムの規範理論	塚本晴二郎
	備考			
参考書	受講者の関心に応じて、柔軟に対応していくので、適宜に指示する。			
オフィスアワー	メールにて連絡すること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認するとともに、学部での「ジャーナリズム倫理」等の科目の内容を把握しておく。(2時間)
	授業内容	講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて、講義の進め方を説明し、受講生が講義の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)
2	事前学習	テキストの第1章の1を読み、客観報道と偏向報道との相違を考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道と偏向報道の相違と問題点を提示する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
3	事前学習	テキストの第1章の2を読み、根本的に客観報道等は何かを考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道は成立可能か、を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
4	事前学習	テキストの第1章の3を読み、客観報道の限界性を考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道の限界性と報道の倫理について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)

5	事前学習	テキストの第1章の4を読み、報道倫理と偏向報道の問題点を考察する。(2時間)
	授業内容	偏向報道の分析と新たな報道の倫理に関して論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
6	事前学習	テキストの第2章の1を読み客観報道研究に関して考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道研究の研究史を概観する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
7	事前学習	テキストの第2章の2を読み、「偏向」「極化」と客観報道との関係を考察する。(2時間)
	授業内容	「偏向」「極化」と客観報道に関する問題の所在を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
8	事前学習	テキストの第2章の3を読み、客観報道成立の背景を考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道成立の背景と社会的責任論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
9	事前学習	テキストの第2章の4〔1〕を読み、客観報道「到達不可能」論を考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道「到達不可能」論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
10	事前学習	テキストの第2章の4〔2〕を読み、「作られた客観報道」論を考察する。(2時間)
	授業内容	「作られた客観報道」論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
11	事前学習	テキストの第2章の4〔3〕を読み、「見せかけの客観性」論を考察する。(2時間)
	授業内容	「見せかけの客観性」論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
12	事前学習	テキストの第2章の4〔4〕を読み、「客観性はそもそも存在しない」論を考察する。
	授業内容	「客観性はそもそも存在しない」論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
13	事前学習	テキストの第2章の5〔1〕と〔2〕を読み、客観報道「到達不可能」論と「作られた客観報道」論への反論を考察する。(2時間)
	授業内容	客観報道「到達不可能」論と「作られた客観報道」論への反論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
14	事前学習	テキストの第2章の5〔3〕と〔4〕を読み、「見せかけの客観性」論と「客観性はそもそも存在しない」論への反論を考察する。(2時間)
	授業内容	「見せかけの客観性」論と「客観性はそもそも存在しない」論への反論について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
15	事前学習	テキストの第2章の6を読み、客観報道論と「極化」の問題を再検討する。(2時間)
	授業内容	客観報道論を整理し、報道の倫理学的研究にとって重要な点は何かを、検討し合う。
	事後学習	前期のすべての講義ノートを確認し、これまで学んできたことを整理する。(2時間)
16	事前学習	前期に学んだ客観報道論をどのように応用するかを考察するとともに、その具体例として、まず第3章の1を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理ーヘイトスピーチを手がかりとしてー①国連人種差別撤廃委員会とヘイト・スピーチの法規制：前期の講義を踏まえて、具体的な事例研究を法的な側面から論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)

17	事前学習	第3章の2の徳倫理学に関する記述を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－②ヘイト・スピーチと倫理学理論①徳倫理学を中心に論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
18	事前学習	第3章の2の義務倫理学に関する記述を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－②ヘイト・スピーチと倫理学理論②義務倫理学を中心に論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
19	事前学習	第3章の2の功利主義倫理学に関する記述を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－②ヘイト・スピーチと倫理学理論③功利主義倫理学を中心に論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
20	事前学習	第3章の2の権利の倫理学に関する記述を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－②ヘイト・スピーチと倫理学理論④権利の倫理学を中心に論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
21	事前学習	第3章の2の愛の倫理学に関する記述を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－②ヘイト・スピーチと倫理学理論⑤愛の倫理学を中心に論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
22	事前学習	第3章の3を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－③ヘイト・スピーチ報道のジレンマ：具体的な報道の問題点を論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
23	事前学習	第3章の4を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－④コミュニタリアン・ジャーナリズムのアプローチ：具体的な事例をコミュニタリアニズム倫理学の側面から論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
24	事前学習	第3章の5を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	極化」現象とジャーナリズムの倫理－ヘイトスピーチを手がかりとして－⑤後期のこれまでの講義を踏まえ具体的な事例研究のまとめを行う。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
25	事前学習	第4章の1、2を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」報道の実証研究（マクロ）①仮説の設定：具体的な事例の実証的な研究をマクロな分析の仕方を見る。その最初として、仮説の設定について論じる。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
26	事前学習	第4章の3、4、5、6を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」報道の実証研究（マクロ）②考察：具体的な事例の実証的な研究のマクロ・データの分析を学ぶ。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
27	事前学習	第5章の1、2を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」報道の実証研究（ミクロ）①：具体的な事例研究で理論的な枠組み作りを学ぶ。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
28	事前学習	第5章の2〔1〕〔2〕〔3〕を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」報道の実証研究（ミクロ）②：具体的な事例研究で内容分析の方法論を学ぶ。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)

29	事前学習	第5章の3を読み、具体的な事例を学ぶ準備をする。(2時間)
	授業内容	「極化」報道の実証研究(ミクロ)③:具体的な事例研究で内容分析の結果を考察する。
	事後学習	講義ノートを確認し講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問できるように準備をする。(2時間)
30	事前学習	初回からの講義ノートを見直し、前回の発表を踏まえて、制度論的な研究方法論を体系的に考察する。(2時間)
	授業内容	総括講義
	事後学習	初回からの講義ノートを見直し、倫理的な研究方法論の研究ノートが作成できるようにまとめておく。(2時間)

科目名	メディア法制特殊講義	担当者	笹田 佳宏	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、日本におけるメディア活動と各種法律の関係を考察する。特に、表現の自由の確保、権力との関係などに注目し、判例や学説を踏まえながら学修する。					
授業目的・到達目標	現代のマスメディアが抱える法的な諸課題を考察する力を身につけるために、各法律がマスメディアの報道活動に与えている影響を修得する。 関連するD P ・ C P 新聞学研究科 1、 3					
履修条件	特にないが、教科書の当該箇所や指定された参考文献などを事前に読み、毎回、発表レポートを作成すること。					
授業方法	面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		提出レポート、報告内容、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	学陽書房		法とジャーナリズム 〈第3版〉		山田健太
	備考	適宜、プリント等を配付する。				
参 考 書	マス・メディア法入門 〈第5版〉 日本評論社、松井茂記					
オフィスアワー	月曜日の12:10～13:00(事前にメールでアポイントメントを取ること) 研究室(本館9階1913) メールアドレス:sasada.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のテーマの中で興味をもった箇所を読む。(2時間)
	授業内容	ガイダンス(全体のテーマおよび進め方の説明)
	事後学習	ガイダンスを受けて、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。(2時間)
2	事前学習	電通ホームページ内の「2019年 日本の広告費」を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	日本のマスメディアの現状
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
3	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	新聞業界
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)
4	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。(2時間)
	授業内容	放送業界Ⅰ
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。(2時間)

5	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。（2時間）
	授業内容	放送業界Ⅱ
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。（2時間）
6	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。（2時間）
	授業内容	出版業界
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。（2時間）
7	事前学習	配付資料を読み、ポイントをまとめる。（2時間）
	授業内容	インターネット
	事後学習	講義ノートを確認し、論点について自分の考えをまとめる。（2時間）
8	事前学習	教科書の「民主主義社会と表現の自由 表現の自由と意義」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	民主主義社会と表現の自由Ⅰ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
9	事前学習	教科書の「民主主義社会と表現の自由 民主主義と言論、表現の自由と国家観」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	民主主義社会と表現の自由Ⅱ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
10	事前学習	教科書の「検閲の禁止と表現規制類型 表現の自由の歴史、日本における表現の自由と検閲」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	検閲の禁止
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
11	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	知る権利
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
12	事前学習	教科書の「取材・報道の自由と報道定義」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	取材・報道の自由と報道定義
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
13	事前学習	教科書の「プレスの公共性と特恵的待遇」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	プレスの公共性と特恵的待遇
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
14	事前学習	教科書の「立法・司法へのアクセス 司法情報へのアクセス、裁判員裁判と取材・報道」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	司法情報へのアクセス
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
15	事前学習	配布資料、教科書を用いて振り返り（2時間）
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	前期の授業内容についてノート、その他でまとめる。
16	事前学習	教科書の「立法・司法へのアクセス 立法へのアクセス」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	立法へのアクセス
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）

17	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 放送事業の自由と規律」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅰ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
18	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 放送番組の自由と規律」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅱ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
19	事前学習	教科書の「放送の自由と放送政策 公共放送と商業放送」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	放送の自由と放送政策Ⅲ
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
20	事前学習	教科書の「選挙と表現の自由」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	選挙と表現の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
21	事前学習	教科書の「政治をめぐる表現の自由 憲法改正と意見の表明」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	国民投票法
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
22	事前学習	教科書の「名誉毀損と批判の自由」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	名誉毀損と批判の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
23	事前学習	教科書の「プライバシー侵害」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	プライバシー侵害
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
24	事前学習	教科書の「猥褻・性差別表現」を読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	猥褻・性差別表現
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
25	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	児童ポルノ規制
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
26	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	少年法61条と報道の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
27	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	ヘイト・スピーチと表現の自由
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
28	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	青少年と情報の取り扱い
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）

29	事前学習	配付プリントを読み、発表レポートを作成する。（2時間）
	授業内容	個人情報保護
	事後学習	授業で議論となったテーマに関する自分の意見をまとめる。（2時間）
30	事前学習	一年間の授業の内容についてノート、資料等を用いて振り返り（2時間）
	授業内容	年間総括
	事後学習	総括を受けて、日本のメディア法制の特徴を整理し、まとめる。

科目名	ジャーナリズム史(日本)特殊講義	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代社会という固有の空間に成立した社会制度としてのジャーナリズムを、社会との関係性において歴史的に考察する。ジャーナリズム研究の「脱西欧」を目指すため、日本を中心に東アジアのジャーナリズムモデルの構築を試みる。					
授業目的・到達目標	歴史の研究は、過去を通じて、「未来」へとつながる「現在」をよりよく理解することにその意義がある。その意味で歴史の研究は「常に現代的」なのである。本授業は、そうした視座から、ジャーナリズムの歴史を学修するだけでなく、脱西欧的アプローチおよび方法論を構築することを目的とする。 関連するDP・CP1, 3					
履修条件	特になし。					
授業方法	教科書の批判的読解、個別のトピックの研究報告。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		課題発表(50%) 課題レポート(50%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	学文社		『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』（第2版）		大井眞二他編著
	備考					
参考書	『ジャーナリズム・スタディーズのフィールド』（大井眞二、学文社） 『アメリカ報道史』（大井眞二他訳、松柏社）					
オフィスアワー	火曜日の午後3時から4時。 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス熟読 (30分以上)
	授業内容	はじめに：受講上の諸注意、教科書・参考文献紹介
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
2	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	第1章 メディア化時代のジャーナリズム (上)
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
3	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	第1章 メディア化時代のジャーナリズム (中)
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
4	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	第1章 メディア化時代のジャーナリズム (下)
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)

5	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 ジャーナリズム史—日本型報道規範の形成史（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
6	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 ジャーナリズム史—日本型報道規範の形成史（中）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
7	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 ジャーナリズム史—日本型報道規範の形成史（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
8	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズム教育—ジャーナリズム・リテラシーのススメ（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
9	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズム教育—ジャーナリズム・リテラシーのススメ（中）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
10	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズム教育—ジャーナリズム・リテラシーのススメ（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
11	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 ジャーナリズムの法と倫理（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
12	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 ジャーナリズムの法と倫理（中）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
13	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 ジャーナリズムの法と倫理（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
14	事前学習	テキストの再読（120分以上）
	授業内容	東アジアのジャーナリズムモデル（儒教）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（120分以上）
15	事前学習	テキストの再読（120分以上）
	授業内容	第1章～4章のまとめと議論
	事後学習	リアクションペーパーの作成（120分以上）
16	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第5章 取材と報道（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

17	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第5章 取材と報道（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
18	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第7章 プロフェッショナリズムと客観性（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
19	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第7章 プロフェッショナリズムと客観性（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
20	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第8章 ジェンダーとメディア（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
21	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第8章 ジェンダーとメディア（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
22	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第10章 ニュースのフレーム（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
23	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第10章 ニュースのフレーム（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
24	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第13章 グローバル化とジャーナリズム（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
25	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第13章 グローバル化とジャーナリズム（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
26	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第14章 戦争と平和のジャーナリズム（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
27	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第14章 戦争と平和のジャーナリズム（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
28	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第16章 ジャーナリズム研究の脱西欧（上）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

29	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	第16章 ジャーナリズム研究の脱西欧（下）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
30	事前学習	テキストの再読（120分以上）
	授業内容	論点整理とまとめ
	事後学習	リアクションペーパーの作成（120分以上）

科目名	ジャーナリズム史(外国)特殊講義	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代社会という固有の空間に成立した社会制度としてのジャーナリズムを、社会との関係性において歴史的に考察する。			
授業目的・到達目標	歴史研究の意義は、過去を通じて、「未来」へとつらなる「現在」をより良く理解することにある。その意味で歴史の研究は「常に現代的」なのである。本授業は、そうした視座からジャーナリズムの歴史を学修するだけでなく、歴史的研究のアプローチおよび方法論を身につけることを目的とする。 関連するDP・CP1, 3			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書の批判的読解、個別的トピックの研究報告。 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50%：レポート 50%：平常評価	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	学文社	『ジャーナリズム・スタディーズのフィールド』	大井眞二
	備考			
参考書	『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために（第2版）』（大井眞二他編、世界思想社） 『アメリカ報道史』（大井眞二他訳、松柏社）、その他適宜授業の折に紹介する。			
オフィスアワー	火曜日午後3時から4時。 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス熟読 (30分以上)
	授業内容	はじめに：受講上の諸注意、教科書・参考文献紹介
	事後学習	リアクションペーパー (リアベ) の作成(30分以上)
2	事前学習	テキスト事前精読 (30分以上)
	授業内容	「メディア化時代のジャーナリズム」(レジュメ)
	事後学習	リアベの作成 (30分以上)
3	事前学習	テキスト事前精読 (30分以上)
	授業内容	第1章 ジャーナリズム・スタディーズの新たな射程 (上)
	事後学習	リアベの作成 (30分以上)
4	事前学習	テキスト事前精読 (30分以上)
	授業内容	第1章 ジャーナリズム・スタディーズの新たな射程 (中)
	事後学習	リアベの作成 (30分以上)

5	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第1章 ジャーナリズム・スタディーズの新たな射程（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
6	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 メディアの自由論の歴史ー新たな公共性（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
7	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 メディアの自由論の歴史ー新たな公共性（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
8	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第2章 メディアの自由論の歴史ー新たな公共性（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
9	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズムの思想史ーアングロ・アメリカンの系譜（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
10	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズムの思想史ーアングロ・アメリカンの系譜（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
11	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第3章 ジャーナリズムの思想史ーアングロ・アメリカンの系譜（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
12	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 比較ジャーナリズム・スタディーズ（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
13	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 比較ジャーナリズム・スタディーズ（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
14	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第4章 比較ジャーナリズム・スタディーズ（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
15	事前学習	テキスト事前精読（120分以上）
	授業内容	第1章から第4章のまとめと議論
	事後学習	リアペの作成（120分以上）
16	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第5章 客観性の原理ー米国ジャーナリズム史から（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）

17	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第5章 客観性の原理—米国ジャーナリズム史から（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
18	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第5章 客観性の原理—米国ジャーナリズム史から（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
19	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第6章 ジャーナリズムの倫理規範—センセーショナリズムを考える（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
20	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第6章 ジャーナリズムの倫理規範—センセーショナリズムを考える（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
21	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第6章 ジャーナリズムの倫理規範—センセーショナリズムを考える（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
22	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第7章 グローバルリスク時代のジャーナリズム（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
23	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第7章 グローバルリスク時代のジャーナリズム（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
24	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第7章 グローバルリスク時代のジャーナリズム（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
25	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第8章 ジャーナリズムの信頼性を問う（上）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
26	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第8章 ジャーナリズムの信頼性を問う（中）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
27	事前学習	テキスト事前精読（30分以上）
	授業内容	第8章 ジャーナリズムの信頼性を問う（下）
	事後学習	リアペの作成（30分以上）
28	事前学習	テキスト再読（120分）
	授業内容	歴史の中の「アングロ・アメリカンジャーナリズム」
	事後学習	リアペの作成（120分）

29	事前学習	テキスト再読（120分）
	授業内容	第5章から第8章のまとめと議論
	事後学習	リアペの作成（120分）
30	事前学習	テキスト再読（120分）
	授業内容	全体のまとめと議論
	事後学習	リアペの作成（120分以上）

科目名	リスクコミュニケーション論特殊講義	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	4
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	現代社会はあらゆる事象がリスク化したリスク社会である。戦争、テロ、自然災害、原発事故のような危機事態に際して、メディアにはどのような役割や効果があるか、政府や自治体などの広報活動はいかにあるべきか、コミュニケーションの観点から考察する。現代社会におけるリスクに関する諸問題について理解し、研究のための計画を立てる。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 現代におけるさまざまなリスクに対して、リスクマネジメントの手法とリスクコミュニケーションを実践することができる能力を養成することを目的とする。 【到達目標】 現代社会におけるリスクを理解し、それぞれのリスクの具体的な諸問題を分析し、その研究を行うための計画を立てることができるようになることを目標とする。			
履修条件	関連するDP・CP 1, 3			
授業方法	リスクに関する具体的な事例や理論を講義し、コンピュータやビデオを使用しながら、同時に出席者との活発な議論を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	50%：前期末に1回、後期末に1回、レポート試験を実施する。 50%：授業への参加度を重視する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編
	備考			
参考書	福田充編(2012)『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』北樹出版。福田充(2009)『メディアとテロリズム』新潮新書。講義の参考図書やレポート課題として使用する。			
オフィスアワー	水曜日1限、研究室にて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。(120分)
	授業内容	リスクコミュニケーションとは何か
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。(120分)
2	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。(120分)
	授業内容	リスク社会学の誕生
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。(120分)
3	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。(120分)
	授業内容	グローバル・リスク時代(金融・環境・テロ)
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。(120分)
4	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。(120分)
	授業内容	テロリズムの時代とメディア①： 事例分析(911やオウム真理教地下鉄サリン事件など)
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。(120分)

5	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	テロリズムの時代とメディア②： 社会的影響
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
6	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	テロリズムの時代とメディア③： 欧米の制度
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
7	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	戦争とメディア①： 第2次世界大戦
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
8	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	戦争とメディア②： ベトナム戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
9	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	戦争とメディア③： 湾岸戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
10	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	戦争とメディア④： イラク戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
11	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	インテリジェンス活動と情報機関
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
12	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	メディア技術と監視社会論
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
13	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。（120分）
	授業内容	安全・安心 vs 自由・人権の価値対立とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
14	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	クライシス・リテラシー
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
15	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	議論の総括
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
16	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	危機事態における広報： 危機管理とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）

17	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	自然災害とメディア①： 東日本大震災の事例分析
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
18	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	自然災害とメディア②： 警報と避難行動
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
19	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	自然災害とメディア③： 被害情報と災害報道
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
20	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	自然災害とメディア④： 被災者の情報ニーズ
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
21	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	大規模事故とメディア①： 福島第一原発事故の事例分析
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
22	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	大規模事故とメディア②： ライフライン事故
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
23	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	環境問題とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
24	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	新型ウィルスとパンデミック
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
25	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	食品の安全・安心： 風評被害の社会心理
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
26	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。（120分）
	授業内容	リスク消費社会の誕生： リスクの社会認知と世論
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
27	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	企業・組織の危機管理とリスクコミュニケーション
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）
28	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	リスクコミュニケーションの社会教育
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。（120分）

29	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	メディア活動の危機管理
	事後学習	研究ノートとレジюме作成。（120分）
30	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。（120分）
	授業内容	議論の総括
	事後学習	研究ノートとレジюме作成。（120分）

科目名	比較ジャーナリズム論特殊講義	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	はじめに、日本のジャーナリズムについての知識を基礎に、政治制度の異なる中国と台湾のジャーナリズムを比較し、ジャーナリズムと政治制度の関係を理解する。次に、日中台などのジャーナリズムの言説を比較し、その環境監視機能について実証的に考察する。					
授業目的・到達目標	政治制度によってジャーナリズムの機能が異なることを再確認し、そこから送られる情報・言説を実例の検証を通じて客観的に解析することができる知識を得る。関連するDP・CP 1, 3					
履修条件	特にないが、資料を読むための中国語力があることが望ましい。					
授業方法	事前に提供してある資料を読み、その内容について一名、ないし二名が報告、その後に受講者全員で議論し、資料の言説に対して評価を下す。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		発表内容、議論参与度を中心に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2021年度	教員学生共有サイトに掲載		①2021比較ジャーナリズム論特殊講義-台湾・中国・日本 比較ジャーナリズム		山本賢二編
	2021年度	教員学生共有サイトに掲載		②2021(言説編)比較ジャーナリズム論特殊講義		山本賢二編
	備考	なお、言説分析については授業内容が前後することもあるとともに、新たなトピックに置き換えることもあり得る。教材は「COLNetリモートアクセス」から「学生教員共有」に入り「山本賢二」の「教材配布」にアップしてある。				
参考書	山本賢二 小川浩一編著『国際コミュニケーションとメディア-東アジアの諸相』学文社 2019.3					
オフィスアワー	月曜日と水曜日の12時30分から13時まで2号館9階講師室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、質問事項をまとめる。(2時間)
	授業内容	シラバスに基づき授業内容についてガイダンス。
	事後学習	ガイダンス内容を熟考し、受講するか否かを決める。(2時間)
2	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。(2時間)
	授業内容	①「9. 日本の関係規定 284-」新旧新聞倫理綱領など
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。(2時間)
3	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。(2時間)
	授業内容	①「9. 日本の関係規定 284-」新旧新聞倫理綱領など
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。(2時間)
4	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。(2時間)
	授業内容	①「開放的島嶼與封閉的大陸-劉曉波看臺灣 2-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。(2時間)

5	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「生活大對比台灣與大陸的生活水平差別到底多大 5-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
6	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「兩岸文化的異同與影響 11-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
7	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「大陸與台灣初中與國中歷史教科書異同比較 19-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
8	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「五權憲法與今日中國憲法之比較 30-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
9	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「1. 憲法比較 32-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
10	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「2. 「政党法」と「党規約」85-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
11	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「3. 「國防法」と「中人民共和國國防法」135-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
12	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「4. 「反滲透法」と「反分裂国家法」149-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
13	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「5. 「政府資訊公開法」と「中人民共和國政府信息公开条例」154-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
14	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「6. 「中華民國報業道德規範」と「中国新工作者道德准」167-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
15	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「7. 「廣播電視法」と「广播管理条例」186-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
16	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	①「8. 「出版法」と「出版管理条例」247-」
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）

17	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「1. 香港区議会選挙について 1-」日本の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
18	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「1. 香港区議会選挙について 1-」香港の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
19	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「1. 香港区議会選挙について 1-」中国・台湾の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
20	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「2. 台湾総統選挙について 61-」日本の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
21	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「2. 台湾総統選挙について 61-」香港の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
22	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「2. 台湾総統選挙について 61-」中国・台湾の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
23	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「3. 中華人民共和国建国70周年について 121-」日本の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
24	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「3. 中華人民共和国建国70周年について 121-」中国・台湾の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
25	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「4. サイバーセキュリティ法について 169 - 」日本の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
26	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「4. サイバーセキュリティ法について 169 - 」中国・台湾の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
27	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「5. 新型コロナウイルス肺炎について 179 - 」日本の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
28	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「5. 新型コロナウイルス肺炎について 179 - 」台湾・香港の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）

29	事前学習	資料を熟読し、自分の観点をまとめる。（2時間）
	授業内容	②「5. 新型コロナウイルス肺炎について 179 - 」中国の言説
	事後学習	議論内容をまとめ、自分の評価をまとめる。（2時間）
30	事前学習	これまでの議論をまとめる。（2時間）
	授業内容	政治制度とジャーナリズムの関係について議論し、ジャーナリズムのあるべき姿を考える。
	事後学習	国情とジャーナリズムについてまとめる。（2時間）

科目名	国際コミュニケーション論特殊講義	担当者	鈴木 雄雅	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義はグローバル社会におけるメディアの影響を多角度から学ぶために、前学期は国際コミュニケーションの基礎と現代に至る進展を、後学期は各論（テーマ別）＝ニュース論、戦争、グローバル化するメディア文化などの諸問題をとりあげる。授業に関係するシンポジウムなど（大学内、大学外）があれば授業の一助として活用する。両学期とも受講生との対話を重視する。			
授業目的・到達目標	本講義はマス・メディアやインターネットを介した国際間の情報流通の諸問題を手がかりにして、国際間のコミュニケーションの諸問題を考える。異なる政治経済体制国々、歴史や文化を異にする国々のなかで南北問題や開発問題など、さまざまな局面にみられる国際間のコミュニケーションの問題を扱う。そのなかで、国際間のコミュニケーションのあり方を主軸に国際報道、ジャーナリズム、マス・メディアのあり方、マス・メディアへの接し方を学ぶ場とする。コミュニケーション、マス・コミュニケーションの基礎的な知識を修得し、国際間におけるマス・メディア/メディアの役割（機能）を考えることができること。ジャーナリズムの果たすべき役割は何かを問うことができるようにする。関連するDP・C各田のグローバル社会に身を置き、マス・メディア/インターネットに主体的に接することが日常に行えること。国際間のニュースの流れ、ジャーナリズムの役割、マス・メディアの現在に関心のある学生			
履修条件				
授業方法	面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。クイズやインターネットを使ったリアクション、ビデオ映像、新聞記事などから、多面的にアクセスする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参加度、リアクションペーパー、アサイメントの提出及び国際コミュニケーション、グローバル・コミュニケーションの基礎を理解しているかどうか評価の一助とする	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2003	ミネルヴァ書房	グローバル社会とメディア	武市英雄・原寿雄（責任編集）
	2018	世界思想社	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために【第2版】	大井眞二/田村紀雄/鈴木雄雅（編著）
	2018	春風社	世界のメディア	小寺敦之（編）
	備考	その他指定文献、論文などは講義時に適宜紹介する。		
参考書	H. H. フレデリック、武市英雄ほか（訳）『グローバル・コミュニケーション』（松柏社、1996）、山本賢二・小川浩一（編著）『国際コミュニケーションとメディア―東アジアの諸相―』（学文社、2019）			
オフィスアワー	授業時間後、授業講堂にて。その他Email(HAF00025@nifty.ne.jp) で質問・相談を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	当該科目の履修確認。また、事前にシラバスを確認しておくこと。（2時間）
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	当該科目の履修届。また、これまでの復習を行っておくこと（2時間）
2	事前学習	前回授業内容、資料の確認 各回レジュメ（サイトアクセスを含む）を配布する。授業計画中の文献には書籍、論文、新聞・ネット記事（ニュース）、映像、URLなどを含む。（2時間）
	授業内容	概念、定義(1) コミュニケーション、マス・コミュニケーション
	事後学習	指定文献・論文の精読（2時間）
3	事前学習	前回授業内容と資料の読解（2時間）
	授業内容	概念、定義(2) 国際コミュニケーション、グローバリゼーション
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
4	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバリゼーションとメディアの進展(1)
	事後学習	グローバル社会とメディア 1章（2時間）

5	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバルゼーションとメディアの進展(2)
	事後学習	グローバル社会とメディア 2章（2時間）
6	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	グローバルゼーションとメディアの進展(3)
	事後学習	グローバル社会とメディア 3章（2時間）
7	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序（NWICO）論争(1)
	事後学習	アサイメント（1）（2時間）
8	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序（NWICO）論争(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
9	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(1)東欧の崩壊（映像利用）
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
10	事前学習	前回授業内容、資料の確認（2時間）
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
11	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章（2時間）
	授業内容	マス・メディアからメガ・メディアの時代(1)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
12	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章（2時間）
	授業内容	メガ・メディアからギガ・メディアの時代(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
13	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章（2時間）
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(1)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
14	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章（2時間）
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(2)
	事後学習	指定文献の精読（2時間）
15	事前学習	2～14回目講義ノートの通読 レポートの作成（2時間）
	授業内容	総 括 グローバルコミュニケーションを規定する要因
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと（2時間）
16	事前学習	前学期履修した内容の復習（2時間）
	授業内容	後学期のオリエンテーション・進め方について
	事後学習	指定資料などの精読（2時間）

17	事前学習	教科書5章「グローバル社会とメディア」 （2時間）
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(1)
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
18	事前学習	前回資料の確認（2時間）
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(2)
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
19	事前学習	グローバル社会とメディア 7章（2時間）
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(1) 日米報道
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
20	事前学習	グローバル社会とメディア 5章（2時間）
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(2) 客観報道主義
	事後学習	配布資料の精読（2時間）
21	事前学習	日露戦争を調べる（2時間）
	授業内容	戦争とメディア：日露戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
22	事前学習	ベトナム戦争を調べる（2時間）
	授業内容	プロパガンダ、戦争（紛争）と国際報道をめぐる諸問題(1) ベトナム戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
23	事前学習	湾岸戦争、イラク戦争を調べる（2時間）
	授業内容	プロパガンダ、戦争（紛争）と国際報道をめぐる諸問題(2) 湾岸戦争、イラク戦争（映像利用）
	事後学習	アサイメント（リアベ）（2時間）
24	事前学習	グローバル社会とメディア 6章（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(1)-韓流・華流
	事後学習	関係サイトの閲覧、トピックの検出（2時間）
25	事前学習	前回事後学習の確認（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(2)-ジャパニメーション
	事後学習	実態の把握（2時間）
26	事前学習	指定論文を読む（2時間）
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(3)
	事後学習	指定論文の精読（2時間）
27	事前学習	前回講義の復習（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(1) フェイクニュースの登場とポピュリズムの台頭
	事後学習	国際報道の検証（2時間）
28	事前学習	指定論文（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(2) 国際メディア監視組織
	事後学習	国際報道の検証（2時間）

29	事前学習	2回の国際報道講義の復習（2時間）
	授業内容	インターネット時代の国際報道(3) テロ・ポピュリズム
	事後学習	まとめ（2時間）
30	事前学習	17～29回講義ノートの通読 レポートの作成（2時間）
	授業内容	総 括
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと（2時間）

科目名	比較コミュニケーション政策論特殊講義	担当者	本多 周爾	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	情報通信技術の発展に伴う情報化、世界的なレベルで相互依存関係の緊密化をもたらしているグローバル化という状況を踏まえ、国家、ならびに国際社会を取り巻くコミュニケーション環境に関わる問題について、比較研究の視点に立って分析、検討する。具体的には、国家・国民統合、開発と発展、国家間の情報流通に影響を及ぼすコミュニケーション政策、メディア政策、情報政策について理論的考察と事例研究を行う。				
授業目的・到達目標	コミュニケーション政策の諸問題に比較研究の視点からアプローチし、そこに横たわる課題を理論と実践の両面から考察し、解決の糸口を見つけ出すことができるようになることを目的とする。 国際コミュニケーション、開発コミュニケーションに関する専門知識を修得し、情報化とグローバル化という今日の状況において、コミュニケーション政策が、国家の統合と開発、ナショナル・アイデンティティやナショナリズム等に及ぼす影響、並びに南北間に横たわる情報流通の格差と不均衡、国際的な情報環境の変容等の問題について説明できるようになる。関連するDP・CP：新聞学研究科1, 3				
履修条件	特になし				
授業方法	配布するレジメ・プリント、教科書、参考書に即して、講義形式と演習形式を交えて授業を進める。 質疑応答、ディスカッションを通じて、授業内でフィードバックする。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	発表・報告と講読（70%）、ディスカッション（30%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017年	春風社	国際コミュニケーションの政治学		本多周爾
	備考				
参考書	・本多周爾『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』春風社、2010年 ・本多周爾『発展と開発のコミュニケーション政策』武蔵野大学出版会、2007年				
オフィスアワー	火曜日16:10～16:30授業講堂にて。なお、事前にメールでアポイントメントをとること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で講ずるテーマを念頭に、シラバスで教科書、参考書としてあげた文献に目を通しておくこと（2時間）
	授業内容	「授業をはじめににあたって」 比較コミュニケーション政策論の授業の概要、テーマ、スケジュールと進め方、参考文献の紹介、研究の方法、成績評価等について説明する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
2	事前学習	第1回目の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論の視座」 比較コミュニケーション政策論とは、コミュニケーション研究においてどのような位置づけにあるのか、どのような学問領域を構成しているのかについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
3	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論のテーマの設定」 比較コミュニケーション政策についての理論を修得するために、関連する研究テーマとしてどのようなものがあるのかを選定し、それらの研究上の有意性について検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
4	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「コミュニケーション政策の分野と概要」 コミュニケーション政策の理論的視点を押さえる一方、日本、アメリカ、EU、ならびにいくつかの東南アジア諸国の実際のコミュニケーション政策の一部を分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）

5	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「メディア政策、情報化政策の範囲と概要」 メディア政策、情報化政策について、政策の理論的視点を押さえる一方、日本、アメリカ、EUの実際のメディア政策、情報化政策について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
6	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合、国民統合の理論と過程」 国家を統合し、国民を形成する過程について論じている理論と研究について、現実の国家建設に照らして検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
7	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合におけるコミュニケーションの機能」 西洋の歴史における国家統合においてコミュニケーションが果たしてきた役割を参照しつつ、新興国家における国家建設におけるコミュニケーションの機能について考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
8	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国民統合におけるメディアの役割」 西洋の国民統合において新聞等のマス・メディアが担ってきた役割を紹介しつつ、新興国家の国民形成におけるマス・メディアの役割は何かを検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
9	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国家統合、国民統合とコミュニケーション政策」 発展途上諸国が国家統合と国民形成にあたって、実施している実際のコミュニケーション政策をいくつかの事例を比較しながら検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
10	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発、発展の理論とパラダイム転換」 発展途上諸国が進める開発と発展に関する理論研究と、その思想的背景であるパラダイムについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
11	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発、発展におけるコミュニケーションの機能と役割」 発展途上国が開発と発展を進める中で、マス・メディア、コミュニケーションはどのような役割が課せられ、どのような機能を果たすと考えられるかを分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
12	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発コミュニケーションの理論とパラダイム転換」 発展途上諸国がコミュニケーションを活用した開発と発展を実施する、開発コミュニケーションについての理論とパラダイムが、大きく転換してきた過程と意味を考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
13	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「開発コミュニケーション政策の実践」 発展途上諸国が実際に試行している開発コミュニケーションの政策の事例を取り上げ、その実態を検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
14	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論の論点の分析、再検討」 国家統合、国民形成という視点からコミュニケーション政策の理論と実践を改めて比較研究という面から検討、考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
15	事前学習	第1回から14回までに配布したレジメ・プリントに目を通し、それぞれのテーマ毎に提示したポイントと課題、ディスカッションのテーマについて整理しておくこと（2時間）
	授業内容	「前期講義の小括」 前期の授業において分析、検討、考察してきた比較コミュニケーション政策論について、そこで浮上した課題も含めて、小括する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）

16	事前学習	後期で取り上げるテーマについて、シラバスで教科書、参考書としてあげた文献に目を通しておくこと（2時間）
	授業内容	「後期の授業をはじめるにあたって」 後期の授業の概要、テーマ、スケジュールと進め方を説明し、参考文献を紹介する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
17	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「国際的な情報流通の不均衡、情報格差の是正に向けた政策」 南北間のコミュニケーションの流れの不均衡、情報格差の実態とその歴史的な背景と経済構造に焦点を当てて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
18	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「新世界情報コミュニケーション秩序の構築を求める動き」 南北間に横たわる情報とコミュニケーションの流れの不均衡を是正しようという動きと、それをめぐる先進諸国と発展途上諸国間の対立について考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
19	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「マス・メディア宣言以後の情報コミュニケーション秩序」 マス・メディア宣言によって新しい世界的な情報コミュニケーション秩序の構想が提示された経緯と、その後の国際的な情報環境の実情について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
20	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「情報化の進展と政策的な展開」 先進諸国、発展途上諸国を問わず世界的なレベルで進展する情報化について、自然経過的に進んできた現象と政策的に進められてきた面について検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
21	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「グローバル化と情報化政策の課題」 不可避的、不可逆的な現象であるグローバル化において、情報化政策によって情報化が進展することで生ずる問題点を発展途上諸国の開発に即して検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
22	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「情報化、グローバル化の開発コミュニケーション政策への影響」 現在進行している情報化とグローバル化は、発展途上諸国の開発とコミュニケーション政策にどのような影響をもたらしているかについて検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
23	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「東アジア、東南アジアにおける開発政治」 発展が著しい台湾、ならびにインドネシア、マレーシア、タイにおける開発政治のあり様と特徴について、比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
24	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「東アジア、東南アジアにおける開発コミュニケーション政策」 台湾、ならびにインドネシア、マレーシア、タイにおける開発コミュニケーション政策のあり様と特徴について、比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
25	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「台湾の発展と情報化政策」 経済発展を遂げ、先進国の仲間入りを果たそうとしている台湾について、その開発政治とそれを支える情報化政策について分析する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
26	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと(2時間)
	授業内容	「インドネシアの開発コミュニケーション政策」 ASEANの盟主であるインドネシアの発展の基礎を築いたスハルト政権の開発政治とコミュニケーション政策、その後の動きについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）

27	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマについて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「マレーシアの開発コミュニケーション政策」 2020年に先進国入りを目指すマレーシアの発展の基礎を築いたマハティール政権の開発政治とコミュニケーション政策、その後の動きについて考察する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
28	事前学習	前回の授業で配布したレジメ・プリントであげた次回のテーマにつて、教科書、参考文献、参考資料に目を通して予習しておくこと（2時間）
	授業内容	「タイの開発コミュニケーション政策」 経済発展が著しいタイについて、半民主主義体制といわれる政体における開発政治とコミュニケーション政策の実情と課題について検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
29	事前学習	第16回から28回までに配布したレジメ・プリントに目を通し、それぞれのテーマ毎に提示したポイントと課題、ディスカッションのテーマについて整理しておくこと（2時間）
	授業内容	「後期講義の小括」 情報流通の不均衡と格差、情報化とグローバル化について整理する一方、台湾、インドネシア、マレーシア、タイにおける開発コミュニケーション政策を比較検討する。
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた当該授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマについて、教科書、参考文献に沿って復習しておくこと（2時間）
30	事前学習	前後期授業のレジメ・プリントに沿って、比較コミュニケーション政策論について概括し、そこから見えてくる研究課題を抽出しておくこと（2時間）
	授業内容	「比較コミュニケーション政策論に残された研究課題と展望」 国家建設、国民統合、開発においてコミュニケーション政策が果たす役割を事例研究に基づいて分析、再検討し、知見を得る一方、そこから見えてくる課題について考察する。
	事後学習	授業で議論した研究課題、研究テーマについて検討し、それらに対する自らの知見を整理すること（2時間）

科目名	中国メディア論特殊講義	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	「武」（武力）と「文」（宣伝）によって中国国民党から政権を奪取した中国共産党にとっては、メディアは中国を経営するための耳目と喉舌である。耳目とは情報の収集を指し、喉舌とは情報の提供を意味している。本講義は中国共産党のメディアコントロールの実態を検証するものである。			
授業目的・到達目標	中国共産党の指導による中国のメディア・ジャーナリズムの動向を分析するための方法を修得すると同時に、日中相互理解に対する中国メディアの機能を考察し説明できるようになることを目標とする。関連するD P ・ C P 1 , 3			
履修条件	特になし。			
授業方法	参考書を熟読していることを前提とし、担当者(山本)の研究論文を一週一編読み、その内容について話し合いながら講義を進める。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	5 0 % : レポート（学年末に「中国の国情とメディア」というテーマでレポートを提出） 5 0 % : 授業中における話し合いに積極的に参与する。これを平常評価とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021年度	教員学生共有サイト掲載	中国メディア・ジャーナリズム論考(1)(2)(3)	山本賢二
	2021年度	教員学生共有サイト掲載	中国メディア・ジャーナリズム論考-習近平の時代	山本賢二
	備考	上記「論考」の中から、任意に論文を選択し、報告、議論する。下記「授業計画」の「授業内容」は例示。教材は「COLNetリモートアクセス」から「学生教員共有」に入り「山本賢二」の「教材配布」にアップしてある。		
参考書	モーゲンソー『国際政治』(上)(中)(下) 岩波文庫 2013/12 中国訳書『国家政治：力斗争与和平』北大出版社 何 清漣 『中国のの嘘—恐るべきメディア・コントロールの実態』扶桑社 2005/2 原著 『霧鎖中國』黎明文化			
オフィスアワー	月曜日と水曜日の12時30分から13時まで2号館9階講師室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「情報主権」について調べる。（2時間）
	授業内容	ガイダンス(情報主権)
	事後学習	中国の「情報主権」観をまとめる。（2時間）
2	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国における「中国共産党の指導」（「論考」（1）p. 4－12）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
3	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国の「四大自由」再考（「論考」（1）p. 28－52）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
4	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国における「四権」の消長（「論考」（3）p. 45－79）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）

5	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	一言堂-中国共産党一党独裁と「08憲章」をめぐる（「論考」（1）p. 53－73）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
6	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	習近平と中国の言論空間（「論考」（3）p. 21－44）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
7	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	メディアとしての太極拳（「論考」（1）p. 308－322）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
8	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国の「四大自由」（「論考」（1）p. 28－52）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
9	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	「中国新聞工作者職業道德準則」について（「論考」（2）p. 127－128）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
10	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国「新聞記者証管理弁法」について（「論考」（2）p. 270－334）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
11	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国におけるオンラインニュース管理規定（「論考」（2）p. 335－401）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
12	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中華人民共和国サイバーセキュリティ法（「論考」（3）p. 132－182）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
13	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	胡績偉のジャーナリズム論（「論考」（2）p. 46－66）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
14	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国のジャーナリズム・イデオロギー・憲政運動（「論考」（2）p. 67－76）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
15	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	「炎黄春秋」と出版の自由（「論考」（2）p. 401－412）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
16	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	一国両制と新聞の自由（「論考」（1）p. 119－142）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）

17	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	少数民族問題についての輿論誘導（「論考」（1）p. 143－162）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
18	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	9. 11事件と中国メディア（「論考」（1）p. 83－98）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
19	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	「海峡兩岸三地」（中国・台湾・香港）メディアリテラシー その(一) 中国 （「論考」（3）p. 451－474）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
20	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中国にとっての情報としての知財（「論考」（1）p. 296－307）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
21	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	「新聞法」について（「論考」（2）p. 179－269）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
22	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	中華人民共和国情報公開条例（「論考」（1）p. 323－338）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
23	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	新疆「7.5」事件とインターネット規制（「論考」（1）p. 163－183）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
24	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	林語堂のジャーナリズム論（「論考」（1）p. 74－82）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
25	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	「抗日戦争勝利70周年」のスローガン（「論考」（2）p. 99－126）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
26	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	東芝ノートパソコン事件報道（「論考」（1）p. 184－208）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
27	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	西安留学生寸劇事件報道（「論考」（1）p. 209－228）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
28	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	日中の言論空間（「論考」（1）p. 244－255）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）

29	事前学習	関連文献を読む。（2時間）
	授業内容	日中相互理解とメディアリテラシー」（「論考」（1）p. 256－295）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。（2時間）
30	事前学習	これまで報告・議論してきた内容を再検証する。（2時間）
	授業内容	話し合い－メディアと日中相互理解
	事後学習	話し合った内容について自分の意見を含めまとめる。（2時間）

科目名	ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	担当者	水野 泰志	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ネット社会の進展に伴い、メディア環境が激変する中、ネットメディアを活用したジャーナリズムについて、さまざまな角度から実証的な研究を行う。内外の最新の事例にもとづき、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど既存メディアにおけるジャーナリズムとの比較を通じ、ウェブジャーナリズムの本質、信頼性、影響力、功罪、可能性、課題などを学修する。			
授業目的・到達目標	ネット時代のジャーナリズムについて、高度情報化された民主的社会の知見を深めるために、専門的な知識を蓄え、実践する能力を身につけることを目的とする。 急速に変容・深化するウェブジャーナリズムについて、さまざまな視点から基礎的知識を修得するとともに、ネット社会のあるべき姿を自らの言葉で表現できることを目標とする。 関連するD P ・ C P 1 , 3			
履修条件	とくになし。			
授業方法	講義を中心に、ウェブジャーナリズムの動向について受講者それぞれが興味を持つテーマを設定して調査研究を行い、論文（レポート）を作成し、受講者全員で討議する。その都度、講評や解説を行う。必要に応じて学外研修を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	受講者ごとに設定した研究テーマにおける成果、講義への取り組み、討議の内容などにより、総合判断する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	必要に応じて提示する。 新聞、テレビ、ネットなど、さまざまなニュースメディアを常に意識する。			
オフィスアワー	水曜日18:00～19:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 図書館L 3 0 2 メールアドレス：aei03021@nifty.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認し、ウェブジャーナリズムについて考える。（120分）
	授業内容	ガイダンス：授業のテーマ、内容、スケジュール、成績評価の方法などについて説明する。それにより、受講者は、授業計画を知り、授業の準備をスムーズに行うことができる。
	事後学習	ウェブジャーナリズムについて整理する。（2時間）
2	事前学習	ウェブジャーナリズムの具体駅事例について考える。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムの概要について学修する。
	事後学習	ウェブジャーナリズムの具体駅事例について整理する。（120分）
3	事前学習	コミュニケーションとメディアの関係について考える。（120分）
	授業内容	コミュニケーションとメディアの関係について学修する。
	事後学習	コミュニケーションとメディアの関係について整理する。（120分）
4	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関する研究テーマを絞り込む。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムに関する研究テーマの事例について学修する。
	事後学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを整理する。（120分）

5	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを決定する。（120分）
	授業内容	個々の受講生がウェブジャーナリズムに関する個々の研究テーマを設定する。
	事後学習	次回以降、受講者はそれぞれ決定した研究テーマについて、順次プレゼン（報告）するので、それぞれ準備にとりかかる。（120分）
6	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	情報革命とジャーナリズムについて学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
7	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	ネットメディアの特性について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
8	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	マスメディアとマイメディアについて学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
9	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	フェイクニュースについて学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
10	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	日本のウェブジャーナリズム事情について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
11	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	米国のウェブジャーナリズム事情について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
12	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	欧州やアジアなどのウェブジャーナリズム事情について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
13	事前学習	コロナ禍について、基本的知識やさまざまなニュースを取得する。（120分）
	授業内容	コロナ禍に関するさまざまな報道に接し、新聞・放送メディアとネットメディアのニュースの違いを体感し、解説できるようにする。
	事後学習	コロナ禍に関するさまざまな報道を受け、とくにネットニュースについて、知見を深める。（120分）
14	事前学習	コロナ禍について、ネットを中心に、さまざまなフェイクニュースを取得する。（120分）
	授業内容	コロナ禍に関するさまざまなフェイクニュースに接し、問題点を分析し、ネットメディアの負の部分について解説できるようにする。
	事後学習	コロナ禍に関するフェイクニュースを受け、ネットニュースについて、より深い知見を深める。（120分）
15	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、前期のまとめの論文（レポート）を作成する。（120分）
	授業内容	受講者全員が前期のまとめの論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	受講者のさまざまな研究テーマについて知見を深め、後期に向けて自らの研究テーマの課題や進め方について整理する。（120分）
16	事前学習	前期の自らの調査研究を踏まえ、後期の調査研究の進め方について計画を立てる。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムに関する個々の院生の調査研究の後期の進め方について再構築する。
	事後学習	後期の自らの調査研究の進め方について整理する。（120分）

17	事前学習	フェイクニュースについて基礎的知識を修得する。プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	フェイクニュース全般について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
18	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	欧州のフェイクニュース対策について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
19	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	米国のフェイクニュース対策について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
20	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	アジア各国のフェイクニュース対策について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
21	事前学習	衆院選について、基本的知識やさまざまなニュースを取得する。（120分）
	授業内容	衆院選について、さまざまな報道に接し、新聞・放送メディアとネットメディアのニュースの違いを体感し、解説できるようにする。
	事後学習	衆院選に関するさまざまな報道を受け、とくにネットニュースについて、知見を深める。（120分）
22	事前学習	衆院選について、ネットを中心に、さまざまなフェイクニュースを取得する。（120分）
	授業内容	衆院選に関するさまざまなフェイクニュースに接し、問題点を分析し、問題点を分析し、ネットメディアの負の部分について解説できるようにする。
	事後学習	衆院選に関するさまざまなフェイクニュースを受け、ネットニュースについて、より深い知見を深める。（120分）
23	事前学習	衆院選の結果について、ネットメディアが与えた影響を探る。（120分）
	授業内容	衆院選の結果について、ネットメディアが与えた影響などについて学修する。
	事後学習	衆院選の結果について、ネットメディアが与えた影響などについて、知見を深める。（120分）
24	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	巨大プラットフォームとネットニュースについて学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
25	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	モバイルのニュースアプリ（既存メディア、ネット専用メディアなど）の展開について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
26	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	ソーシャルメディアメディア（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）の深化について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
27	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムの伝播力や影響力について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）
28	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼン担当者の研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理する。（120分）
	授業内容	ウェブジャーナリズムの可能性と限界について学修する。また、該当のプレゼン担当者が論文（レポート）のプレゼンを行い、受講者全員で討議する。
	事後学習	講義や、プレゼン担当者の研究テーマについてのレポート（中間報告等）や討議を受け、知見を深める。（120分）

29	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめの論文（レポート）を準備する。（120分）
	授業内容	受講者それぞれの論文（レポート）について、最終報告（まとめ）を調整する。
	事後学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめの論文（レポート）を整理する。（120分）
30	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、最終論文（レポート）を作成する。（120分）
	授業内容	受講生全員が論文（レポート）の最終報告についてプレゼンし、受講者全員で討議する。
	事後学習	受講者それぞれの論文（最終報告）や討議を受け、ウェブジャーナリズムについて、知見をより深める。（120分）

科目名	映像ジャーナリズム論特殊講義	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	テレビを中心とした映像ジャーナリズムは現代社会において、政治、経済、文化など様々な領域において大きな影響力を持っている。本授業では放送番組の内容分析を実践的に行いながら、映像ジャーナリズムの機能・役割について多角的に理解することを目指す					
授業目的・到達目標	放送番組の内容分析についての基本的な方法論を習得し、実際に幾つかの番組テキストを特定の問題意識に基づいて分析してその内容の特徴や傾向について明らかにできるようになること。関連するD P・C P 1， 3					
履修条件	ドキュメンタリー番組、報道番組などについて関心を持ち、視聴できる環境にあること					
授業方法	文献講読と、番組の映像素材を用いた分析、発表、ディスカッションを組み合わせで進めていく。評価の対象とする発表については、授業内で随時講評を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		数回の発表と日常の発言などで総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2021	岩波書店		「反原発」のメディア・言説		日高勝之
	備考	使用しない				
参考書	上記文献に関連する文献を、適宜指示する。					
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	入手した参考書などを用いて準備する。（2時間）
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配布資料を用いて振り返り（2時間）
2	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	震災10年間の検証～先行研究①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
3	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	震災10年間の検証～先行研究②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容に沿って振り返り。（2時間）
4	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	震災10年間の検証～番組視聴①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）

5	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	震災10年間の検証～番組視聴②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
6	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	震災10年間の検証～番組視聴③
	事後学習	関連の書籍を読んでおく（2時間）
7	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	メタデータ分析①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
8	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	メタデータ分析②
	事後学習	関連の書籍を読んでおく（2時間）
9	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	メタデータ分析③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
10	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	メタデータ分析④
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
11	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	メタデータ分析⑤
	事後学習	配布資料を用いて振り返り（2時間）
12	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。（2時間）
	授業内容	分析結果の報告①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
13	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	分析結果の報告②
	事後学習	関連の書籍を読んでおく（2時間）
14	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。（2時間）
	授業内容	分析結果の報告③
	事後学習	配布資料を用いて振り返り（2時間）
15	事前学習	前期の授業内容についてノートその他でまとめる。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
16	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。（2時間）
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象①（2時間）
	事後学習	配布資料を用いて振り返り

17	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。（2時間）
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
18	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
19	事前学習	靖国神社についての基本的情報を収集、整理しておく。（2時間）
	授業内容	事例研究：映画「靖国」①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
20	事前学習	映画「靖国」の上映問題について情報収集、分析する。（2時間）
	授業内容	事例研究：映画「靖国」②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
21	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象④
	事後学習	配布資料を用いて振り返り（2時間）
22	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象⑤
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
23	事前学習	南京事件について基本的情報を調べておく。（2時間）
	授業内容	事例研究：南京事件①
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。（2時間）
24	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	事例研究：南京事件②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
25	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	事例研究：南京事件③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
26	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	日中韓の放送を通じた「文化的対話」①
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。（2時間）
27	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	日中韓の放送を通じた「文化的対話」②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）
28	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。（2時間）
	授業内容	日中韓の放送を通じた「文化的対話」③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する（2時間）

29	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。（2時間）
	授業内容	日中韓の放送を通じた「文化的対話」④
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。（2時間）
30	事前学習	一年間の授業の内容についてノート、資料等を用いて振り返り（2時間）
	授業内容	年間総括
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめる。（2時間）

科目名	文献研究(英)	担当者	小林 聡明	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、コミュニケーション研究の歴史的展開を学び、当該研究領域のパラダイムに内包された意味について、政治や文化という文脈から検討するものである。それは、その時代に、なぜ、そこで、そういった研究が生み出されてきたのかを考えるものであり、本授業で扱う内容は、コミュニケーション研究をめぐる思想史という側面も有している。			
授業目的・到達目標	本授業は、次の3つの目的を有している。 ①コミュニケーション研究史の理解 ②コミュニケーション研究パラダイムの東アジアでの展開に関する理解 ③英語文献の読解能力の向上 関連するD P・C P 6			
履修条件	英語文献の読解に強い意欲を持ち、継続的な努力を欠かさない学生の履修を強く希望する。			
授業方法	受講者は、毎週、教科書の割り当てられた部分の英文和訳を行って、授業にのぞむことが求められる。授業内では、自らが行った英文和訳について口頭で発表し、皆で議論する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	英語文献の読解力と発表・討論の内容に基づいて評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	Routledge	The International History of Communication Study	Peter Simonson
	2013	Routledge	The Handbook of Communication History	Peter Simonson
	1994	The Free Press	A History of Communication Study	Everett M Rogers
	備考			
参 考 書	授業内で紹介する			
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時まで、研究室にて。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと（2時間）
	授業内容	授業の進め方の説明、各自の担当箇所の決定
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
2	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
3	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
4	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）

29	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
30	事前学習	来週、扱う文献を読んだうえで、担当箇所の英文和訳を行い、コメントを準備する（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	前期、後期を振り返り、今後の課題を考え、それを行うための計画を策定する（2時間）

科目名	文献研究(英)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムの古典的なテキストクリフォード・クリスチャンズ他のMedia Ethics第11版を読む。			
授業目的・到達目標	研究論文を正確に読み、使用されている概念等を把握する。 関連するDP・CP6。			
履修条件	特になし			
授業方法	輪読を中心にディスカッションも行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義に臨む姿勢・積極性等を総合的に判断する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2020	Routledge	Media Ethics	Clifford G. Christians.
	備考			
参考書	適宜に指示する。			
オフィスアワー	メールにて連絡すること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの内容について理解しておく。(2時間)
	授業内容	テキストの概要を説明する。
	事後学習	テキストの概要を整理しておき、次回からの翻訳に繋げる。(2時間)
2	事前学習	Introductionを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Introductionの輪読。
	事後学習	Introductionの内容の確認。(2時間)
3	事前学習	Institutional Pressuresを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Institutional Pressuresの輪読
	事後学習	Institutional Pressuresの内容の確認。(2時間)
4	事前学習	Institutional Pressuresに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Institutional Pressuresに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)

5	事前学習	Truthtellingを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Truthtellingの輪読。
	事後学習	Truthtellingの内容の確認。(2時間)
6	事前学習	Truthtellingに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Truthtellingに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
7	事前学習	Reporters and Sourcesを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Reporters and Sourcesの輪読。
	事後学習	Reporters and Sourcesの内容の確認。(2時間)
8	事前学習	Reporters and Sourcesに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Reporters and Sourcesに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
9	事前学習	Social justiceを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Social justiceの輪読。
	事後学習	Social justiceの内容の確認。(2時間)
10	事前学習	Social justiceに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Social justiceに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
11	事前学習	Privacyを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Privacyの輪読
	事後学習	Privacyの内容の確認。(2時間)
12	事前学習	Privacyに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Privacyに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
13	事前学習	The Commercialization of Everyday Lifeを予習しておく。(2時間)
	授業内容	The Commercialization of Everyday Lifeの輪読
	事後学習	The Commercialization of Everyday Lifeの内容の確認。(2時間)
14	事前学習	The Commercialization of Everyday Lifeに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	The Commercialization of Everyday Lifeに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
15	事前学習	The Media and Commercialを予習しておく。(2時間)
	授業内容	The Media and Commercialの輪読
	事後学習	The Media and Commercialの内容の確認。(2時間)
16	事前学習	The Media and Commercialに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	The Media and Commercialに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)

17	事前学習	Public communicationを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Public communicationの輪読
	事後学習	Public communicationの内容の確認。(2時間)
18	事前学習	Public communicationに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Public communicationに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
19	事前学習	Conflicting Loyaltiesを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Conflicting Loyaltiesの輪読
	事後学習	Conflicting Loyaltiesの内容の確認。(2時間)
20	事前学習	Conflicting Loyaltiesに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Conflicting Loyaltiesに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
21	事前学習	Violenceを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Violenceの輪読
	事後学習	Violenceの内容の確認。(2時間)
22	事前学習	Violenceに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Violenceに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
23	事前学習	Profits, wealth, and Public Trustを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Profits, wealth, and Public Trustの輪読
	事後学習	Profits, wealth, and Public Trustの内容の確認。(2時間)
24	事前学習	Profits, wealth, and Public Trustに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Profits, wealth, and Public Trustに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
25	事前学習	Media Scope and Depthを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Media Scope and Depthの輪読
	事後学習	Media Scope and Depthの内容の確認。(2時間)
26	事前学習	Media Scope and Depthに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Media Scope and Depthに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)
27	事前学習	Censorshipを予習しておく。(2時間)
	授業内容	Censorshipの輪読
	事後学習	Censorshipの内容の確認。(2時間)
28	事前学習	Censorshipに関する意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	Censorshipに関するディスカッションを行う。
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しておく。(2時間)

29	事前学習	第3回から第28回の内容のうちのどれかの発表準備を行う。(2時間)
	授業内容	第3回から第28回の内容の任意のものに関する発表とそれに関するコメント
	事後学習	他の人の発表内容と自身への質問及びコメントの内容を整理しておく。(2時間)
30	事前学習	すべての講義を通しての質問事項をまとめておく。(2時間)
	授業内容	総括と質疑応答。
	事後学習	他の人のものも含めて質疑応答の内容と総括の内容を理解しておく。(2時間)

科目名	文献研究(日)	担当者	石川 徳幸	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	日本の大学院で研究を行い、日本語で修士論文を執筆するためには、日常会話レベルの日本語に親しむだけでなく、学問の場に特有な日本語表現であったり、専門用語を理解する必要がある。本講義では、留学生諸君にとって必要となる高度な日本語の読解力を身につけるために、文献講読を通して論理的な議論の作法を修得する。			
授業目的・到達目標	＜授業目的＞ 人文科学・社会科学の領域における日本語表現を理解する。日本語で書かれた文献を通して、学問的知識を得る。 ＜到達目標＞ 日本語の文献を解読し、内容を要約して説明することができること。日本語でのレポート作成、修士論文の執筆が可能となる水準に到達すること。 【関連するDP・CP：6】			
履修条件	本講義と同じ担当者の「専門演習（研究指導）」を受講する者。			
授業方法	日本語文献の要約と発表を基本的な学修方略とし、これに加えて、校外学習（「授業目的・到達目標」に記した内容に係る研究会や学会の参観及び議論への参加）によって日本語による研究発表やディスカッション能力を修得する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	毎回の授業のレジュメと発表。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	KADOKAWA（角川ソフィア文庫）	ザ・ジャパニーズ	エドウィン・O・ライシャワー
	備考	テキストは当該年度における受講者の研究テーマや日本語の習熟度によって変更することがある。詳しくは初回のガイダンスで説明するため、初回参加時にはテキストの用意は不要。		
参考書	Edwin O. Reischauer "The Japanese" Harvard University Press, 1977 日本エディタースクール（編）『日本語表記ルールブック（第2版）』2012年			
オフィスアワー	【2021年度大学院オフィスアワー】授業実施期間中の土曜日12:15～12:45 ※アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスによく目を通してくること（30分）
	授業内容	初回ガイダンス 文献講読の方法
	事後学習	講義内容をノートに整理する。指定されたテキストを用意すること（1時間）
2	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
3	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「国土」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
4	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「農業と天然資源」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）

5	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
6	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
7	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「孤立」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
8	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「古代の日本」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
9	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「封建制度」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
10	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「幕藩体制」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
11	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
12	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「明治維新」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
13	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「立憲制度」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
14	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「軍部による反発」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
15	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「占領軍による改革」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
16	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「戦後の日本」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）

17	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「多様性と変化」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
18	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「集団」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
19	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「相対主義」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
20	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
21	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「個性」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
22	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「ヒエラルキー」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
23	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「教育」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
24	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「ビジネス」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
25	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）
26	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「大衆文化」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
27	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「婦人」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
28	事前学習	事前配布資料の確認 日本語のテクニカルタームを調べる（1時間）
	授業内容	日本語による最新の研究成果の報告を聞き、レジュメを読む 校外学習（ないしはオンライン）
	事後学習	簡易レポートを提出し、添削を受ける（2時間）

29	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより 「宗教」
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）
30	事前学習	テキストの指定箇所を読む レジュメを作成する（2時間）
	授業内容	テキストより「心理的諸傾向」 総括
	事後学習	添削内容を確認し、得られた知識をノートに整理する（1時間）

科目名	文献研究(日)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究、ジャーナリズム研究に関する日本語文献を講読し、日本語として理解し、レポート作成を通して日本語の文章力を育成する。					
授業目的・到達目標	日本語でメディア研究、ジャーナリズム研究および社会学の関連文献と論文を講読する。専門文献を読み解くことで、日本語に馴染むだけでなく社会科学における日本語表現を身に付ける。それを通して、日本語で修士論文を執筆可能となる水準に到達する。関連するD P ・ C P 6					
履修条件	とくにない。					
授業方法	日本語文献（論文、著書）を輪読し、内容を報告する。さらにその内容に関するレポートを提出し、討論をする。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業時での発表および課題レポートの成果。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	ちくま新書（筑摩書房）		情報生産者になる		上野千鶴子
	備考	まず上記を予定しているが、それ以外に関しては授業時に相談する。				
参考書	教科書に合わせて、授業時に適宜指示する。					
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。（2時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究テーマとの関係を確認する。（2時間）
2	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	I 情報生産の前に 1 情報とは何か？ 2 問いを立てる
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
3	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	II 海図となる計画をつくる 3 先行研究を批判的に検討する 4 研究計画書を書く 5 研究計画書を書く（当事者研究版）
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
4	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	III 理論も方法も使い方次第 6 方法論とは何か
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）

5	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅲ 理論も方法も使い方次第 7 対象と方法の選択
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
6	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅳ 情報を収集し分析する 8 質的情報とは何か？ 9 インタビューの仕方
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
7	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅳ 情報を収集し分析する 10 質的情報の分析とは何か？ 11 KJ法のその先へ
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
8	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅴ アウトプットする 12 目次を書く 13 論文を書く
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
9	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅴ アウトプットする 14 コメント力をつける 15 論文の書き方を学ぶ
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
10	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅵ 読者に届ける 16 口頭報告をする
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
11	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。（2時間）
	授業内容	Ⅵ 読者に届ける 17 メッセージを届ける 18 プロデューサーになる
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。（2時間）
12	事前学習	これまでのテキストおよび授業内容をもとにレポート作成の構想をする（6時間）
	授業内容	レポート作成の実践①
	事後学習	作成したレポートの修正をする（6時間）
13	事前学習	修正したレポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	レポート作成の実践②
	事後学習	修正したレポートの修正（校正）（6時間）
14	事前学習	修正したレポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	レポート作成の実践③
	事後学習	修正したレポートの修正（校正）（6時間）
15	事前学習	修正したレポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	前期のまとめと課題提示
	事後学習	前期まとめのとしての課題レポート作成（8時間）
16	事前学習	課題レポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	後期のガイダンスと課題レポートの添削指導
	事後学習	課題レポートの添削を確認し、修正する（6時間）

17	事前学習	修正したレポートの確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションとは何か
	事後学習	資料をダウンロードし、内容を確認してておく（2時間）
18	事前学習	資料の内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践①
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
19	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践②
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
20	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践③
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
21	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践④
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
22	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践⑤
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
23	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践⑥
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
24	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践⑦
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
25	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践⑧
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
26	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践⑨
	事後学習	資料を基に、トライアルを試みる（2時間）
27	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践のまとめ①
	事後学習	トライアルを基にレポートを作成（6時間）
28	事前学習	トライアルした内容を確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践のまとめ②
	事後学習	作成したレポートの修正（6時間）

29	事前学習	修正したレポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	論理的コミュニケーションの実践のまとめ②
	事後学習	作成したレポートの修正（校正）（6時間）
30	事前学習	修正したレポートを確認しておく（2時間）
	授業内容	後期のまとめと課題提示
	事後学習	後期まとめのとしての課題レポート作成（8時間）

科目名	文献研究(日)	担当者	佐幸 信介	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディア研究の基本文献のテキスト・クリティークをとおして、メディア研究の基本的知識、認識、方法論を学ぶ				
授業目的・到達目標	メディア研究にとって複数の基本的な文献を、的確に読み、まとめ、議論に生かす能力を習得することが目的である。その成果を、レポートとしてまとめる。 関連するDP・CP6				
履修条件	特になし				
授業方法	テキスト読解、レジュメ作成、報告、ディスカッションの形式で行う 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回のレジュメ作成、報告は必須。最終的に、授業内レポートを課す	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2009	書籍工房早山	定本 想像の共同体		ベネディクト・アンダーソン
	2020	ミネルヴァ書房	テレビジョン		レイモンド・ウィリアムズ
	備考				
参考書	その他、講義内で適宜紹介する				
オフィスアワー	メールにて連絡すること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと（1時間）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回目のテキストを精読しておくこと（2時間）
2	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』序章
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
3	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第1章
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
4	事前学習	テキストを精読し、レジュメを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第2章
	事後学習	レジュメ・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）

5	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第3章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
6	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第4章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
7	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第5章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
8	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第6章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
9	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第7章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
10	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第8章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
11	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第9章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
12	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第10章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
13	事前学習	テキストを精読し、レジюмеを作成する（3時間）
	授業内容	『想像の共同体』第11章
	事後学習	レジюме・ディスカッションをふまえ、再度テキストを精読すること（2時間）
14	事前学習	レポートを作成する（3時間）
	授業内容	レポートの報告と合評
	事後学習	合評を受けて、レポートを再検討する
15	事前学習	第1回～14回を振り返り、復習する（2時間）
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	全体の復習（2時間）
16	事前学習	前期を振り返り、かつ後期のシラバスを読んでおくこと（1時間）
	授業内容	後期ガイダンス
	事後学習	テキストを精読しておくこと

29	事前学習	レポートを作成する（3時間）
	授業内容	レポートの報告と合評
	事後学習	合評を受けて、レポートを再検討する
30	事前学習	第16回～29回を振り返り、復習する（2時間）
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	全体の復習（2時間）

科目名	文献研究(日)	担当者	柴田 秀一	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	研究者としてのプレゼンテーション力と文章力の向上を図る為、日本語の文献を読み解いて、科学としての証左を含んだ、読み手に分かりやすい文章等をまとめる能力を身につける。			
授業目的・到達目標	日本語でメディア・社会学関連の文献を輪読する。文献を読むことで、社会科学における日本語表現を身に着け、修士論文執筆での確に表現、発表できるようにする。 関連するDP・CP新聞学研究科6			
履修条件	特になし。			
授業方法	日本語文献、記事を輪読し、内容のプレゼンテーションとまとめのレポート、内容討論をする。 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内での課題レポート提出や、発表、討論状況を評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1987年初版	筑摩書房	思考の整理学	外山滋比古
	2011年初版	光文社新書 541	もうダメされないための「科学」講義	菊池誠 他
	備考	思考の整理学（前期）、もうダメされない「科学」講義		
参考書	随時、授業中に示す。			
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容			
1	事前学習	「思考の整理学」の最初の章を読み進める（60分）		
	授業内容	前期ガイダンスと教科書：「思考の整理学」について		
	事後学習	前期の講座ガイダンスで講座のやり方を整理し、教科書を更に読み進める（60分）		
2	事前学習	教科書 第Ⅰ章グライダーを読んで、分からない意味等を調べておく（60分）		
	授業内容	教科書 第Ⅰ章から① 「グライダー」		
	事後学習	「グライダー」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）		
3	事前学習	教科書 第Ⅰ章から「朝飯前」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）		
	授業内容	教科書 第Ⅰ章から② 「朝飯前」		
	事後学習	「朝飯前」という文章の意味するところは何かをもう一度考える（60分）		
4	事前学習	教科書 第Ⅱ章から「醗酵」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）		
	授業内容	教科書 第Ⅱ章から①「醗酵」		
	事後学習	「醗酵」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）		

5	事前学習	第Ⅱ章から「寝させる」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅱ章から②「寝させる」
	事後学習	「寝させる」という文章の意味するところは何かを復習しもう一度考える（60分）
6	事前学習	教科書 第Ⅱ章から「アナロジー」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅱ章から③「アナロジー」
	事後学習	「アナロジー」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
7	事前学習	教科書 第Ⅲ章から「情報のメタ化」を読んで、分らない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅲ章から①「情報のメタ化」
	事後学習	「情報のメタ化」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
8	事前学習	教科書 第Ⅲ章から「スクラップ」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅲ章から②「スクラップ」
	事後学習	「スクラップ」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
9	事前学習	教科書 第Ⅲ章から「カード・ノート」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅲ章から③「カード・ノート」
	事後学習	「カード・ノート」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
10	事前学習	教科書 第Ⅳ章から「整理」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅳ章から①「整理」
	事後学習	「整理」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
11	事前学習	教科書 第Ⅳ章から「すてる」を読んで、分からない意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅳ章から②「すてる」
	事後学習	「すてる」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
12	事前学習	教科書 第Ⅳ章から「とにかく書いてみる」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅳ章から③「とにかく書いてみる」「テーマと題名」
	事後学習	「とにかく書いてみる」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
13	事前学習	教科書 第Ⅴ章から「しゃべる」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅴ章から「しゃべる」「三上・三中」
	事後学習	「しゃべる」「三上・三中」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
14	事前学習	教科書 第Ⅵ章から「コンピューター」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第Ⅵ章から「コンピューター」
	事後学習	「コンピューター」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
15	事前学習	教科書 あとがきに変えて「『おもわれる』と『考える』」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書「思考の整理学」の総括。「思われる」と「考える」（文庫版あとがきに変えて）
	事後学習	「思われる」と「考える」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
16	事前学習	教科書後期「もうダメされないための『科学』」の最初の章を読み進める（60分）
	授業内容	教科書後期「もうダメされないための『科学』」と講座の進め方説明
	事後学習	第1章を読み進める（60分）

17	事前学習	教科書 第1章から「科学っぽいものを疑ってみる」「科学を装う科学ではないもの」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第1章 「科学っぽいものを疑ってみる」「科学を装う科学ではないもの」を読み解く。
	事後学習	「科学っぽいものを疑ってみる」「科学を装う科学ではないもの」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
18	事前学習	教科書 第1章から「『正しい間違い』は科学である」「証明できない『科学』、証明しようのない『ニセ科学』」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第1章「『正しい間違い』は科学である」「証明できない『科学』、証明しようのない『ニセ科学』」を読み解く。
	事後学習	「『正しい間違い』は科学である」「証明できない『科学』、証明しようのない『ニセ科学』」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
19	事前学習	教科書 第2章から「科学の領域から科学がはみ出すとき」「『ローカルな知』と『モード2科学』」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第2章「科学の領域から科学がはみ出すとき」「『ローカルな知』と『モード2科学』」を読み解く。
	事後学習	「科学の領域から科学がはみ出すとき」「『ローカルな知』と『モード2科学』」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
20	事前学習	教科書 第2章から「何故モード2が必要なのか?」「モード2と人文学」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第2章「何故モード2が必要なのか?」「モード2と人文学」を読み解く。
	事後学習	「何故モード2が必要なのか?」「モード2と人文学」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
21	事前学習	教科書 第2章から「環境保全におけるモード2」「ローカルな知が霞ヶ浦をよみがえらせる」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第2章「環境保全におけるモード2」「ローカルな知が霞ヶ浦をよみがえらせる」を読み解く。
	事後学習	「環境保全におけるモード2」「ローカルな知が霞ヶ浦をよみがえらせる」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
22	事前学習	教科書 第3章から「生活に密着した科学への誤解」「エコナ問題とは何か」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第3章「生活に密着した科学への誤解」「エコナ問題とは何か」を読み解く。
	事後学習	「生活に密着した科学への誤解」「エコナ問題とは何か」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
23	事前学習	教科書 第3章から「一般の食品に発がん物質はごまんとある」「『発がん性』という言葉の向こう側を見る」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第3章「一般の食品に発がん物質はごまんとある」「『発がん性』という言葉の向こう側を見る」を読み解く。
	事後学習	「一般の食品に発がん物質はごまんとある」「『発がん性』という言葉の向こう側を見る」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
24	事前学習	教科書 第3章から「ゼロリスクという幻想」「政治が食の安全に介入するとき」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第3章「ゼロリスクという幻想」「政治が食の安全に介入するとき」を読み解く。
	事後学習	「ゼロリスクという幻想」「政治が食の安全に介入するとき」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
25	事前学習	教科書 第4章から「『想定外』を想定する社会へ」「『信頼の危機』という問題—BSEの衝撃」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第4章「『想定外』を想定する社会へ」「『信頼の危機』という問題—BSEの衝撃」を読み解く。
	事後学習	「『想定外』を想定する社会へ」「『信頼の危機』という問題—BSEの衝撃」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
26	事前学習	教科書 第4章から「『理解』から『対話』への転換」「『欠如モデル』とその限界」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第4章「『理解』から『対話』への転換」「『欠如モデル』とその限界」を読み解く。
	事後学習	「『理解』から『対話』への転換」「『欠如モデル』とその限界」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
27	事前学習	教科書 第4章から「民主化される『専門性』」「日本版『信頼の危機』を超えて」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第4章「民主化される『専門性』」「日本版『信頼の危機』を超えて」を読み解く。
	事後学習	「民主化される『専門性』」「日本版『信頼の危機』を超えて」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）
28	事前学習	教科書 第4章から「日本的に変奏されるサイエンスカフェ」「『理科離れ』というもう一つの危機」を読んで、意味などを調べておく（60分）
	授業内容	教科書 第4章「日本的に変奏されるサイエンスカフェ」「『理科離れ』というもう一つの危機」を読み解く。
	事後学習	「日本的に変奏されるサイエンスカフェ」「『理科離れ』というもう一つの危機」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える（60分）

29	事前学習	教科書 付録「放射性物質をめぐる怪しい情報と不安に付け込む人たち」を読んで、意味などを調べておく (60分)
	授業内容	教科書 付録「放射性物質をめぐる怪しい情報と不安に付け込む人たち」を読み解く。
	事後学習	付録「放射性物質をめぐる怪しい情報と不安に付け込む人たち」という文章の意味するところは何かを復習し、もう一度考える (60分)
30	事前学習	改めて、科学とは何か、疑問点があれば洗っておく (60分)
	授業内容	講座総括
	事後学習	科学とは何か論文に生かせるように理論構築しておく。 (60分)

科目名	文献研究(日)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	2020年11月6日に韓国ソウルで行われた国際出版フォーラムの論文集を使って、日本語の研究論文の輪読及び母語の論文の日本語訳を行う。					
授業目的・到達目標	研究論文を正確に読み、使用されている概念等を把握する。関連するDP・CP6					
履修条件	メディア倫理特殊講義履修者が望ましい。					
授業方法	輪読を中心に行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		講義に臨む姿勢、積極性等を総合判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	テキストは適宜指定する。				
参考書	適宜に指示する。					
オフィスアワー	メールにて連絡すること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際出版フォーラムがどのようなものであるかを理解しておく(2時間)
	授業内容	外国語文献の読み方 外国語文献を読む演習の進め方とその意義について この回の到達目標：研究者として外国語文献の正確な読み方の習得の重要性を理解する
	事後学習	外国語文献の読み方を確認し、次回講義に必要な事前学習の準備をしておく(2時間)
2	事前学習	塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』の概要をつかみ、疑問点チェックしておく。(2時間)
	授業内容	日本語文献の読み方① 塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』を輪読し、疑問点をチェックする。
	事後学習	概要をつかみ切れていなかった点と、チェックしきれなかった疑問点を確認しておく。(2時間)
3	事前学習	前回で理解できなかった点を補うために、参考文献等に目を通しておく。(2時間)
	授業内容	日本語文献の読み方② 塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』を精緻に輪読する。
	事後学習	自分が塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』をどのように理解したのかをまとめておく。(2時間)
4	事前学習	前回理解した内容を発表できるように、発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方① 塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』の概要を分担発表する。
	事後学習	発表で指摘された修正点を確認しておく。(2時間)

5	事前学習	前回指摘された修正点を踏まえた発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方② 塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』の概要を前回の指摘を踏まえて修正発表する。
	事後学習	修正発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
6	事前学習	どのような発言をするか、自分の意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	文献を使ったディスカッションの仕方① 塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』を使って、ディスカッションを行う。
	事後学習	自分の意見を含め、ディスカッション全体の概要をまとめておく。(2時間)
7	事前学習	塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』の研究領域における位置づけ発表の発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献の理解の仕方① 内容：第2回から第6回までの内容を踏まえて、塚本晴二郎(2020)『コンテンツとしてのジャーナリズム：技術革新と生産者の倫理学』の研究領域における位置づけを発表する。
	事後学習	発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
8	事前学習	宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』の概要をつかみ、疑問点をチェックしておく。(2時間)
	授業内容	母語の論文の日本語訳の仕方① 宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』を日本語訳しながら輪読する。
	事後学習	概要をつかみ切れていなかった点と、チェックしきれなかった疑問点を確認しておく。(2時間)
9	事前学習	前回で理解できなかった点を補うために、参考文献等に目を通しておく。(2時間)
	授業内容	母語の論文の日本語訳の仕方② 宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』を日本語訳しながら精緻に輪読する。
	事後学習	自分が宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』をどのように理解したのかをまとめておく。(2時間)
10	事前学習	前回理解した内容を発表できるように、発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方③ 宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』の概要を分担発表する。
	事後学習	発表で指摘された修正点を確認しておく。(2時間)
11	事前学習	前回指摘された修正点を踏まえた発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方④ 宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』の概要を前回の指摘を踏まえて修正発表する。
	事後学習	修正発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
12	事前学習	どのような発言をするか、自分の意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	文献を使ったディスカッションの仕方② 宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』を使って、ディスカッションを行う。
	事後学習	自分の意見を含め、ディスカッション全体の概要をまとめておく。(2時間)
13	事前学習	宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』の研究領域における位置づけ発表の発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献の理解の仕方② 内容：第8回から第12回までの内容を踏まえて、宮下義樹(2020)『海賊版電子書籍に対する著作権法改正』の研究領域における位置づけを発表する。
	事後学習	発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
14	事前学習	第1回から第13回までの講義内容を確認しておく。(2時間)
	授業内容	外国語文献の読み方と訳し方についての質疑応答、ここまでのまとめ
	事後学習	まとめの内容を理解した上で、輪読に使用することを提案する文献を考えておく。(2時間)
15	事前学習	提案する文献のプレゼンテーションの準備をしておく。(2時間)
	授業内容	後期に津使用する文献のプレゼンテーションと後期に使用する文献の決定のためのディスカッション。
	事後学習	自身のものを含めプレゼンテーションの内容とディスカッションの内容をまとめておく。(2時間)
16	事前学習	前期に決定した文献①の概要をつかみ、疑問点チェックしておく。(2時間)
	授業内容	日本語文献の読み方③ 前期に決定した文献①を輪読し、疑問点をチェックする。
	事後学習	概要をつかみ切れていなかった点と、チェックしきれなかった疑問点を確認しておく。(2時間)

17	事前学習	前回で理解できなかった点を補うために、参考文献等に目を通しておく。(2時間)
	授業内容	日本語文献の読み方④ 前期に決定した文献①を精緻に輪読する。
	事後学習	前期に決定した文献①をどのように理解したのかをまとめておく。(2時間)
18	事前学習	前回理解した内容を発表できるように、発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方⑤ 前期に決定した文献①の概要を分担発表する。
	事後学習	発表で指摘された修正点を確認しておく。(2時間)
19	事前学習	前回指摘された修正点を踏まえた発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方⑥ 前期に決定した文献①の概要を前回の指摘を踏まえて修正発表する。
	事後学習	修正発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
20	事前学習	どのような発言をするか、自分の意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	文献を使ったディスカッションの仕方③ 前期に決定した文献①を使って、ディスカッションを行う。
	事後学習	自分の意見を含め、ディスカッション全体の概要をまとめておく。(2時間)
21	事前学習	前期に決定した文献①の研究領域における位置づけ発表の発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献の理解の仕方③ 内容：第16回から第20回までの内容を踏まえて、前期に決定した文献①の研究領域における位置づけを発表する。
	事後学習	発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
22	事前学習	前期に決定した文献②の概要をつかみ、疑問点をチェックしておく。(2時間)
	授業内容	母語の論文の日本語訳の仕方③ 前期に決定した文献②を日本語訳しながら輪読する。
	事後学習	概要をつかみ切れていなかった点と、チェックしきれなかった疑問点を確認しておく。(2時間)
23	事前学習	前回で理解できなかった点を補うために、参考文献等に目を通しておく。(2時間)
	授業内容	母語の論文の日本語訳の仕方④ 前期に決定した文献②を日本語訳しながら精緻に輪読する。
	事後学習	前期に決定した文献②をどのように理解したのかをまとめておく。(2時間)
24	事前学習	前回理解した内容を発表できるように、発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方⑤ 前期に決定した文献②の概要を分担発表する。
	事後学習	発表で指摘された修正点を確認しておく。(2時間)
25	事前学習	前回指摘された修正点を踏まえた発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献のレポートの仕方⑥ 前期に決定した文献②の概要を前回の指摘を踏まえて修正発表する。
	事後学習	修正発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
26	事前学習	どのような発言をするか、自分の意見をまとめておく。(2時間)
	授業内容	文献を使ったディスカッションの仕方④ 前期に決定した文献②を使って、ディスカッションを行う。
	事後学習	自分の意見を含め、ディスカッション全体の概要をまとめておく。(2時間)
27	事前学習	前期に決定した文献②の研究領域における位置づけ発表の発表原稿とレジュメを作っておく。(2時間)
	授業内容	文献の理解の仕方④ 内容：第22回から第26回までの内容を踏まえて、前期に決定した文献②の研究領域における位置づけを発表する。
	事後学習	発表に対する講評の内容を確認しておく。(2時間)
28	事前学習	これまで読んだ文献の内容を整理しておく。(2時間)
	授業内容	外国文献の読み方のまとめ① これまで読んだ文献の内容について、お互いの理解の仕方を確認するディスカッションを行う。
	事後学習	他の人の理解の仕方を踏まえて、自身の理解を確認しておく。(2時間)

29	事前学習	これまで読んだ文献の翻訳の仕方を整理しておく。(2時間)
	授業内容	外国文献の読み方のまとめ② これまで読んだ文献の翻訳について、お互いの考え方を確認するディスカッションを行う。
	事後学習	他の人の翻訳に関する考え方も踏まえて、自身の考え方を確認しておく。
30	事前学習	これまで学んできたことを自身の研究に同意かすかを整理しておく。(2時間)
	授業内容	総括 修士論文の研究に外国文献をどのように活用していくか、各自発表する。
	事後学習	1年間の講義内容を整理する。

科目名	文献研究(日)	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムおよび社会学の研究を進めていくうえで基本となる文献（書籍、論文）を購読し、研究に必要な専門的知識を身に付けるとともに方法論についても習得する。			
授業目的・到達目標	日本語でジャーナリズムおよび社会学の関連文献と論文を購読する。専門文献を読み解くことで、日本語に馴染むだけでなく社会科学における日本語表現を身に付ける。 関連するD P・C P 6			
履修条件	特に無いが、日常的に日本語の文献を読むこと。読んだものを纏めることが常に求められる。			
授業方法	日本語文献（書籍、論文）を輪読し、内容を報告する。さらにその内容に関するレポートを提出し、討論をする。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	ふだんの発表、討議への参加度など	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006	勁草書房	ジャーナリズムとメディア言説	大石裕
	2020	東京大学出版会	日本のテレビ・ドキュメンタリー	丹羽美之
	備考			
参考書	上記文献に関連する参考文献を適宜、指示する			
オフィスアワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を読んでおく
	授業内容	前期全体のガイダンス、およびイントロダクション
	事後学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
2	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	拡大する政治とジャーナリズム①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
3	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	拡大する政治とジャーナリズム②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）
4	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（30分以上）
	授業内容	日本のジャーナリズム論の現代的課題①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（30分以上）

5	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	日本のジャーナリズム論の現代的課題②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
6	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	客観報道とニュース・バリュー①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
7	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	客観報道とニュース・バリュー②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
8	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	アジェンダ設定と「社会的現実」の構築①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
9	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	アジェンダ設定と「社会的現実」の構築②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
10	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	ニュースの言説分析①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
11	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	ニュースの言説分析②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
12	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	集合的記憶とマス・メディア①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
13	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	集合的記憶とマス・メディア②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
14	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	メディア・イベントの政治学①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
15	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	メディア・イベントの政治学②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
16	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	後期へのイントロダクション
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）

17	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	テレビ・アーカイブへの扉を開く①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
18	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	テレビ・アーカイブへの扉を開く②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
19	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	記録映画との決別①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
20	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	記録映画との決別②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
21	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	牛山純一と『ノンフィクション劇場』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
22	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	牛山純一と『ノンフィクション劇場』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
23	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	萩元晴彦・村木良彦と『あなたは』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
24	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	萩元晴彦・村木良彦と『あなたは』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
25	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	田原総一郎と『ドキュメンタリー劇場』①
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
26	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	田原総一郎と『ドキュメンタリー劇場』②
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
27	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	木村宋文と『あいらぶ優ちゃん』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
28	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	磯野恭子と『NNNドキュメント』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）

29	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	是枝裕和と『NONFIX』
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）
30	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化（３０分以上）
	授業内容	震災ドキュメンタリー論
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える（３０分以上）

科目名	文献研究(中)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中国のジャーナリズム・メディア・情報に関する文献資料、特に法令、条例、通知などを日本語に訳し、資料として新聞学研究所の紀要『J & M』に公表する。今年度は「中人民共和国个人信息保法（草案）」を日本語に翻訳する。			
授業目的・到達目標	中国のジャーナリズム・メディア・情報に関する法令を正確な日本語に訳す能力を修得すると同時に、中国の情報環境の現況について基礎知識を得、日本や台湾の個人情報保護に関する法令も参考とし、それを相対化し、説明できるようになることを目標とする。関連するD P ・ C P 6			
履修条件	特になし。			
授業方法	全70条を受講者が輪番で「解説」（解説）を含めて日訳し、テキストに後掲してある資料も利用し、その内容について全員で話し合う。なお、文献資料として作成するのは当該法の全条文だけで、「解説」部分は除く。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	出席しての輪読・日訳、および議論参与を評価対象とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021年度	教員学生共有サイトに掲載	中人民共和国个人信息保法（草案）	山本賢二
	備考	2021年3月3日現在、「草案」であるが、その後、全人代で採択された場合、その成案を教材とする。教材は「COLNetリモートアクセス」から「学生教員共有」に入り「山本賢二」の「教材配布」にアップしてある。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	月曜日と水曜日の12時30分から13時まで2号館9階講師室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中国のメディア環境について基本的知識を得ておくこと。（30分）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	正しい日本語にするため、メディアに関する日本語の専門用語を調べる。（30分）
2	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（30分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」①第一条—第三条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（30分）
3	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（30分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」②第四条—第六条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（30分）
4	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（30分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」③第七条—第九条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（30分）

5	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」④第十条—第十二条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
6	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑤第十三条—第十五条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
7	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑥第十六条—第十八条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
8	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑦第十九条—第二十二条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
9	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑧第二十三条—第二十八条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
10	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑨第二十九条—第三十二条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
11	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑩第三十三条—第三十七条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
12	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	前半部の日本語訳推敲①
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
13	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	前半部の日本語訳推敲②
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
14	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	前半部の日本語訳推敲③
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
15	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	前半部の日本語訳推敲④
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
16	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑪第三十八条—第四十一条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）

17	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑫第四十二条—第四十三条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
18	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑬第四十四条—第四十六条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
19	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑭第四十七条—第四十九条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
20	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑮第五十条—第五十二条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
21	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑯第五十三条—第五十五条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
22	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑰第五十六条—第五十八条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
23	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑱第五十九条—第六十一条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
24	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑲第六十二条—第六十四条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
25	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」⑳第六十五条—第六十七条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。（３０分）
26	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	「中人民共和国个人信息保法（草案）」(21)第六十八条—第七十条
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
27	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	日本語訳の総推敲①
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）
28	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	日本語訳の総推敲②
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。（３０分）

29	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	日本語訳の総推敲③
	事後学習	初稿を修正し、完成する。（３０分）
30	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。（３０分）
	授業内容	日本語訳の総推敲④
	事後学習	初稿を修正し、完成する。（３０分）

科目名	ジャーナリズム理論演習Ⅰ	担当者	山口 仁	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	メディア・コミュニケーションの一機能としてのジャーナリズムを理論的な観点から可能な限り根源的にとらえていく。そうすることで、社会に流通する世俗的なジャーナリズム批判とは異なる観点から、学問的な知見に基づいてジャーナリズムについて議論を展開する素地を養っていく授業である。			
授業目的・到達目標	社会学、政治学、メディア・コミュニケーション研究に関する概念を把握し、自身の研究（修士論文や博士論文）の中で用いることができるようにする。関連するDP・CP 4, 5, 7			
履修条件	特になし。			
授業方法	輪読と討論 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	発表と討論・議論の内容に基づく。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	Polity	Essential Concepts in Sociology	A. Giddens他
	備考	このほかの文献を指示する場合もある。		
参考書	山口仁（2018年）『メディアがつくる現実、メディアをめぐる現実』勁草書房。 D. マクウェール著、大石裕監訳（2010年）『マス・コミュニケーション研究』慶應義塾大学出版会。			
オフィスアワー	火曜日（12：10～13：00） 事前にメールで連絡することが望ましい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読と、自分の研究テーマの整理。（2時間）
	授業内容	各自の研究テーマの紹介。授業の進め方の説明と輪読箇所および発表者の決定
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
2	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
3	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
4	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）

5	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
6	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
7	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
8	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
9	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
10	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
11	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
12	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
13	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
14	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
15	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）

科目名	ジャーナリズム理論演習Ⅱ	担当者	山口 仁	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	メディア・コミュニケーションの一機能としてのジャーナリズムを理論的な観点から可能な限り根源的にとらえていく。そうすることで、社会に流通する世俗的なジャーナリズム批判とは異なる観点から、学問的な知見に基づいてジャーナリズムについて議論を展開する素地を養っていく授業である。			
授業目的・到達目標	社会学、政治学、メディア・コミュニケーション研究に関する概念を把握し、自身の研究（修士論文や博士論文）の中で用いることができるようにする。関連するD P・C P 4, 5, 7			
履修条件	特になし。			
授業方法	輪読と討論 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	発表と討論・議論の内容に基づく。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Routledge	Theories of Journalism in a Digital Age	S. Steensen他編
	備考	このほかの文献を指示する場合もある。		
参考書	山口仁（2018年）『メディアがつくる現実、メディアをめぐる現実』勁草書房。 D. マクウェール著、大石裕監訳（2010年）『マス・コミュニケーション研究』慶應義塾大学出版会。			
オフィスアワー	火曜日（12：10～13：00） 事前にメールで連絡することが望ましい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読と、自分の研究テーマの整理。（2時間）
	授業内容	各自の研究テーマの紹介。授業の進め方の説明と輪読箇所および発表者の決定
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
2	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
3	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
4	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）

5	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
6	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
7	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
8	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
9	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
10	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
11	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
12	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
13	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
14	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）
15	事前学習	課題文献の該当箇所の精読（2時間）
	授業内容	輪読と討論
	事後学習	輪読文献の考察、レジュメやレポートの作成。（2時間）

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅰ	担当者	中 正 樹	期 間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	-----	----	-----	---

授業概要	本授業では、ジャーナリズム調査における基本的な考え方や方法論を、演習形式で学ぶ。演習において調査対象になるのは、ジャーナリズムが提供するテキスト形式のニュース・コンテンツ（新聞、雑誌等）である。					
授業目的・到達目標	本授業の目的は、ジャーナリズムが提供するニュース・コンテンツに関する実証研究を通じて、実証研究の意義と意味、そして有効性を理解することである。そのために、ニュース・コンテンツの内容分析とそれに対する考察、及びそれらを説明できる能力を習得することを目標とする。 関連するDP・CP：4・5・7					
履修条件	ノートパソコン、またはタブレットを用いてプレゼンテーション可能な環境を用意できること。					
授業方法	調査方法に対する講義とディスカッション、実際の作業を中心に進める。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合には、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への参加度で判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし。				
参考書	必要な場合、適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日12:10-13:00 研究室（9号館5階9506研究室）※事前にアポイントメントをとること（メールアドレス:naka.masaki@nihon-u.ac.jp）／連絡は大学メールアドレスを用いること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認する（30分）。
	授業内容	＜ガイダンス＞ 授業の概要、授業の目的、到達目標、成績評価の方法等について説明し、受講する準備を整える。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
2	事前学習	テキスト形式のニュース・コンテンツ（新聞・雑誌等）の意義と意味について考えをまとめておく（30分）。
	授業内容	＜ニュースとは何か＞ テキスト形式のニュース・コンテンツ（新聞・雑誌等）についてディスカッションする。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
3	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する（60分）。
	授業内容	＜調査テーマの検討＞ 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
4	事前学習	調査対象とするイベントをどの媒体から収集するかを検討し、その理由を報告できるように準備する（30分）。
	授業内容	＜調査媒体の検討＞ 調査対象となるイベントをどの媒体から収集するかを検討する。
	事後学習	調査において参考となる先行研究の収集を開始する（30分）。

5	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（60分）。
	授業内容	＜先行研究の検討（1）＞ 先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を検討する。
	事後学習	先行研究の検討を通じて、調査計画について検討する（30分）。
6	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（60分）。
	授業内容	＜先行研究の検討（2）＞ 先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を検討する。
	事後学習	先行研究の検討を通じて、調査計画について検討する（30分）。
7	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（60分）。
	授業内容	＜調査計画の報告（1）＞ 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	調査計画に基づいて、イベントに関連するニュースの収集を開始する（30分）。
8	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（60分）。
	授業内容	＜調査計画の報告（2）＞ 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	調査計画に基づいて、イベントに関連するニュースの収集を開始する（30分）。
9	事前学習	調査対象とするイベントについて取り扱ったテキスト形式のニュースを収集し、報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜調査結果の報告（1）＞ 調査対象とするイベントを取り扱ったテキスト形式のニュースの収集過程について途中経過を報告する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、内容分析の準備に取り組む（30分）。
10	事前学習	調査対象とするイベントについて取り扱ったテキスト形式のニュースを収集し、報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜調査結果の報告（2）＞ 調査対象とするイベントを取り扱ったテキスト形式のニュースの収集過程について途中経過を報告する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、内容分析の準備に取り組む（30分）。
11	事前学習	収集したテキスト形式のニュースの内容分析の結果について報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜内容分析（1）＞ 収集したテキスト形式のニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、プレゼンテーションの準備に取り組む（30分）。
12	事前学習	収集したテキスト形式のニュースの内容分析の結果について報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜内容分析（2）＞ 収集したテキスト形式のニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、プレゼンテーションの準備に取り組む（30分）。
13	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（60分）。
	授業内容	＜プレゼンテーション（1）＞ 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、ニュースに対する理解を深める（30分）。
14	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（60分）。
	授業内容	＜プレゼンテーション（2）＞ 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、ニュースに対する理解を深める（30分）。
15	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する。（180分）。
	授業内容	＜調査報告書の検討＞ 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（30分）。

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅱ	担当者	中 正 樹	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、ジャーナリズム調査における基本的な考え方や方法論を、演習形式で学ぶ。 演習において調査対象になるのは、ジャーナリズムが提供する映像形式のニュース・コンテンツ（テレビ・インターネット等）である。					
授業目的・到達目標	本授業の目的は、ジャーナリズムが提供するニュース・コンテンツに関する実証研究を通じて、実証研究の意義と意味、そして有効性を理解することである。そのために、ニュース・コンテンツの内容分析とそれに対する考察、及びそれらを説明できる能力を習得することを目指すことを目標とする。 関連するDP・CP：4・5・7					
履修条件	ノートパソコン、またはタブレットを用いてプレゼンテーション可能な環境を用意できること。					
授業方法	調査方法に対する講義とディスカッション、実際の作業を中心に進める。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合には、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への参加度で判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし。				
参考書	必要な場合、適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日12:10-13:00 研究室（9号館5階9506研究室）※事前にアポイントメントをとること（メールアドレス:naka.masaki@nihon-u.ac.jp）／連絡は大学メールアドレスを用いること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認する（30分）。
	授業内容	＜ガイダンス＞ 授業の概要、授業の目的、到達目標、成績評価の方法等について説明し、受講する準備を整える。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
2	事前学習	映像形式のニュース・コンテンツ（テレビ・インターネット等）の意義と意味について考えをまとめておく（30分）。
	授業内容	＜ニュースとは何か＞ 映像形式のニュース・コンテンツ（テレビ・インターネット等）についてディスカッションする。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
3	事前学習	調査対象とするイベントをピックアップし、その概要を説明できるように準備する（60分）。
	授業内容	＜調査テーマの検討＞ 調査対象とするイベントについて検討する。
	事後学習	復習を通じて、授業に対する理解を深める（30分）。
4	事前学習	調査対象とするイベントをどの媒体から収集するかを検討し、その理由を報告できるように準備する（30分）。
	授業内容	＜調査媒体の検討＞ 調査対象となるイベントをどの媒体から収集するかを検討する。
	事後学習	調査において参考となる先行研究の収集を開始する（30分）。

5	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（60分）。
	授業内容	＜先行研究の検討（1）＞ 先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を検討する。
	事後学習	先行研究の検討を通じて、調査計画について検討する（30分）。
6	事前学習	調査において参考となる先行研究を抽出する（60分）。
	授業内容	＜先行研究の検討（2）＞ 先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を検討する。
	事後学習	先行研究の検討を通じて、調査計画について検討する（30分）。
7	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（60分）。
	授業内容	＜調査計画の報告（1）＞ 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	調査計画に基づいて、イベントに関連するニュースの収集を開始する（30分）。
8	事前学習	先行研究の検討を通じて、調査計画の概要を立案する（60分）。
	授業内容	＜調査計画の報告（2）＞ 調査対象とするイベントを内容分析するための計画を検討する。
	事後学習	調査計画に基づいて、イベントに関連するニュースの収集を開始する（30分）。
9	事前学習	調査対象とするイベントについて取り扱った映像形式のニュースを収集し、報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜調査結果の報告（1）＞ 調査対象とするイベントを取り扱った映像形式のニュースの収集過程について途中経過を報告する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、内容分析の準備に取り組む（30分）。
10	事前学習	調査対象とするイベントについて取り扱った映像形式のニュースを収集し、報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜調査結果の報告（2）＞ 調査対象とするイベントを取り扱った映像形式のニュースの収集過程について途中経過を報告する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、内容分析の準備に取り組む（30分）。
11	事前学習	収集した映像形式のニュースの内容分析の結果について報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜内容分析（1）＞ 収集した映像形式のニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、プレゼンテーションの準備に取り組む（30分）。
12	事前学習	収集した映像形式のニュースの内容分析の結果について報告する準備をする（60分）。
	授業内容	＜内容分析（2）＞ 収集した映像形式のニュースを内容分析することを通じて、その報道傾向について考察する。
	事後学習	報告に対する意見をもとに、プレゼンテーションの準備に取り組む（30分）。
13	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（60分）。
	授業内容	＜プレゼンテーション（1）＞ 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、ニュースに対する理解を深める（30分）。
14	事前学習	内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする準備をする（60分）。
	授業内容	＜プレゼンテーション（2）＞ 内容分析の結果を取りまとめ、プレゼンテーションする。
	事後学習	プレゼンテーションに対する意見をもとに、ニュースに対する理解を深める（30分）。
15	事前学習	すべての調査結果を取りまとめ、調査報告書を作成する（60分）。
	授業内容	＜調査報告書の検討＞ 調査の概要およびその結果をまとめた調査報告書を提出してもらい、その内容について意見を交換する。
	事後学習	調査報告書に対する意見交換を通じて得た知見をもとに、ジャーナリズム調査に対する理解を深める（30分）。

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅲ	担当者	柴田 秀一	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、放送局ニュース番組制作の現場を経験した講師が、テレビ・ラジオニュースを通したジャーナリズムの在り方や、実際がどのようなになっているかを解説、テレビ報道や情報番組の抱える問題点を明らかにするとともに、今後のテレビ・ラジオニュースの在り方や課題を明らかにする。					
授業目的・到達目標	テレビニュース制作の現場におけるさまざまな問題点を整理しながら、テレビ・メディアの問題点を探ることができる人材養成を目的とする。マス・メディアへの就職や研究者等を目指す受講者へ、テレビ・ラジオジャーナリズムの基本的な構造と問題点並びに広く社会環境やメディアに影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識の蓄積や能力の育成を通し、批判思考力や倫理観を涵養することを目標とする。受講生自らニュース特集等を企画し取材する事を最終目標とする。 関連するDP・CP新聞学研究科4, 5, 7 一年次生対象					
履修条件						
授業方法	講義、受講生との討論・リポート発表、放送局見学等でTVニュースの実際を知る。ニュース担当者等をゲスト招聘も。「面接授業をベースに、オンライン会議システムで受講希望者がいる場合は、Zoom併用授業を行う。」					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業態度、授業内リポート提出、研究課題の特集の発表などを総合して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし				
参考書	必要に応じて適宜指示する。					
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・情報等テレビ番組を見ておく。その中で、ニュース番組の占める位置、内容を（3時間）
	授業内容	オリエンテーション テレビニュースについて、今後の授業展開やニュース現場とのかかわりを確認する。
	事後学習	当日の夜のテレビニュース番組を見比べて報道内容の違いを書いてみる。（1時間）
2	事前学習	「ビデオリサーチ社」のホームページにアクセスして、視聴率について調べておく。（2時間）
	授業内容	「テレビニュースの特徴」 テレビのニュースは、その日起きた出来事を中心にストレート（短い1～2分のニュース）と特集で成り立つ。新聞や雑誌で取り上げる出来事と同じものもあるが違うものもある。テレビのニュースの特徴を取り上げる。
	事後学習	「ビデオリサーチ社」のホームページでタイムシフト視聴の具体的な数字を見てみる。各放送局のホームページを見比べてみる。（2時間）
3	事前学習	前日までのテレビニュースを見る。同時にSNSを調べ、同じニュースがどのような形でツイードされたり、情報交換がされたりしているか調べる（3時間）
	授業内容	「ニュース現場とSNS」 今、誰でも何時でもスマートフォンで情報を発信できる。マスコミュニケーションに属する記者だけが情報発信の能力があった時代とは違い、マスコミが捜査機関、役所等からの情報を得る前にすでに事件・事故・出来事の現場、あるいは近くに、一般社会の人々がいて情報を発信する。そうした現代の問題点を探る。
	事後学習	Twitter、facebook、Instagramなどを調べ、ニュース番組で取り上げられたとの項目との関連ニュースを見てみる（1時間）

4	事前学習	フェイクニュースはどういうものをいうか調べておく。フェイクニュースをどう見極め、見破るか前例を調べてみる（3時間）
	授業内容	「フェイクニュース」 フェイクニュースとは何か。様々な例からその情報が発生する原因、背景、時期
	事後学習	自分の興味のある番組は、どんな時間帯にどういう形で放送されているか知る。また、何故そうなっているかを考える。（2時間）
5	事前学習	アメリカに端を発するファクトチェックとは何か、どんなことをして言説の真偽を確かめるのか調べておく（3時間）
	授業内容	「ファクトチェック」①ファクトチェックとは何か、何故生まれたか、国際基準はあるか、日本での組織はあるか等ファクトチェックの基礎を研究する。
	事後学習	世の中の言説はその真偽を疑うものが数多くある。例えばそれはどんなものか。実際の既存マスコミやWebに表れている言説の真偽を1つ確かめてみる。（1時間）
6	事前学習	2018年沖縄県知事選についてどのような経過を辿ったか、争点は何だったのか調べておく。（1時間）
	授業内容	「ファクトチェック」② 実際の例を沖縄県知事選での地元新聞2紙（琉球新報・沖縄タイムス）ファクトチェックに学ぶ。
	事後学習	実際の選挙での言説で過去自分が見聞きしたものの中に真偽不明の言説があったか調べ、その真偽がどうであったか分かるか調べてみる（3時間）
7	事前学習	定時ニュースを何日か続けてみておく。「ストレートニュース」と言われる情報番組内、独立枠でコメント等をさしはさまない形式でそれまで起きたニュースを何項目か続けて放送するものだが、その項目構成を見ておく。（2時間）
	授業内容	「ニュース番組が出来るまで」ニュースの取材手法、テレビニュースはどうできるか時系列を追って説明、情報を得るきっかけから、取材、映像撮影、原稿執筆、映像編集、放送迄を探る。
	事後学習	各放送局の昼、夕方のニュースを見比べてみて、同じニュースも項目順が違っていたり、会見やインタビュー、「ぶら下がり」と呼ばれる議員や著名人の政務、仕事の合間に立ち話形式の質疑応答も使われる場所が変わったりすることを知る。（2時間）
8	事前学習	メディアスクラムとは何か。どんな例があったか調べてみる。（2時間）
	授業内容	「報道倫理」 名誉毀損、メディアスクラムは何故おこるかを考え、実際の例を学ぶ。
	事後学習	世の中の関心事にメディアスクラムは起こるが、そうならない為には何が必要かここに考えてみる。（2時間）
9	事前学習	各放送局のニュースサイト（ホームページからアクセス）で原稿内容と映像内容を比較してみる。どんな違いがあるか。（2時間）
	授業内容	「ニュース取材の手法」 実例に基づく取材手法 調査報道 実際の特集ビデオをどこまで取材結果が明らかになるか、また、どういう点に注意しながら放送しているかに留意しながら見る。
	事後学習	取材で注意すべきことは何か、取材は何の菜目にするか、もう一度まとめてみる。（2時間）
10	事前学習	新聞記事を読み比べる。同一の出来事を扱った記事を朝日、毎日、読売で内容を比べてその記事の特徴を記してみる（3時間）
	授業内容	記者模擬体験 発表文から原稿を作ってみる。
	事後学習	書いた自分の記事をもう一度実際の記事と比べてみる。（1時間）
11	事前学習	数日前から各局テレビニュースを見ておく。その際、各局の各番組にどのような特徴があるか記しておく（3時間）
	授業内容	「ニュース編集長体験」 前日、または当日のテレビニュース項目を10項目ほど見て、トップから5ないし6項目迄のニュースの順番を選択し、ニュース編集長を体験する。
	事後学習	当日の夕方、夜のニュースを見て（1時間）
12	事前学習	ニュース番組の作られ方を復習し、同時にWeb等で情報を取りながら、見学当日のニュース項目を予測する。（3時間）
	授業内容	「TV局現場の見学」 テレビ局内で、ニュース番組の生放送を見学する。
	事後学習	見学結果を踏まえて、入ったスタジオでの放送番組をテレビ番組として生放送で見てみる。（1時間）
13	事前学習	BP0について調べておく（1時間）
	授業内容	「BP0と放送倫理」 放送されることが増えたBP0とは何か、何故そうした組織が作られたのか。更に具体的に審議にかかった例を研究する。
	事後学習	テレビニュースを見て、その項目の内容に倫理的問題点があるとすれば、何か考える。（1時間）
14	事前学習	社会問題となっている事柄をジャンルを問わず取り上げ、徳州の企画としてA4判紙1枚にまとめ、発表できるようにする（7時間）
	授業内容	ニュース番組の特集企画：報告とディスカッション 社会問題となっている事柄をジャンルを問わず取り上げ、テレビニュース特集企画としてA4判紙1枚にまとめ、発表し、合評する。
	事後学習	自ら発表した企画に対する、他人からの意見を参考にブラッシュアップする。（1時間）
15	事前学習	これまでの14回を振り返り、最も興味のあったものを記しておく（1時間）
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	第14回の発表で自分の企画意図が十分に相手に伝わったか画像を見てもう一度考える（1時間）

科目名	メディア調査演習Ⅰ	担当者	島崎 哲彦	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	マス・コミュニケーションの実証研究にとっては、調査は重要な研究方法である。本授業では、定量調査を中心に調査全体の概要と調査の設計・実施までの要点を講義し、修士論文の研究のための調査・実験に必要な知識・能力を学修することを目的とする。			
授業目的・到達目標	マス・メディアが公表する世論調査等の結果を的確に読み取る能力を学修すること、修士論文に用いる調査・実験を自ら設計・実施する能力を学修することを目標とする。関連するDP・CP4，5，7			
履修条件	前期＋後期でカリキュラム全体を網羅するので、学生は両学期とも履修すること。			
授業方法	講義と一部演習を行う。各自の個別研究内容についても相談にのる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参加度について50%、授業内容の理解について50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2019	学文社	『社会調査の実際-統計調査の方法とデータの分析-』第13版	島崎哲彦・大竹延幸
	備考	教科書のほかに、必要に応じて事項説明等のコピーを配布する。		
参考書	授業内で必要に応じて提示する。			
オフィスアワー	学生の質問・相談等は、事前の下記アドレスにメールで受けつけるか、授業中に受け付ける。当日、授業中ないしは授業終了後に回答するか、次回授業時に回答する。 shimazaki.akihiko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「第1章 社会調査とは」を事前に読んでおくこと。（30分）「Zoom」による受講希望者は、第1回・第2回授業で用いる資料をメールで配信するので、授業日2日前までに「オイスアワー蘭」に記載したアドレスにその由を連絡すること。
	授業内容	大学院における学生の研究と研究方法（調査・実験等）（資料を配布）
	事後学習	授業内容の理解のために、配布資料を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
2	事前学習	教科書の「第1章 社会調査とは」を事前に読んでおくこと（30分）。
	授業内容	論文（修士論文）執筆時の引用、注、原典、文献、図表等の表示のルール（資料を配布）
	事後学習	授業内容の理解のために、配布資料を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
3	事前学習	教科書のPP. 1-8を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	社会調査の目的と種類、社会調査の効用、社会調査の限界
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 1-8を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
4	事前学習	教科書のPP. 9-35を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	事実探索と仮説検証、調査手法の種類、調査手法の適用、調査対象者の個人情報・プライバシーの保護、調査業務の国際標準化、社会調査従事者の資格制度
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 9-35を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。

5	事前学習	教科書のPP. 39-58を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	定量的手法の種類
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 39-58を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
6	事前学習	教科書のPP. 60-61を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	定量調査の一般的手順
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 60-61を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
7	事前学習	教科書のPP. 62-74を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	調査計画書の作成、仮説の構築、調査の設計
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 62-74を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
8	事前学習	教科書のPP. 75-97を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	母集団と標本、確率抽出法、確率抽出法等確率抽出法、多段抽出法、層化抽出法、確率比例2段抽出法の実際
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 75-97を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
9	事前学習	教科書のPP. 97-111を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	確率抽法・等確率抽出法（多段抽出法、層化抽出法を含む）以外の抽出法
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 97-111を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
10	事前学習	教科書のPP. 111-122を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	標本誤差と非標本誤差
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 111-122を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
11	事前学習	教科書のPP. 125-133を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	調査票の作成態度と留意事項、調査方法別の留意事項、調査票の作成手順
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 125-133を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
12	事前学習	教科書のPP. 133-153を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	質問文・回答選択肢の設計
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 133-153を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
13	事前学習	教科書のPP. 153-178を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	尺度、尺度構成、回答形式の設計、尺度構成の実際
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 153-178を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
14	事前学習	教科書のPP. 180-194を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	調査実施の手順、調査資料の準備
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 180-194を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
15	事前学習	教科書のPP. 195-201を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	調査実施環境の変化、回収率と推計、調査員の手配と訓練
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 195-201を再読すること（30分）。理解できない部分については、今回授業終了時か、後期『メディア調査演習Ⅱ』第1回授業の終了時に質問すること。

科目名	メディア調査演習Ⅱ	担当者	島崎 哲彦	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	マス・コミュニケーションの実証研究にとっては、調査・実験は重要な研究方法である。本授業では、定量調査の集計・分析、及びマス・コミュニケーション研究の視座に基づく統制者分析、メディア分析、受け手分析、効果分析についての実証的研究方法を講義し、各自の研究に用いる調査・実験の設計に必要な知識・能力を学修することを目的とする。					
授業目的・到達目標	マス・メディアが公表する世論調査等の結果を的確に読み取る能力を学修すること、修士論文に用いる調査・実験を自ら設計・実施・結果を分析する能力を学修することを目標とする。関連するD P・C P 4， 5， 7					
履修条件	前期＋後期でカリキュラム全体を網羅するので、学生は両学期とも履修すること。					
授業方法	講義とともに、学生各自による研究課題に用いる調査・実験の設計の相談にのり、指導を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度について50%、各自の調査・実験計画書の進展と完成度について50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2019	学文社		『社会調査の実際－統計調査方法とデータの分析－』		島崎哲彦・大竹延幸
	2007	学文社		『マス・コミュニケーション調査の手法と実際』		島崎哲彦・坂巻善生編著
	備考	教科書のほかに、必要に応じて事項説明等のコピーを配布する。				
参考書	各自の研究課題に応じて提示する。					
オフィスアワー	学生の質問・相談等は、事前に下記アドレスのメールで受け付けるか、授業中に受け付ける。当日、授業中ないしは授業終了後に回答するか、次回授業時に回答する。 shimazaki.akihiko11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に引き続き、『社会調査の実際』13版を教科書として使用する。同書のPP. 201-210を事前に読んでおくこと。(30分)
	授業内容	面接調査・留置調査・郵送調査・電話調査・電子調査の実施、個人情報への配慮、調査票の点検、インスペクション(検査)
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 201-210を再読すること (30分)。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
2	事前学習	教科書の教科書のPP. 212-229を事前に読んでおくこと (30分)。
	授業内容	集計とは、集計計画、調査票のエディティングからデータ・チェックまで
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 212-229を再読すること (30分)。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
3	事前学習	教科書のPP. 229-244を事前に読んでおくこと。(30分)
	授業内容	単純集計とクロス集計、クロス集計表による分析、欠損値
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 229-244を再読すること (30分)。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
4	事前学習	教科書のPP. 246-252を事前に読んでおくこと。(30分)
	授業内容	統計的説明、度数分布表とグラフ化
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 246-252を再読すること (30分)。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。

5	事前学習	教科書のPP. 252-253を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	算術平均、統計学の式の理解
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 252-253を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
6	事前学習	教科書のPP. 252-260を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	分布の中心を表す測度、分布の散らばりを表す測度
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 252-260を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
7	事前学習	教科書のPP. 261-276を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	2変数間の関連の分析
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 261-276を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
8	事前学習	教科書のPP. 276-312を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	統計的仮説検定
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 276-312を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
9	事前学習	教科書のPP. 407-410を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	調査結果の公表と報告書の作成
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 407-410を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
10	事前学習	今回の授業から、下記の教科書を使用します。PP. 43-45を事前に読んでおくこと。（30分） 島崎哲彦・坂巻善生編（2007）『マス・コミュニケーション調査の手法と実際』学文社
	授業内容	内容分析
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 43-45を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
11	事前学習	教科書のPP. 180-184を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	内容分析の目的、内容分析の技法
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 180-184を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
12	事前学習	教科書のPP. 184-212を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	内容分析の実際
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 184-212を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
13	事前学習	教科書のPP. 40-48を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	統制者分析、内容分析、メディア分析、受け手の分析
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 40-48を再読すること（30分）。理解できない部分については、今回授業終了時に質問すること。
14	事前学習	教科書のPP. 48-56を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	効果分析
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 48-56を再読すること（30分）。理解できない部分については、次回授業終了時に質問すること。
15	事前学習	教科書のPP. 56-57を事前に読んでおくこと。（30分）
	授業内容	マス・コミュニケーション研究の調査法、マス・コミュニケーション研究における調査法の適用
	事後学習	授業内容の理解のために、教科書のPP. 56-57を再読すること（30分）。理解できない部分については、今回授業終了時に質問すること。

科目名	メディア調査演習Ⅲ	担当者	柴田 秀一	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、放送局のインターンシップを授業で具体化するもので、テレビ番組の制作の現場等の見学や実際の放送番組を通じて、テレビ放送、とりわけ報道や情報番組の抱える問題点を明らかにするとともに、今後のテレビ放送の課題を明らかにする。					
授業目的・到達目標	テレビ制作の現場におけるさまざまな問題点を整理しながら、テレビ・メディアの問題点を探ることができる人材養成を目的とする。マス・メディアへの就職や研究者等を目指す受講者へ、テレビ・ラジオ等放送業の基本的な構造と問題点並びに広く社会環境やメディアに影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識の蓄積や能力の育成を通し、批判思考力や倫理観を涵養することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科4, 5, 7					
履修条件	一年次生対象					
授業方法	講義と受講生との討論、レポート発表、放送局見学等で放送の実際を知る。番組制作等のゲスト招聘可能性も。「面接授業をベースに、オンライン会議システムで受講希望者がいる場合は、Zoom併用授業を行う。」					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業態度、授業内レポート提出、番組企画書の発表などを総合して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし				
参考書	必要に応じて適宜指示する。					
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・情報・ドラマスポーツ・バラエティー等様々なテレビ番組を見ておく。（2時間） どんな番組に興味を持ち、どんなテレビ番組が放送されたら見たいと思うか、あらかじめ考えておく。
	授業内容	オリエンテーション 番組企画書の説明及び発表日程の指示
	事後学習	番組企画書の詩が書きを書いてみる。（2時間）
2	事前学習	「ビデオリサーチ社」のホームページにアクセスして、視聴率について調べておく。（2時間）
	授業内容	テレビの抱える問題①：視聴率 視聴率とは、調査方法、調査会社、視聴率日報、番組制作と視聴率と営業・CM 何故1%にこだわるか
	事後学習	「ビデオリサーチ社」のホームページでタイムシフト視聴の具体的な数字を見てみる。各放送局のホームページを見比べてみる。（2時間）
3	事前学習	テレビCMを見る。どんな番組にどんなCM流れているか。どの時間帯にどんな商品・企業のCMが流れているか比較して みる。（2時間）
	授業内容	テレビの抱える問題②：収入と支出、CMと営業 時間を売るとは何か。
	事後学習	スポンサーと番組との組み合わせについて考えてみる。（2時間）
4	事前学習	各局のホームページから、番組表を見る。一週間の時間帯別の番組表で生活時間と番組の関係を考える。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の制作①：編成とは何か・ ニュース・情報番組・バラエティー番組・スポーツ番組等について
	事後学習	自分の興味のある番組は、どんな時間帯にどういう形で放送されているか知る。また、何故そうなっているかを考える。 （2時間）

5	事前学習	興味のある番組の構成を考える。喋り中心か、それともビデオ構成か、生放送か、録画か。何故そうなっているか考える。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の制作②：企画と企画書制作 番組制作の端緒は何か
	事後学習	自分が良く見る番組は何故面白いのか考える。番組構成は、出演者は、スタジオセットは。番組を通して何が求められているか。（2時間）
6	事前学習	定時ニュースを何日か続けてみておく。「ストレートニュース」と言われる情報番組内、あるいは独立枠でコメント等をさしはさまない形式でそれまで起きたニュースを何項目か続けて放送するものだが、その項目構成を見ておく。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の制作③：ニュース番組が出来るまで ニュースは何処から情報を取りどのように放送するか。
	事後学習	各放送局の昼、夕方のニュースを見比べてみて、同じニュースも項目順が違っていたり、会見やインタビュー、「ぶら下がり」と呼ばれる議員や著名人の政務、仕事の合間に立ち話形式の質疑応答も使われる場所が変わったりすることを知る。（2時間）
7	事前学習	各放送局のニュースサイト（ホームページからアクセス）で原稿内容と映像内容を比較してみる。どんな違いがあるか。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の制作④：ニュース取材の手法 実例に基づく取材手法
	事後学習	取材で注意すべきことは何か、取材は何の菜目にするか、もう一度まとめてみる。（2時間）
8	事前学習	メディアスクラムとは何か。どんな例があったか調べてみる。（2時間）
	授業内容	テレビの抱える問題③：報道倫理 名誉毀損、メディアスクラムは何故おこるか
	事後学習	世の中の関心事にメディアスクラムは起こるが、そうならない為には何が必要かここに考えてみる。（2時間）
9	事前学習	BPOについて調べておく（2時間）
	授業内容	テレビの抱える問題④：BPOと放送倫理 放送されることが増えたBPOとは何か
	事後学習	テレビ番組を見て、その番組に倫理的問題点があるとすれば何か考える。（2時間）
10	事前学習	テレビ番組の作られ方放送のされ方について調べてみる。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の制作⑤：TV局現場の見学
	事後学習	見学結果を踏まえて、入ったスタジオでの放送番組をテレビ番組として見てみる。（2時間）
11	事前学習	放送収入と放送外収入について調べる。（2時間）
	授業内容	テレビ局の放送外事業とWeb、携帯電話やインターネット事業等、 Webとテレビの関係（放送マーケティングの現場）
	事後学習	実際に放送局が開催しているイベントに行って見てみる。（2時間）
12	事前学習	NHKの組織と収入源を調べる。（2時間）
	授業内容	NHKと民間放送 受信料の徴収とCM料収入の資金調達手法の違いとそれぞれが抱える問題。
	事後学習	改めて民間放送とNHKの収入について手法の違いと求められる事を考えてみる。（2時間）
13	事前学習	AbemaTV、NETFLIX、Paravi、GYAO などの番組ラインナップや番組を見てみる。（2時間）
	授業内容	ペイテレビ、動画配信事業とテレビ、テレビのニュービジネス
	事後学習	同一会社が有料放送と地上デジタル無料放送をしている二面性について考えてみる。（2時間）
14	事前学習	これまで、研究してきたテレビの内情と自らの興味から、新しい番組について企画書を書く。（2時間）
	授業内容	テレビ番組の企画②：報告とディスカッション 課題の企画書発表 今伝えるべきリポートとパフォーマンス
	事後学習	発表について、評価や注意を受けた部分を手直し（2時間）
15	事前学習	これまでの講座でのやり取りを振り返る。（2時間）
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	自分の企画書と放送されている実際の番組とを比べてみる。（2時間）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	石川 徳幸	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、論文の構成など、研究の手続や技法を指導する。受講生は研究の進捗状況に応じて報告を行い、修士論文に完成に向けて指導を受ける。				
授業目的・到達目標	修士論文を作成するために必要なアカデミック・スキルの修得する。新聞学の領域に関連する論文を渉猟し、自らの研究テーマを適切に設定することができるようになる。論文作成の諸過程を適切に踏まえて、修士論文を完成させる。 関連するDP・CP：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8				
履修条件	大学院新聞学研究科の大学院生のうち、ジャーナリズム史ないしはメディア史の領域において修士論文を作成しようとする者。				
授業方法	講義形式と演習形式を併用する。受講生には、研究報告とディスカッションへの積極的な参加が求められる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	論文の評価に、普段の授業への参加度を加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくになし。なお、受講生のテーマをみて授業の中で必要な文献を指定することもある。			
参考書	適宜指示する。				
オフィスアワー	【2021年度大学院オフィスアワー】授業実施期間中の土曜日12:15～12:45 ※アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分が研究したいことを第三者に説明できるようにしておくこと。
	授業内容	ガイダンス 修士論文作成までのスケジュールの確認。受講者の研究計画の確認。
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
2～4	事前学習	先行研究を渉猟する。
	授業内容	研究課題の設定と方法論
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
5～12	事前学習	先行研究を渉猟し、自分の研究の課題を設定する
	授業内容	研究ノートの整理と研究課題の再検討
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
13～20	事前学習	論文の章立てを構成する
	授業内容	中間報告 (先行研究のまとめ・研究の目的・章立て・今後の見通し)
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。

21～30	事前学習	実証に必要な資・史料の収集と分析
	授業内容	一次史料・二次史料、メディア資料の扱い方
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
31～34	事前学習	資料・データ等をすべてそろえ、内容を精査する。
	授業内容	中間報告 (序論・本論・今後の見通し)
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
35～41	事前学習	これまでの研究内容を整理し、今後の課題を見出す
	授業内容	分析内容の検討
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
42～45	事前学習	論文構成上、必要な要素を全て備える
	授業内容	中間報告 (序論・本論・結論)
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
46～54	事前学習	中間報告で指摘された内容の修正を進める
	授業内容	論文指導
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
55～58	事前学習	修士論文の提出に向けて、論文を完成させる
	授業内容	論文指導
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。
59～60	事前学習	完成した論文をもとに、口述諮問に備える
	授業内容	論文指導
	事後学習	指導内容を振り返り、問題点を整理し、研究を進めること。最終審査に向けて論文を完成させ、口述諮問に備えること。

科目名	専門演習（研究指導）	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	学位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を学修する。その際、テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を学修する。			
授業目的・到達目標	論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行う。その結果として、修士論文を完成すること（社会科学における修士論文は感想文ではないことが前提である）。 関連するDP・CP 新聞学研究科 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8			
履修条件	社会学、文化理論、メディア理論の基礎知識を修得済みの者。			
授業方法	講義と演習を併用した形式で行う。履修者の学問関心を優先し、当該関心を社会科学における論文とする方途を指示する。科学性と論理性を常に問う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平生の発表内容と最終論文の成果内容	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	とくにない。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておく。（1時間以上）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	年間スケジュールのなかで、研究の進行過程を位置づける。（1時間以上）
2～4	事前学習	研究テーマ、問題意識、方法を確認する。（1時間以上）
	授業内容	研究の目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマに即して方法論の検討、先行研究の探索をおこなう。（1時間以上）
5～12	事前学習	問題意識を明確にしておく。（1時間以上）
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告 1
	事後学習	中間報告での問題点、不足点などを確認し、修正や深化へむけて展開する。（1時間以上）
13～20	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。（1時間以上）
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。（1時間以上）

21～30	事前学習	現状の到達点を整理しておく。（1時間以上）
	授業内容	論文指導 中間報告 2
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。（1時間以上）
31～34	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。（1時間以上）
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。（1時間以上）
35～41	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。（1時間以上）
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。（1時間以上）
42～45	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。（1時間以上）
	授業内容	論文指導 中間報告 3
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。（1時間以上）
46～54	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。（1時間以上）
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。（1時間以上）
55～58	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。（1時間以上）
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。（1時間以上）
59～60	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。（1時間以上）
	授業内容	論文指導 論文の完成、報告
	事後学習	口頭試問へむけての準備。（1時間以上）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	佐幸 信介	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	テーマ設定、学問領域における位置づけ、アプローチ、方法論、先行研究のレビューなど、研究活動をふまえた論文作成のための実践的な指導を行う。学術論文の読み方、レジュメの作成の仕方などの基礎的な手法も同時に指導する。			
授業目的・到達目標	院生それぞれ自身が、論文を完成させることが第一目的であり、目標。研究から論文へいたる過程を習得することが、到達目標である。関連するDP・CP 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8			
履修条件	メディア研究、社会学、カルチュラル・スタディーズの基礎知識を習得していること。			
授業方法	講義と演習（発表・ディスカッション）の形式で行う。履修者の状況に合わせた指導。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	平常の発表内容と論文の到達状況で評価する
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	適宜、提示する			
オフィスアワー	火曜の昼休み（研究室）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておくこと。（1時間以上）
	授業内容	ガイダンス。各年度の年間スケジュールの確認。履修者の研究テーマの確認。
	事後学習	第2回～4回のための発表レジュメを作成する（1時間以上）
2～4	事前学習	各自の研究テーマ、目的、方法を明確にする（1時間以上）
	授業内容	研究の目的の明確化、方法論の検討、先行研究の検討
	事後学習	各自の研究テーマに即した、先行研究のサーベイと内容の検討（1時間以上）
5～12	事前学習	各自、発表スケジュールをふまえて、レジュメを作成する（1時間以上）
	授業内容	研究テーマの確定と目的の精緻化、仮設ないし理論的な問いの明確化 論文の中間報告会
	事後学習	中間報告会のためのレジュメ作成と報告会後のブラッシュアップ（1時間以上）
13～20	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（1時間以上）
	授業内容	論文の構成（目次）案の作成と先行研究の検討 実証的な研究活動の発表
	事後学習	発表に対するディスカッション、コメントをふまえ、実証作業を進める（1時間以上）

21～30	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（１時間以上）
	授業内容	実証研究の作業の発表と草稿にたいする研究指導
	事後学習	発表に対するディスカッション、コメントをふまえ、実証作業を進める（１時間以上）
31～34	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（１時間以上）
	授業内容	年度のスケジュールの確認と論文作成計画の立案と作成作業にたいする指導
	事後学習	発表に対するディスカッション、コメントをふまえ、実証作業を進める（１時間以上）
35～41	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（１時間以上）
	授業内容	実証研究の作業の発表と草稿にたいする研究指導
	事後学習	各自論文の執筆を行う（1時間以上）
42～45	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（１時間以上）
	授業内容	実証研究の作業の発表と草稿にたいする研究指導
	事後学習	各自論文の執筆を行う（1時間以上）
46～54	事前学習	先行研究の検討と実証作業を進め、発表の準備を行う（１時間以上）
	授業内容	実証研究の作業の発表と草稿にたいする研究指導
	事後学習	論文の見直しと精緻化の作業を進める（１時間以上）
55～58	事前学習	論文の執筆（１時間以上）
	授業内容	論文の完成へむけた指導
	事後学習	論文の見直しと精緻化の作業を進める（１時間以上）
59～60	事前学習	論文の見直し（１時間以上）
	授業内容	論文の完成へむけた指導
	事後学習	各自、論文を完成させる（１時間以上）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	柴田 秀一	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	論文作成の為、研究テーマに基づいて資料の収集、文献選択と読み込み、関連する先行研究の検討、論文構成や論述法を指導する。受講生は研究の進捗状況の報告を行い、修士論文等の完成に向けて計画的に執筆を行う。					
授業目的・到達目標	メディアと社会に関する論文の作成の為、自らの研究テーマを確実に文章化、可視化できること。専門分野の研究者が読んで納得できる内容と科学的証左に基づいた仮説などを踏まえた論文完成を目標とする。 関連するDP・CP新聞学研究科1、2、3、4、5、6、7、8					
履修条件	既存メディアに関する事を基本とし、インターネットメディアと既存メディアの関係や社会的関連を研究する人が対象。					
授業方法	講義と報告・発表・ディスカッションなど演習を組み合わせた形式とする。 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常の発表内容と論文の到達状況で評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に指定しない。				
参考書	随時、示す。					
オフィスアワー	授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールで日時予約（火曜・木・土曜日の午後）が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自ら研究課題について説明できる準備をする（60分）
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
2～4	事前学習	研究テーマの（60分）
	授業内容	研究テーマの検討、報告。 スケジュールの大まかな確認・整理
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
5～12	事前学習	前段のスケジュールの大まかな確認・整理に基づいてスケジュールを決めておく（60分）
	授業内容	研究目的の検討、報告。研究目的や、仮説の提示をする分かりやすくすることによって、何を明らかにし、明らかにすることで具体的にどういった事柄が証明あるいは認識されるのか、それは既に明らかにされているのかいないのか。先行研究の調査 中間報告を行い、研究全体の方向性を確認する。
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
13～20	事前学習	前段の前項研究の第1次資料、文献整理（60分）
	授業内容	先行研究調査結果報告。
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）

21～30	事前学習	前段で整理した資料に漏れや不足がないか確認しながら、最新の研究をリサーチする（60分）
	授業内容	資料データの収集。中間報告（院生の論文中間報告に合わせて）を行い、研究全体の方向性と内容を確認する。
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
31～34	事前学習	論文構成の為に、おおまかな執筆計画を立案する（60分）
	授業内容	資料収集の結果報告、論文執筆計画立案
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
35～41	事前学習	論文執筆計画に合わせて執筆を行う（60分）
	授業内容	論文執筆計画検討
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
42～45	事前学習	論文執筆計画に合わせて執筆を行う（60分）
	授業内容	中間報告と論文全体と研究の方向性を検討
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
46～54	事前学習	論文執筆計画に合わせて執筆を行う（60分）
	授業内容	論文の構成と形式を整え、目的等、全体の方向性を最終検討
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
55～58	事前学習	論文執筆計画に合わせた執筆と、全体の構成の仕上げ、資料・文献・原稿全体の確認を行う（60分）
	授業内容	修士論文予備審査に向けた発表方法の検討
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、次回、確かめられるようにしておく（60分）
59～60	事前学習	最終的な全体構成の仕上げ、総確認を行う（60分）
	授業内容	総括。完成した論文の発表発表および講評をする。
	事後学習	講義内容を復習し理解した上で、疑問点等をまとめて、仕上げを行う。（60分）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	研究テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。また論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行い修士論文の完成につなげる。				
授業目的・到達目標	新聞学における理論、制度、歴史研究の基幹研究部門の専門知だけでなく、広く社会環境やメディア環境に影響を与えている関連法制や関連政策などに関する知識を習得することを目的とする。 2年間の知識の蓄積や能力の育成を通して、批判的な思考力に基づく問題の分析能力や解決能力だけでなく、高度な倫理観を育んだことを例証することを目標とする。関連するDP・CP新聞学研究科1、2、3、4、5、6、7、8				
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。				
授業方法	修士論文を作成する。教員の指導、受講者の発表、両者で協力しての修士論文の作成といった手順で、進めていく。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	修士論文の完成度100%。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし。			
参 考 書	適宜指示する。				
オフィスアワー	メールにて連絡すること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。（60分以上）
	授業内容	修士論文完成までのスケジュールを説明するとともに、受講者の研究計画を確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。（60分以上）
2～4	事前学習	質問事項の整理、および先行研究と方法論の確認をしておく。（各60分以上）
	授業内容	研究目的の設定し、方法論の検討と先行研究の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
5～12	事前学習	前回までの講義を踏まえ、研究計画を修正しておく。（各60分以上）
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認し、研究テーマの決定した後に、論文概要の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
13～20	事前学習	必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として、先行研究の読み方の指導と仮説の検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）

21～30	事前学習	仮説に至る過程を中心に、報告の準備をしておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として仮説の書き方と設定の仕方を指導した後、2回目の中間報告を行い、講評する。。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
31～34	事前学習	方法論に関する報告の準備をしておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として方法論の解説と検討を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
35～41	事前学習	必要な資料・データ等をすべてそろえ、内容を理解しておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として分析方法の解説及び考察を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
42～45	事前学習	一通り研究をすすめ、報告の準備をしておく。（各60分以上）
	授業内容	3回目の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
46～54	事前学習	分析等すべての研究過程を終えて、一先ず最終的な報告ができる状態にする。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として分析結果の検討及び分析結果の修正を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
55～58	事前学習	論文を書き上げ、内容のチェックを受けられる状態にしておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導として分析結果の修正及び論文の表記方法の確認と指導を行う。
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次の講義で質問できるようにまとめる。（各60分以上）
59～60	事前学習	修正を完了し、論文を完成させておく。（各60分以上）
	授業内容	論文指導の総括として、完成した論文の研究発表と講評を行う。
	事後学習	指摘された点を修正する。論文を完成させる。（各60分以上）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	修士論文を含めたさまざまな論文作成のためのアプローチを学ぶために、研究計画に沿って、テーマ設定、先行研究のレビュー、仮説の構築、調査の実施、データ分析等、論文が完成するまでの一連の作業について指導する。とくにメディアの社会的効果、影響に関する実証研究に焦点をあてる。研究における作業工程表を作成し、定期的に研究成果の中間報告を行いながら、論文完成までの工程を自主管理する能力の構築を目指す。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 修士論文を執筆するために必要なあらゆる能力を身につけることを目的とする。研究テーマを設定し、先行研究のレビュー、仮説の構築、調査の実施、データ分析等、論文が完成させるために必要な能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 修士論文を執筆するために必要な問題発見力、仮説構築力、仮説検証力、政策提言力などの研究上の能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	関学院新聞学研究科の大学院生である5と6、7、8				
授業方法	講義形式を中心に、参加者による研究報告、共同討議を交えながら授業を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度を重視する。毎回受講生が行う研究発表を採点・評価して授業内評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	北樹出版		『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	慶應義塾大学出版会		『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充
	備考				
参考書	福田充(2009)『メディアとテロリズム』新潮新書.				
オフィスアワー	水曜日1限、研究室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。(120分)
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	個人研究レジュメ作成。(120分)
2～4	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。(120分)
	授業内容	個人発表・研究テーマの設定 問題意識と研究方法
	事後学習	個人研究レジュメ作成。(120分)
5～12	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。(120分)
	授業内容	先行研究の収集と使用・レビュー 研究対象の確定
	事後学習	個人研究レジュメ作成。(120分)
13～20	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。(120分)
	授業内容	仮説の提示 調査実施方法
	事後学習	個人研究レジュメ作成。(120分)

21～30	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	調査票の作成と実査 中間報告
	事後学習	個人研究レジュメ作成。（120分）
31～34	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	調査データの管理と編集作業 データ処理
	事後学習	調査データの分析作業を実施。（120分）
35～41	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	データ分析 分析結果の考察
	事後学習	調査データの分析作業を実施。（120分）
42～45	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	第二次中間報告 論文におけるデータの使用と解釈
	事後学習	修士論文の執筆。（120分）
46～54	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	論文の構成と目次の作成 修正報告
	事後学習	修士論文の執筆。（120分）
55～58	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	データの修正と再分析 仮説の検証結果の検討
	事後学習	修士論文の執筆。（120分）
59～60	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。（120分）
	授業内容	最終報告 報告書・論文の提出
	事後学習	修士論文の執筆。（120分）

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	修士論文の執筆、完成を目的とし、研究テーマの設定、先行研究・資料の収集・分析、分析対象の設定、方法論の検討など、学術論文の執筆に必要な知識、技法等を指導する。修士論文の執筆過程においては、研究・執筆の進捗状況に関する報告を義務付け、それぞれの段階において適宜、指導を行っていく。					
授業目的・到達目標	メディア、ジャーナリズム領域における専門知を身に着けるとともに、学術研究の進め方、学術論文の執筆方法について、その基礎的知識、技法を修得する。関連するD P ・ C P 1， 2， 3， 4， 5， 6， 7， 8					
履修条件	映像ジャーナリズム研究、及び関連分野で研究を行う意思があること					
授業方法	受講者による定期的な進捗状況の報告をベースとしながら、随時、教員が指導しながら進めていく 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		修士論文の完成度	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし				
参 考 書	適宜指示する					
オフィス アワー	水曜日昼休み。研究室は本館1719号室。メールで事前にアポイントを取って欲しい。 メールアドレス：yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読（60分）
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	指導内容を理解し、疑問点などを整理しておく（60分）
2～4	事前学習	研究テーマについて検討（60分）
	授業内容	研究テーマの検討、報告
	事後学習	研究テーマの検討内容を踏まえて次の報告の準備をする（60分）
5～12	事前学習	研究目的を検討し、先行研究を収集する（60分）
	授業内容	研究目的の検討と報告、先行研究のレビュー結果の報告
	事後学習	研究目的の検討、先行研究の検討結果を踏まえて次の報告の準備をする（60分）
13～20	事前学習	先行研究、関連の資料・データを収集する（60分）
	授業内容	先行研究のレビュー結果の報告、資料・データの収集結果の報告
	事後学習	先行研究のレビュー結果の報告、資料・データの収集結果の報告を踏まえて次の報告の準備をする（60分）

21～30	事前学習	先行研究、関連の資料・データを収集する（60分）
	授業内容	先行研究のレビュー結果の報告、資料・データの収集結果の報告
	事後学習	先行研究のレビュー結果の報告、資料・データの収集結果の報告を踏まえて次の報告の準備をする（60分）
31～34	事前学習	論文執筆の計画を立てる（60分）
	授業内容	論文執筆計画の検討
	事後学習	論文執筆計画の検討結果を踏まえ、次の報告の準備をする（60分）
35～41	事前学習	論文執筆の計画を立てる（60分）
	授業内容	論文執筆計画の検討
	事後学習	論文執筆計画の検討結果を踏まえ、次の報告の準備をする（60分）
42～45	事前学習	中間報告の準備をする（60分）
	授業内容	中間報告の準備に向けた検討
	事後学習	中間報告の準備に向けた検討結果を踏まえ、次の報告の準備をする（60分）
46～54	事前学習	研究の進捗状況の報告準備をする（60分）
	授業内容	研究の進捗状況の報告
	事後学習	研究の進捗状況の報告結果を踏まえ、次の報告の準備をする（60分）
55～58	事前学習	予備審査に向けた準備をする（60分）
	授業内容	予備審査に向けた検討
	事後学習	予備審査に向けた検討結果を踏ま、次の報告の準備をする（60分）
59～60	事前学習	論文の完成に向けた作業を進める（60分）
	授業内容	完成した論文に関する報告と総括
	事後学習	報告と総括の結果を踏まえて論文を完成、提出する（60分）

科目名	ジャーナリズム理論特殊研究(実証)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムとメディアに関する理論的研究を実施するために必要な実証研究の方法について学ぶ。とくにアンケート調査や内容分析、実験など社会調査のデータ分析を中心に、理論的かつ実証的なアプローチでジャーナリズム研究を実施する方法論を学ぶ。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 ジャーナリズムとメディアに関する理論研究における実証研究的アプローチの手法について、社会調査の方法やデータ分析の手法に関する能力を養成することを目的とする。 【到達目標】 自力でアンケート調査やインタビュー調査を実施し、量的データの分析および質的データの分析を行い、そのデータをもとに論文を執筆する能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	大学院新聞学研究科博士後期過程の大学院生であること。				
授業方法	課題として扱う教科書や論文を受講生が発表し、議論を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回実施する研究発表を総合的に評価・採点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	北樹出版		『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	北樹出版		『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編
	備考				
参考書	福田充（2009）『メディアとテロリズム』（新潮新書）。 福田充（2010）『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』（慶応義塾大学出版会）。				
オフィスアワー	水曜日 1 限、研究室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書の熟読。（120分）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
2	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法① 問題意識
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
3	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法② テーマの設定
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
4	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法③ 理論研究のアプローチ
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

5	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法④ リサーチクエスチョン
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
6	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法⑤ 仮説構築
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
7	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法① アンケート調査
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
8	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法② ヒアリング調査
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
9	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法③ フィールドワーク
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
10	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法④ コミュニケーション実験
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
11	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法⑤ 内容分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
12	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究に必要な社会調査と調査計画
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
13	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	調査の実施とデータ処理
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
14	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法① 単純集計と記述統計
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
15	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法② 多変量解析：クロス分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
16	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法③ 多変量解析：分散分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

17	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法④ 多変量解析：相関分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
18	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法⑤ 多変量解析：因子分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
19	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	データ分析の方法⑥ 多変量解析：重回帰分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
20	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表① アンケート調査
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
21	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表② メタデータの分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
22	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表③ 内容分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
23	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表④ コミュニケーション実験
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
24	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑤ ヒアリング調査
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
25	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑥ フィールドワーク
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
26	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑦ ネットワーク分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
27	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑧ ディスコース分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
28	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑨ テキストマイニング
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

29	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑩ 統計的手法
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
30	事前学習	先行研究の収集と熟読。（120分）
	授業内容	まとめと総括
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

科目名	ジャーナリズム理論特殊研究(規範)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は規範理論の領域における研究を深める目的で、先行研究の方法論を体得するために、代表的なジャーナリズムの規範理論の研究ノートを作成する学修を行う。				
授業目的・到達目標	国際的な水準の研究に到達できるように、ジャーナリズムの規範理論を単なる知識ではなく、十分に理解し応用可能にすることを目的とする。 代表的なジャーナリズムの規範理論に関する先行研究を学ぶことによって、独自の視点からジャーナリズムに関する諸問題を新たに解釈し、位置づける専門的な分析能力を体得することを目標とする。				
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を研究者としての、自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。				
授業方法	三つの代表的なジャーナリズムの規範理論の研究ノートを作成する。教員の解説、受講者の発表、両者で協力しての研究ノート作成といった手順で、進めていく。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	三つの研究ノートの評価各30%、講義に臨む姿勢10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	必要に応じて適宜支持する。				
オフィスアワー	メールにて連絡すること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。（30分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（30分）
2	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（30分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（30分）
3	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（30分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。（30分）
4	事前学習	参考文献のの内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。（30分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。（30分）

5	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。（３０分）
6	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。（３０分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。（３０分）
7	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の再検討内容を確認する。（３０分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。（３０分）
8	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。（３０分）
9	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認をする。（３０分）
	授業内容	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する。
	事後学習	指導内容を理解する。リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。（３０分）
10	事前学習	リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめてみての疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	研究ノート「リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「リバタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。（３０分）
11	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（３０分）
12	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（３０分）
13	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。（３０分）
14	事前学習	参考文献のの内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。（３０分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。（３０分）
15	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。（３０分）
16	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。（３０分）

17	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の発表の再検討内容を確認する。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。（３０分）
18	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。（３０分）
19	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認をする。（３０分）
	授業内容	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する
	事後学習	指導内容を理解する。リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。（３０分）
20	事前学習	リベラル・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめてみての疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	研究ノート「リベラル・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「リベラル・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。（３０分）
21	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する先行研究を可能な限り用意する。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムの先行研究を確認する。受講者の考え方を確認しながら、必要な先行研究を選んでいく。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（３０分）
22	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムの先行研究に関して再検討し、研究ノートの参考文献とする先行研究を確定する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、用意する先行研究を再検討する。（３０分）
23	事前学習	用意した先行研究の内容を確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、参考文献を用意する。（３０分）
24	事前学習	参考文献のの内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。（３０分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。（３０分）
25	事前学習	先行研究が精緻に読めたかどうかを確認する。質問すべき事項をまとめておく。（３０分）
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認する。読んできた先行研究をまとめて、コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表準備を行う。（３０分）
26	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表の内容を確認する。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の発表内容を再検討する。（３０分）
27	事前学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の再発表を行わせ、講評する。研究ノート作成に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備を行う。（３０分）
28	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化する準備に伴う疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化を具体的に進める。目次などを確定させ、受講生が研究ノートを書き進めやすいように指導する。
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察を研究ノート化を進める。（３０分）

29	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行途中での疑問点を確認をする。（３０分）
	授業内容	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノート化の進行状況を確認し、修正点を指摘する
	事後学習	指導内容を理解する。コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをまとめる。（３０分）
30	事前学習	コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察の研究ノートをもとめてみての疑問点を確認する。（３０分）
	授業内容	研究ノート「コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評をし、必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	研究ノート「コミュニタリアン・ジャーナリズムに関する考察」の講評結果を理解し、必要に応じて修正し、完成させる。（３０分）

科目名	ジャーナリズム理論特殊演習(実証)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムとメディアに関する理論研究を実施するために必要な実証研究的アプローチを身につけるために、実際の社会調査を実施し、その調査データを分析して論文を作成する。ジャーナリズムとメディアに関する実証研究論文を作成する過程を演習として実践する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 ジャーナリズムとメディアに関する理論研究における実証研究的アプローチの手法について、社会調査の方法やデータ分析の手法に関する能力を養成することを目的とする。 【到達目標】 受講生が自分自身で研究テーマを設定し、リサーチクエスションと仮説を構築した上で、実証研究を実施し、データ分析の手法を学び、論文を作成する能力を身につけることを目標とする。			
履修条件	大学院新聞学研究科の博士後期過程の大学院生であること。			
授業方法	受講生が実際に社会調査を実施し、その調査データをもとに論文を作成し完成させる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回実施する社会調査演習の成果を評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充
	備考			
参考書	福田充（2010）『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』（慶應義塾大学出版会）。その他の参考書は演習中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日 1 限、研究室にて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
2	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表①
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
3	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表②
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
4	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表③
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

5	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表④
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
6	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表⑤
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
7	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施① 問題意識
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
8	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施② 研究対象の設定
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
9	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施③ 研究方法の構築
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
10	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施④ リサーチクエスションと仮説
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
11	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑤ 調査実施とデータ分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
12	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑥ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
13	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑦ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
14	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑧ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
15	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	前期のまとめと総括
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
16	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成①
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）

17	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成②
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
18	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成③
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
19	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成④
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
20	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑤
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
21	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑥
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
22	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑦
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
23	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑧
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
24	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑨
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
25	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑩
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
26	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑪
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
27	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑫
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
28	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑬
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）

29	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑭
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）
30	事前学習	先行研究の収集とまとめ。（120分）
	授業内容	まとめと総括
	事後学習	実証研究論文の作成作業。（120分）

科目名	ジャーナリズム理論特殊演習(規範)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は規範理論の領域における研究を深める目的で、規範理論の論文作成指導を行う。					
授業目的・到達目標	国際的な水準の研究に到達できるように、ジャーナリズムの規範理論を単なる知識ではなく、十分に理解し応用可能にすることを目的とする。 ジャーナリズムの規範理論に関する論文を作成することによって、独自の視点からジャーナリズムに関する諸問題を新たに解釈し、位置づける専門的な分析能力を体得することを目標とする。					
履修条件	ジャーナリズムの規範理論を研究者としての、自らの専門領域にしようと思う者のみに履修してもらいたい。					
授業方法	論文を作成する。教員の指導、受講者の発表、両者で協力しての修士論文の作成といった手順で、進めていく。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		論文完成度100%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参考書	必要に応じて適宜支持する。					
オフィスアワー	メールにて連絡すること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。（30分）
	授業内容	論文完成までのスケジュールを説明するとともに、受講者の研究計画を確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究目的を再検討しておく。（30分）
2	事前学習	質問事項の整理、および研究目的を明確に説明ができるようにしておく。（30分）
	授業内容	研究目的設定の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。参考とすべき先行研究を選んでおく（30分）
3	事前学習	質問事項の整理、および選んだ先行研究を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	先行研究の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。方法論を検討しておく。（30分）
4	事前学習	質問事項の整理、方法論を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	方法論の検討を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究計画全体を再検討する。（30分）

5	事前学習	前回までの指導を踏まえ、研究計画を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	研究計画全体を再検討する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。研究テーマを再検討しておく。（30分）
6	事前学習	前回までの指導を踏まえ、研究テーマを明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	研究テーマを決定する。。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。仮説を再検討しておく。（30分）
7	事前学習	前回までの指導を踏まえ、仮説を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	仮説を再検討する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。論文概要の中間報告の準備を行う。（30分）
8	事前学習	前回までの指導を踏まえ、論文概要の中間報告の内容を確認する（30分）
	授業内容	論文概要の中間報告を行い、講評する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。（30分）
9	事前学習	先行研究のレビューを明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	先行研究のレビューを行う。その講評の後、先行研究を理解する上で、必要な文献があれば、そうした文献の指摘も行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。指導内容に応じて、参考文献を用意する。（30分）
10	事前学習	参考文献のの内容を確認するとともに、前回の指導にしたがって、先行研究が理解できているか確認する。（30分）
	授業内容	先行研究を精緻に読んでいく。並行して参考文献の読み方も指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。指導内容に応じて、先行研究と参考文献の注意点を確認しておく。（30分）
11	事前学習	先行研究を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	先行研究の理解の仕方を確認し、指導する。
	事後学習	指導内容確実にを理解する。仮説と方法論の関係を再検討しておく。（30分）
12	事前学習	仮説と方法論の関係を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	仮説と方法論の関係を確認し指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。仮説と方法論の関係を確認し方法論を再検討する。（30分）
13	事前学習	方法論を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	方法論を確定する。
	事後学習	確定した方法論にしたがって、必要な資料やデータの収集を行う。（30分）
14	事前学習	収集した資料やデータを整理して報告できるようにしておく。（30分）
	授業内容	収集した資料やデータを確認し、追加資料等の必要性などを指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。資料やデータの収集を引き続き行う。（30分）
15	事前学習	収集した資料やデータを整理して報告できるようにしておく。（30分）
	授業内容	収集した資料やデータを再確認する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。収集した資料やデータを方法論に従って分析する。（30分）
16	事前学習	収集した資料やデータを方法論に従って分析結果を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	収集した資料やデータの分析結果の発表を行わせ、講評する。修正点を示し発表内容の再検討を促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。分析結果の発表内容を再検討する。（30分）

17	事前学習	分析結果の発表の再検討内容を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	分析結果の再発表を行わせ、講評する。分析結果の考察に向けての指導を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。分析結果の考察を行う。（30分）
18	事前学習	分析結果の考察を明確に説明できるようにしておく。（30分）
	授業内容	分析結果の考察を発表させ、講評する。考察の修正点を示し再検討を促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。考察の再検討を行う。（30分）
19	事前学習	再検討した考察を明確にしておく。（30分）
	授業内容	再検討した考察を報告させ、講評する。これまでの研究結果をまとめた発表の仕方を指導する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。まとめの発表の準備をする。（30分）
20	事前学習	まとめの発表の内容を確認しておく。（30分）
	授業内容	まとめの発表を行わせ、講評を行う。必要があれば修正点を指摘する。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。修正点を踏まえて、再発表の準備をする。（30分）
21	事前学習	再発表の内容を確認しておく。（30分）
	授業内容	再発表の後、論文作成に移るための指導を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。指導に従って、目次等を作成する。（30分）
22	事前学習	論文の目次等を明確にしておく。（30分）
	授業内容	論文の目次等を確認し、必要な修正点を指摘する。目次に従って、論文作成を進めることを促す。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。論文作成を開始する。問題意識に関する記述から始める（30分）
23	事前学習	問題意識に関する記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	問題意識に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。先行研究に関する記述を始める。（30分）
24	事前学習	先行研究に関する記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	先行研究に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。方法に関する記述を始める。（30分）
25	事前学習	方法に関する記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	方法に関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。仮説の記述を開始する。（30分）
26	事前学習	仮説の記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	仮説の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。事例等に関する記述を開始する。（30分）
27	事前学習	事例等の記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	事例等の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。資料やデータに関する記述を開始する。（30分）
28	事前学習	資料やデータに関する記述を完成させておく。（30分）
	授業内容	資料やデータに関する記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。序と結論の部分の記述を開始する。（30分）

29	事前学習	序と結論の部分の記述を完成させておく。（３０分）
	授業内容	序と結論の部分の記述の添削を行う。
	事後学習	指導内容を確実に理解する。全体を通読し、疑問点はないか確認しておく。（３０分）
30	事前学習	疑問点を整理しておく。（３０分）
	授業内容	全体を通読し、最終的なチェックを行う。
	事後学習	誤字脱字等の間違いがないか、最終的な点検を行う。（３０分）

科目名	ジャーナリズム制度特殊研究(比較)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中国の記者・研究者の日本のジャーナリズム・メディアに関する論考を読み、中国に映る日本のジャーナリズム・メディア像を概観する。			
授業目的・到達目標	日中の相互理解に果たすメディアの役割の可能性と限界を探ることを通じて、ジャーナリズム制度の比較研究の方法を修得し、説明できるようになることを目標とする。			
履修条件	授業で使用する言語は中国語と日本語であり、中国語が理解できることが望ましいが、日本語だけでも受講に支障はない。			
授業方法	記事・論文を読み、内容について議論し、問題点を指摘する。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参与度50%、レポート（「中国の日本のジャーナリズム・メディア観」）50%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2021年度	教員学生共有サイト掲載	2021 ジャーナリズム制度特殊研究（比較）教材	山本賢二編
	2021年度	教員学生共有サイト掲載	日中関係資料(山本編)Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	山本賢二編
	備考	教材は「COLNetリモートアクセス」から「学生教員共有」に入り「山本賢二」の「教材配布」にアップしてある。		
参考書	授業で適宜指示するほか、自ら関係著作、論文等を探し、参考にすること。			
オフィスアワー	月曜日と水曜日の12時30分から13時まで2号館9階講師室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本歩入近代化程中的政府与新媒体之关系：周光明
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
2	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本媒体“二”的法西斯化：力丹
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
3	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本媒体和播政策的法西斯化：力丹
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
4	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	近代日本与当代中国新体制比研究：李佳
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）

5	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	十五年争与日本： 昆
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
6	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	从新体制角看日本 郭
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
7	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本媒介素养教育状： 宋阳
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
8	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	《球》道的日本形象
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
9	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	一个 一个宣言—跨入新世的日本新界自律范： 周建明
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
10	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	国化潮流中的日本大众播媒介： 国良
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
11	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本：探索互网代之路
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
12	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	周 勇日本雅虎的成功之道
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
13	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本的媒体、及其政策的影响：研
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
14	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	中日关系的两点播学思考：研
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
15	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	匡文波日本三大有关史教科的社框架： 宁
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）
16	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（30分以上）
	授業内容	日本广播体制比之中国： 高昊
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（30分以上）

17	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	中日国道之迂及比研究—以1982、1998年《人民日报》、《朝日新》等例：国良
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
18	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	儒家文化圈与媒体的播特浅析——以中日三国例
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
19	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	中日播学者聚北京探北的文化交流 —“2005北播学国研会”述
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
20	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	日本漫的状分析
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
21	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	浅画影的析—以日本画影及其代表崎例：耿璐
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
22	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	日本画中国青年的文化影响力：王程淼
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
23	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	从中日画片比看中国国画片的展区和方向
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
24	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	安倍政下の：行量、道和政治取向 王广涛
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
25	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	日本媒体怎民众
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
26	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	《》日本政府如何干媒体独立
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
27	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	旅日人：日本政府如何干媒体独立已磨刀霍霍，中国却重判日本民意
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
28	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	日本媒如何解中日新关系：卓南生
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）

29	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。（３０分以上）
	授業内容	再日本媒中日关系的解：卓南生
	事後学習	論考の問題点をまとめる。（３０分以上）
30	事前学習	これまでまとめた内容に基づき議論用資料を準備する。（３０分以上）
	授業内容	中国の記者・研究者の日本のジャーナリズム・メディア観について議論する。
	事後学習	議論した内容を自分の意見を含めてまとめる。（３０分以上）

科目名	ジャーナリズム制度特殊研究(システム)	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、現代日本における政治とメディアの相互関係について、その実態について実証的に研究していく。日本政治とメディアの関連性について概観した上で、近年、問題になっているテレビと政治との関係について、放送制度や放送法などを基礎に、実証的な研究を行っていく。					
授業目的・到達目標	・メディアと政治に関する実態の理解 ・政治とメディアに関する分析視角についての問題意識の醸成					
履修条件	履修にあたっては、単なるメディアやジャーナリズムへの関心だけでなく、現代日本政治に対する深い理解が必要である。					
授業方法	関連文献の輪読及び履修者による研究発表を基本とする。必要に応じて、学外での検修を行う場合がある。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への出席状況、輪読や研究発表の内容などの状況を評価の対象とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2006年	朝日新聞社		テレビ政治		星浩ほか
	2017年	東京大学出版会		政治を動かすメディア		逢坂巖
	備考					
参考書	必要に応じて指示する					
オフィスアワー	月曜及び金曜昼休み、研究室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（30分以上）
	授業内容	授業概要についての説明と履修者の関心領域の確認
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（30分以上）
2	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。（30分以上）
	授業内容	メディアと政治についての現状について概観的な講義を行う。
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（30分以上）
3	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読（30分以上）
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（30分以上）
4	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（30分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（30分以上）

5	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
6	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
7	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
8	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
9	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
10	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
11	事前学習	『政治を動かすメディア』を事前に熟読すること。（３０分以上）
	授業内容	『政治を動かすメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
12	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。（３０分以上）
	授業内容	現代日本における政治とメディアに関する討議
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
13	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。（３０分以上）
	授業内容	現代日本における政治とメディアに関する討議
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
14	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。（３０分以上）
	授業内容	現代日本における政治とメディアに関する討議
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。（３０分以上）
15	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。（３０分以上）
	授業内容	前期まとめの議論
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。（３０分以上）
16	事前学習	現代のテレビの政治報道について関心を高めておくこと。（３０分以上）
	授業内容	テレビと政治に関する現代的課題についての概観
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）

17	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（３０分以上）
18	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 2
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（３０分以上）
19	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 3
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（３０分以上）
20	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。（３０分以上）
21	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）
22	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）
23	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）
24	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）
25	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。（３０分以上）
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。（３０分以上）
26	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（３０分以上）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 1
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（３０分以上）
27	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（３０分以上）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 2
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（３０分以上）
28	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（３０分以上）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 3
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（３０分以上）

29	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。（30分以上）
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ4
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。（30分以上）
30	事前学習	これまでの授業を振り返り、自らの問題意識を醸成すること。（30分以上）
	授業内容	政治とメディアに関するまとめの議論
	事後学習	政治とメディアに関する今後の研究について考えること。（30分以上）

科目名	ジャーナリズム制度特殊演習(システム)	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策に関し、各自がテーマを定め、自ら資料やデータを収集、分析することを通じて、今日のジャーナリズム及びメディア制度の実態について、その理想と現実にかんする実証的な研究を行うていく。					
授業目的・到達目標	ジャーナリズムやマスメディアをめぐる法制度や政策について、受講者が自らテーマを定め、実証的研究を行うことを通じて、現代日本におけるメディアと政治に関する知識と理解を深めるだけでなく、研究者に不可欠な問題意識の醸成を促し、独自に研究を進めていく力量を身につけることを目標とする。					
履修条件	日本政治とメディアについて、深い知識と関心を有し、特定のテーマに関する問題意識を持っていること。					
授業方法	各自がテーマを定め、自ら研究を行っていくインデペンデント・リサーチが中心となる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		研究への姿勢やその成果に対して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参 考 書	必要に応じて指示する。					
オフィスアワー	月曜及び金曜昼休み、研究室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。（３０分以上）
	授業内容	ジャーナリズム制度の分析視点について検討する。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。（３０分以上）
2	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチのテーマの設定
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。（３０分以上）
3	事前学習	現代日本政治におけるメディアの関係について、強い問題意識を持つこと。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチに関する具体的手順の検討。
	事後学習	授業を受け、この授業で進めていく独自の研究テーマに関する認識を深めること。（３０分以上）
4	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進め、必要に応じて報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）

17	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
18	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
19	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
20	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
21	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
22	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
23	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
24	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
25	事前学習	自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
	授業内容	インデペンデント・リサーチとして独自に研究活動を進めてきたことについて、中間報告を行う。
	事後学習	引き続き自ら設定した研究テーマにもとづき、文献、資料、データなどの収集、分析を行う。（３０分以上）
26	事前学習	これまでの研究成果にもとづき、作成する論文の構成について検討すること。（３０分以上）
	授業内容	研究論文の構成案の作成
	事後学習	授業での検討にもとづき、論文構成のブラッシュアップを行う。（３０分以上）
27	事前学習	研究論文の作成を行い、概要あるいはスケルトンを作成する。（３０分以上）
	授業内容	研究論文の第一回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。（３０分以上）
28	事前学習	研究論文を独自に作成する。（３０分以上）
	授業内容	研究論文の第二回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。（３０分以上）

29	事前学習	研究論文を独自に作成する。（30分以上）
	授業内容	研究論文の第三回の口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。（30分以上）
30	事前学習	研究論文を独自に作成する。（30分以上）
	授業内容	研究論文の最終口頭発表
	事後学習	口頭発表にもとづき、論文内容のブラッシュアップを行う。（30分以上）

科目名	ジャーナリズム史特殊研究(比較)	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	比較ジャーナリズム史研究の方法論の諸パラダイムを批判的に検討する			
授業目的・到達目標	「プレスの4理論」以後の比較ジャーナリズム史の方法論の諸パラダイムを、 ①Hallin & Manciniの西欧モデル ②脱西欧モデル を通してクリティカルに検討し、東アジアモデルの構築を試みる			
履修条件	西洋史とりわけアメリカ史の基本的な知識と理解			
授業方法	テキスト『ジャーナリズム・スタディーズのフィールド』（学文社） 及び『Comparing Media Systems』の輪読と批判的レビュー 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50% 研究報告 50% 課題報告	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004		Comparing Media Systems 2004	D. Hallin & P. Mancini
	備考			
参考書	『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』（大井眞二他編、世界思想社）『ジャーナリズム・スタディーズのフィールド』（大井眞二、学文社）『アメリカ報道史』（大井眞二他訳、松柏社）など。他については授業の折に適宜紹介する			
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読（30分以上）
	授業内容	講義概要・注意事項・参考文献紹介、次回授業の概要など
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
2	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読（1）（30分以上）
	授業内容	Introductionの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
3	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読（2）（30分以上）
	授業内容	Introductionの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
4	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読（3）（30分以上）
	授業内容	Introductionの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

5	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読（４）（３０分以上）
	授業内容	Introductionの輪読と議論（４）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
6	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（１）（３０分以上）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（１）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
7	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（２）（３０分以上）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（２）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
8	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（３）（３０分以上）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（３）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
9	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（４）（３０分以上）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（４）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
10	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（１）（３０分以上）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（１）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
11	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（２）（３０分以上）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（２）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
12	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（３）（３０分以上）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（３）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
13	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（４）（３０分以上）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（４）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
14	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（１）（３０分以上）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（１）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
15	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（２）（３０分以上）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（２）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）
16	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（３）（３０分以上）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（３）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（３０分以上）

17	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（4）（30分以上）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
18	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（1）（30分以上）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
19	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（2）（30分以上）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
20	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（3）（30分以上）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
21	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（4）（30分以上）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
22	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（1）（30分以上）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
23	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（2）（30分以上）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
24	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（3）（30分以上）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
25	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（4）（30分以上）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
26	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（1）（30分以上）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
27	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（2）（30分以上）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
28	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（3）（30分以上）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

29	事前学習	テクス7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（4）（30分以上）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
30	事前学習	三つのモデルの特徴比較（復習）（30分以上）
	授業内容	Comparing Media Systemsの総括的評価
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成（30分以上）

科目名	ジャーナリズム史特殊研究(思想)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代以降の社会にとって、ジャーナリズムおよびメディアをめぐる思考は、思想史においても重要な焦点となる。そこで、社会様式、メディア環境、情報環境の変容とともに、それらをめぐる思考をたどりながら、近代思想を捉え直す。					
授業目的・到達目標	社会体の編成のなかにジャーナリズムやメディアをめぐる思考を位置づけ、その変容を捉えられるようになる。単に思想の変化を単純な反映論や決定論ではなく、ディスカールの編成として捉え、それをもとに現代を考えられるようになる。					
履修条件	とくにない。					
授業方法	受講生と相談しながらテキストを選定し、講読……レジュメを作成し、議論を通して理解する形式をとる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常のテキスト講読、毎回のレジュメ作成と報告、議論とそれらのまとめとしてのレポート作成による。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内容に記したように、受講生の目的にあわせて相談して決定する。				
参考書	授業時に適宜指示する。					
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。（30分以上）
	授業内容	ガイダンス授業 授業の目的、スケジュール、今後の計画など
	事後学習	講読すべきテキストの下調べ。（30分以上）
2	事前学習	前期のテキスト候補をいくつか選定しておく。（30分以上）
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。（30分以上）
3	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（30分以上）
4	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（30分以上）

5	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
6	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
7	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
8	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
9	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
10	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
11	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
12	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
13	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
14	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と前期のまとめのレジュメ作成。（３０分以上）
15	事前学習	前期のまとめとしての議論のポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	前期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。（３０分以上）
16	事前学習	後期のテキスト候補をいくつか選定しておく。（３０分以上）
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。（３０分以上）

29	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と後期のまとめのレジュメ作成。（30分以上）
30	事前学習	後期のまとめとしての議論のポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	後期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。（30分以上）

科目名	ジャーナリズム史特殊演習(比較)	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代社会の空間に誕生した社会制度としてのジャーナリズムを比較史の視座から考究する。			
授業目的・到達目標	近代社会に誕生したジャーナリズムが、何故現前するような構造や形態をとるに至ったのか、また、異なる歴史的時代において、どのようにして異なる社会的役割を求められてきたか、を明らかにすることを学修の目的とする。歴史における持続と変化のありようを的確に把握することを到達目標とする。			
履修条件	ジャーナリズム史の基礎知識			
授業方法	文献の読解と議論 面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50%：研究報告 50%：課題報告	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』（大井眞二他編、世界思想社）『ジャーナリズム・スタディーズのフィールド』（大井眞二、学文社）『アメリカ報道史』（大井眞二他訳、松柏社）他は、授業の折々に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	授業概要、演習の進め方、準備作業など
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
2	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	Robert E. Park 「THE IMMIGRANT PRESS AND ASSIMILATION」
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
3	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)
4	事前学習	テキストの事前精読 (30分以上)
	授業内容	James W. Carey 「TECHNOLOGY AND IDEOLOGY」
	事後学習	リアクションペーパーの作成 (30分以上)

5	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
6	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Alfred McClung Lee 「THE EDITORIAL STAFF」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
7	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Stephen Botein 「PRINTERS AND THE AMERICAN REVOLUTION」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
8	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
9	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Jeffery A. Smith 「THE COLONIAL JOURNALIST」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
10	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
11	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Ishbel Ross 「FRONT-PAGE GIRL」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
12	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
13	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	James W. Carey 「TECHNOLOGY AND IDEOLOGY」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
14	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
15	事前学習	まとめ案作成（30分以上）
	授業内容	前期のまとめ：整理と議論
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
16	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	H. L. Mencken 「REFLECTIONS ON JOURNALISM」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

17	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
18	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	H. Dicken-Garcia 「CHANGES IN NEWS DURING the 19TH CENTURY」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
19	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
20	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Will Irwin 「THE REPORTER AND THE NEWS」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
21	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
22	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	George Seldes 「THE HOUSE OF LORDS」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
23	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
24	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Silas Bent 「A NEGLECTED STORY」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
25	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
26	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Dan Schiller 「DEMOCRACY AND THE NEWS」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
27	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
28	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	Erik Barnouw 「VOICES」
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

29	事前学習	テキストの事前精読（30分以上）
	授業内容	承前
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）
30	事前学習	まとめ案作成（30分以上）
	授業内容	全体のまとめ：整理と議論
	事後学習	リアクションペーパーの作成（30分以上）

科目名	ジャーナリズム史特殊演習(思想)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代以降の社会にとって、ジャーナリズムおよびメディアをめぐる思考は、思想史においても重要な焦点となる。そこで、社会様式、メディア環境、情報環境の変容とともに、それらをめぐる思考をたどりながら、現代へのアプローチを考える。					
授業目的・到達目標	社会体の編成のなかにジャーナリズムやメディアをめぐる思考を位置づけ、その変容を捉えられるようになる。単に思想の変化を単純な反映論や決定論ではなく、ディスカールの編成として捉え、それをもとに現代を考えられるようになる。					
履修条件	とくにない。					
授業方法	受講生と相談しながらテキストを選定し、講読……レジュメを作成し、議論を通して理解する形式をとる。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常のテキスト講読、毎回のレジュメ作成と報告、議論とそれらのまとめとしてのレポート作成による。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内容に記したように、受講生の目的にあわせて相談して決定する。				
参考書	授業時に適宜指示する。					
オフィスアワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。（30分以上）
	授業内容	ガイダンス授業 授業の目的、スケジュール、今後の計画など
	事後学習	講読すべきテキストの下調べ。（30分以上）
2	事前学習	前期のテキスト候補をいくつか選定しておく。（30分以上）
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。（30分以上）
3	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（30分以上）
4	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（30分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（30分以上）

5	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
6	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
7	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
8	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
9	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
10	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
11	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
12	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
13	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日の議論の確認と次回のテキスト理解とレジュメ作成。（３０分以上）
14	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と前期のまとめのレジュメ作成。（３０分以上）
15	事前学習	前期のまとめとしての議論のポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	前期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成（３０分以上）
16	事前学習	後期のテキスト候補をいくつか選定しておく。（３０分以上）
	授業内容	テキストの決定と概要理解、参考資料などの概説
	事後学習	テキストの理解とレジュメ作成。（３０分以上）

29	事前学習	今日の議論すべきポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	テキスト担当箇所報告と議論
	事後学習	今日までの議論の確認と後期のまとめのレジュメ作成。（３０分以上）
30	事前学習	後期のまとめとしての議論のポイントの確認。（３０分以上）
	授業内容	後期のまとめと議論。レポート作成指示。
	事後学習	レポート作成。（３０分以上）

科目名	研究指導	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	博士学位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を指導する。 その際、テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。				
授業目的・到達目標	論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行う。その結果として、博士論文を完成すること。				
履修条件	社会学、文化理論、メディア理論の基礎知識を修得済みの者。				
授業方法	講義と演習を併用した形式で行う。履修者の学問関心を優先し、当該関心を社会科学における論文とする方途を指示する。科学性と論理性を常に問う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	平生の発表内容と最終論文の成果内容	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくにない。			
参 考 書	適宜指示する。				
オフィス アワー	火曜5限、研究室にて kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておく。
	授業内容	ガイダンス。年度ごとの年間スケジュール、最終目標などの確認。今年度の計画。
	事後学習	年間スケジュールのなかで、研究の進行過程を位置づける。
2～10	事前学習	研究テーマ、問題意識、方法を確認する。
	授業内容	研究の目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマに即して方法論の検討、先行研究の探索をおこなう。
11～20	事前学習	問題意識を明確にしておく。
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告
	事後学習	中間報告での問題点、不足点などを確認し、修正や深化へむけて展開する。
21～30	事前学習	今年度の論文作成のための問題等の明確化。投稿先の検索及び投稿条件などの確認。
	授業内容	論文指導
	事後学習	投稿条件にあわせて論文作成。

31	事前学習	今年度の目標設定。論文テーマ策定。
	授業内容	年間スケジュールの確認。論文投稿へ向けての準備。
	事後学習	今年度のテーマの明確化。
32～40	事前学習	今年度の論文作成のための問題等の明確化。投稿先の検索及び投稿条件などの確認。
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 今年度投稿論文の研究テーマの決定
	事後学習	投稿論文のための章立て
41～50	事前学習	投稿論文のための章立て
	授業内容	論文指導
	事後学習	投稿条件にあわせて論文作成。
51～60	事前学習	年度末～夏までの投稿論文へ向けての準備。投稿先及び条件の確認。
	授業内容	年度末～夏までの投稿論文のテーマ策定。
	事後学習	投稿論文のための章立て
61	事前学習	投稿論文のための章立て
	授業内容	年間スケジュールの確認。最終目標としての博士論文テーマの確認など。
	事後学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。
62～70	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
71～80	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
81～90	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。博士論文完成。

科目名	研究指導	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	博士後期過程におけるジャーナリズムとメディア研究において、研究計画を作成し、研究を実践する過程、そしてその研究成果を学術論文としてまとめる過程を学び、その能力を身につけるための研究活動全体を指導する。 国際的な研究水準にかなう研究テーマと研究計画を確立し、その計画に基づいた研究を実践することで、グローバルに教育・研究の場を獲得しうる能力を養成することを目的とする。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 受講生である博士後期過程の大学院生が、自らの個人研究テーマを確立し、そのテーマに沿って研究計画を構築し、その計画に沿って研究を実施する能力を養成することを目的とする。 【到達目標】 受講生が、自らの個人研究テーマを確立し、そのテーマに沿った研究計画に基づいて自主的な研究活動を実施できるようになること。			
履修条件	特になし。			
授業方法	ジャーナリズムとメディアに関して、毎回のテーマに沿って受講生が研究発表を行い、研究指導を行う。面接授業をベースに、オンライン会議システム「Zoom」による受講希望者がいる場合は、Zoomを併用した授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回の研究指導において、受講生が行う研究発表を採点・評価し、平常評価とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編
	備考			
参考書	講義中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日1限、研究室にて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定の教科書の事前読解。（120分）
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	研究テーマの検討。（120分）
2～10	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究テーマと問題意識を構築する。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
11～20	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究対象を設定し、先行研究を学ぶ。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
21～30	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究方法を確立し、仮説を構築する。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）

31	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
32～40	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究の実施と研究データの分析。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
41～50	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究成果の発表と論文の執筆。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
51～60	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	論文の完成と研究発表。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。（120分）
61	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	博士論文の執筆。（120分）
62～70	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	博士論文の作成① 学会論文の作成
	事後学習	博士論文の執筆。（120分）
71～80	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	博士論文の作成② 学会発表の実施準備
	事後学習	博士論文の執筆。（120分）
81～90	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。（120分）
	授業内容	博士論文の作成③ 博士論文の完成
	事後学習	博士論文の執筆。（120分）